

一九一六年（大正五）

〔尼崎のできごと〕

- 一月 尼崎工業者共和会は、商業経営者の加盟により尼崎商工共和会と改称した。
- 四月一日 尼崎町に、立花村のうち東難波・西難波を加えて尼崎市制が施行された。
- 尼崎市長臨時代理者に桜井忠剛が選任された。
- 四月九日 尼崎第一尋常小学校校庭において官民合同市制実施祝賀会が催され、その後一日まで祝賀行事が続いた。
- 五月二日 尼崎市医師会が設立された。
- 五月三〇日 尼崎市会の第一回三級議員選挙が実施された。
- 五月三一日 尼崎市会の第一回一級・二級議員選挙が実施された。
- 八月一日 尼崎市長に桜井忠剛が就任した。
- 八月二六日 尼崎市内でコレラ患者が発生した。年内の市内死者数は四五人を記録した。
- 八月 セルロイド製造の大阪繊維工業が小田村神崎（現尼崎市神崎町）に設立された（現ダイセル神崎工場）。
- 九月二〇日 市制施行を記念して、土井源友堂が『尼崎市現勢史』を刊行した。
- 一〇月五日 東難波・西難波を除く全尼崎市域への水道敷設が内務省により認可された。
- 十二月 この月から翌大正六年一月にかけて、全国的な労働組合組織・友愛会の尼崎地域における初組織として、尼崎紡績の男性労働者を中心とする尼崎分会が結成された。
- 大日本紡績の土地買収・工場増築にともない、小田村杭瀬字松ケ下の東墓が杭瀬字見立新田（現尼崎市杭瀬南新町四丁目）の現在地に移転した。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月 吉野作造『中央公論』一月号に民本主義を提唱する論文発表
- 七月一日 フランス・ソナムの戦い始まる、第一次世界大戦中最大の会戦
- 九月一日 労働者保護を目的とする工場法施行
- 九月二五日 英軍、新兵器・戦車を史上初使用
- 一〇月一〇日 憲政会結成



旧城郭内南浜の初代尼崎市庁舎(旧尼崎町役場)
井上弘子氏寄贈、大正期発行絵はがきより

一九一七年（大正六）

〔尼崎のできごと〕

- 一月二五日 小田村長洲（現尼崎市長洲中通二丁目）に本社工場を置く大阪製麻が設立された。
- 四月九日 この日を第一回の尼崎市制実施記念日とし、官民合同祝賀会が催された。
- 四月二五日 尼崎市水道の神崎水源工事地鎮祭が行なわれた。
- 四月二六日 尼崎市会において市章が定められた。
- 八月一日 久保田鉄工所が関西鉄工を買収し、尼崎工場を西大洲（現西向島町）に設置した。
- 九月 尼崎市会は、全市を二四区にわけ、各区に町総代を置くことを決定した。
- 『尼崎市公報』が創刊された。
- 十二月一〇日 猪名寺地主会が設立され、会則・規約を定めた。翌二一日、猪名寺の小作農たちが凶作を理由に五升口米（年貢付加米）免除を要求した（記録されている、もっとも初期の小作争議）。
- 十二月 乾鉄線が大庄村道意新田（現尼崎市道意町七丁目）に設立された（昭和六年に日本鉄線鋼索と改称、現神鋼鋼線工業）。

〔日本と世界のできごと〕

- 三月一五日 ロシア二月革命、皇帝ニコライ二世退位
- 一月二日 石井・ランシング協定締結、中国大陸における日米権益協定
- バルフォア宣言、英国がパレスティナにおけるユダヤ人国家建設支持
- 一月七日 ロシア一〇月社会主義革命、ソビエト政権樹立



初代尼崎市長・桜井忠剛
旧尼崎藩主家出身、画家としても知られる

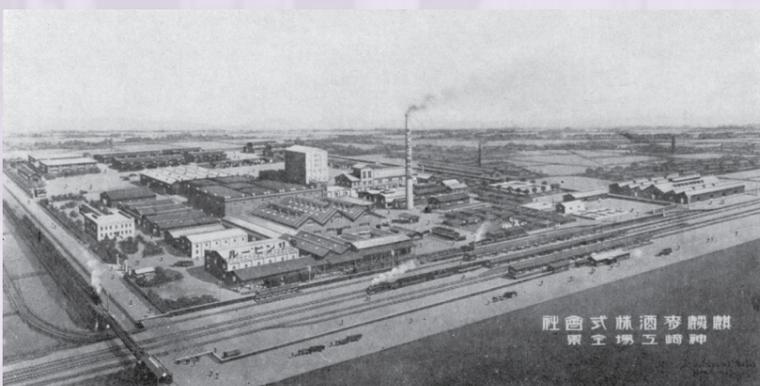
一九二八年（大正七）

〔尼崎のできごと〕

- 五月一七日 関西ペイントが小田村神崎（現尼崎市神崎町）に設立された。
- 五月 日本硝子工業尼崎工場が新城屋新田（現西向島町）に設立された（現日本山村硝子）。
- 六月一日 尼崎紡績が摂津紡績と合併し、大日本紡績と改称した。
- 六月二八日 小田村潮江（現尼崎市潮江一丁目）、東海道線神崎駅北側に設置された麒麟麦酒神崎工場が操業を開始した。
- 七月二一〜二五日 尼崎市教育会は、児童尊重の世界的潮流である新教育運動に学ぶべく、尋常小学国語読本編集者・芦田恵之助を招いて綴方読方講習会を開催した。
- 八月二一〜二四日 米騒動が尼崎地域にも波及し、尼崎市と小田村で群衆が各所の米屋・酒屋や農家を襲い、廉売や寄付を強要し店を破壊する事態となった。一四日には騒擾鎮圧のため高槻工兵第四大隊の将校以下一二六人と篠山歩兵第七〇連隊の先遣隊五〇人が到着した。
- 八月一六日 尼崎市は市内米商の所有米全部を買い上げ、各町総代に委託して廉売を開始した。
- 九月三日 市設物品販売所が旧城郭内西三の丸に開業した（大正九年一月に公設市場と改称）。
- 一〇月一日 尼崎市水道が正式に給水を開始し、同月中に全工事を完了した。

〔日本と世界のできごと〕

- 四月 尋常小学国語読本使用開始
- 七月一日 児童文芸雑誌『赤い鳥』創刊
- 七月 富山県で米騒動が起こり、九月にかけて全国に波及
- 八月二日 日本政府、シベリア出兵を宣言
- 十一月二日 第一次世界大戦終結



麒麟麦酒神崎工場絵はがきより 昭和3年頃発行

一九一九年（大正八）

〔尼崎のできごと〕

- 四月一日 尼崎市立実科高等女学校が改組・改称され市立尼崎高等女学校となった。
- 五月 大日本除虫粉大阪分工場が小田村杭瀬（現尼崎市杭瀬北新町三丁目）で開業した。
- 六月一八日 尼崎市の米騒動事件の被告全員に騒擾罪が適用され三八人に懲役六年以下、四人に五〇円以下の罰金を科す判決が下った。小田村の事件の被告二八人は懲役一〇年以下、うち一人には罰金二〇円があわせて科された。
- 七月一〇日 臨海部の工場用地分譲を行なう土地会社・尼崎土地が、西高洲新田・東浜新田の耕地など一四万二千坪を経営地として設立された。
- 九月九日 住友伸銅所が中大洲（現東向島西之町）の岸本製鉄所・同製釘所を買収して尼崎工場を開設した。同工場は同月二九日、八時間労働制を実施した（昭和一〇年に住友金属工業鋼管製造所となる、現新日鐵住金尼崎製造所）。
- 九月 中山悦治個人経営の亜鉛鉄板製造工場が初島ノ内松島（現西松島町）に設立された（中山亜鉛鍍金尼崎製業所）。
- 一〇月二二日 大日本労働総同盟友愛会尼崎支部の第一回総会が開催され、大阪連合会傘下の尼崎の支部組織が再建された。
- 十一月三日 阪神急行電鉄（阪急）塚口駅前の宅地開発を行なう土地会社・塚口土地が設立された。
- 十二月二八日 武川ゴムが竹谷新田（現南竹谷町三丁目）に設立され、翌大正九年三月に操業を開始した。
- 十二月 日本製塩が初島（現北初島町）で操業を開始した。

〔日本と世界のできごと〕

- 三月一日 朝鮮で三・一独立運動
- 五月四日 中国で五・四運動、山東省権益の日本譲渡に反対
- 六月二八日 ヴェルサイユ講和条約調印
- 八月三〇日 友愛会が大日本労働総同盟友愛会と改称



尼崎高等女学校絵はがき
大正8年7月、西宮町香櫛園浜での水泳行事

一九二〇年（大正九）

〔尼崎のできごと〕

- 一月七日 尼崎市立通俗図書館が宮町に開設した。翌大正二〇年四月、尼崎市立図書館と改称。
- 三月一日 尼崎市は、社会・土木事業費等の支出増加に対して、市税の制限外課税認可を国に申請した。
- 四月一日 尼崎第二尋常小学校が東難波に新設された（現市立難波小学校）。
- 五月一日 尼崎市が独立選挙区となって最初の衆議院議員選挙が実施され、中馬興丸が当選した。
- 六月 尼崎伸銅が東新城屋新田（現東向島東之町）に設立された（昭和九年に古河電気工業に合併、同尼崎伸銅所となる）。
- 七月二六日 阪神急行電鉄（阪急）神戸線・伊丹支線が開通し、塚口駅が開設された。
- 八月一日 兵庫県が武庫川改修工事（第一期工事）を着工した。
- 九月 日本スピンドル製造所が小田村久々知（現尼崎市潮江四丁目）に神崎工場を開設した。
- 一〇月一日 尼崎市史編さんのため、尼崎市は自治行政史臨時調査係を設置した。
- 一〇月二五日 第一次世界大戦後の不況のもと、失業者救済を目的として、尼崎市立職業紹介所が旧城郭内に開設された。
- 十二月七日 旭硝子が機械吹き導入にともない職工七〇〇人を前日（二月六日）付で解雇したことから、労働争議となった。
- この年 尼崎市は増大する社会事業に対応するため庶務課から社会課を独立させて設置した。また、住宅難と家賃高騰の対策として市営住宅建設を開始した。

一九二二年（大正一〇）

〔尼崎のできごと〕

- 三月一〇日 森永製菓塚口工場（ビスケット工場）が園田村上坂部・御園（現尼崎市上坂部二丁目）、福知山線塚口駅東側に落成した。
- 五月二五日 住友伸銅所尼崎工場で人員整理への不満から怠業が始まり、請負制度改善の嘆願書が提出された。この騒ぎが翌六月の同社大阪本工場などの大争議へと波及した。
- 六月六日 尼崎信用組合が尼崎市・小田村・大庄村を区域として営業を開始した。
- 六月二八日 阪神電鉄が東浜新田（現東浜町）に設置した東浜火力発電所が操業を開始した。
- 六月 大日本木管と日本スピンドル製造の労働者一三〇人が尼崎木管工組合を結成し、友愛会大阪連合会に加盟した。
- 七月一日 東難波の市営住宅六戸が落成し、貸付けが開始された。
- 七月六日 久保田鉄工所の職工約四〇〇人が、横断組合と団体交渉権の承認など一〇か条を要求して怠業に入った。
- 七月二三日 六月三〇日に始まったリーバ・ブラザーズ争議が横断組合の団体交渉権確認、賃下げをともなわない時短などを勝ち取り妥結した。
- 八月六日 大日本木管の職工二三五人解雇に反対する労働争議の結果、全員無条件復職及び工場委員会制度が認められた。
- 九月一日 尼崎託児所が尼崎婦人会の奉仕事業として開設された。
- 九月一五日 友愛会尼崎第一〜第四支部と武庫川支部が合同し、友愛会尼崎合同組合と改称した。
- 九月三〇日 阪神急行電鉄（阪急）が猪名川水力電気を合併し、武庫村・立花村への電気供給を開始した。
- この年 摂池銀行が立花村塚口に支店を開設した。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一〇日 国際連盟発足
- 五月二日 東京上野公園で日本初のメーデー開催
- 七月 戦艦八隻・巡洋戦艦八隻を編成する海軍八艦隊建造予算成立
- 一〇月一日 第一回国勢調査実施
- この年から翌大正二〇年にかけて、宮中某重大事件

尼崎伸銅発行営業案内より



〔日本と世界のできごと〕

- 三月 ロシア共産党大会、ソ連の新経済政策・ネップ導入を決定
- 六〜八月 神戸川崎・三菱造船所争議
- 一一月四日 原敬首相暗殺



尼信記念館（東桜木町） 尼崎信用組合創業当時のレンガ造の事務所が、現在も保存されている。

一九二三年（大正一二）

〔尼崎のできごと〕

- 一月二三日 尼崎普選促進同盟会が尼崎市立図書館で普通選挙実施を訴える演説会を開催した。
- 四月一日 私立琴浦高等女学校の前身である私立技芸学館が中在家町西性寺に設立された。
- 四月九日 旧城郭内二の丸の尼崎市役所新庁舎落成式が、市制実施記念日のこの日を選んで挙行された。大阪亜鉛鉱業神島工場（岡山県）の事務所棟を買い取り移築したもの。同日一日、旧城郭内南浜の旧庁舎から市役所が移転し開庁した。
- 四月二三日 本興寺所蔵の太刀銘恒次（数珠丸）が国宝に指定された（昭和二五年の制度改正により国指定重要文化財となる）。
- 五月一日 メーデー大阪大会に尼崎の労働団体が初めて参加した。
- 五月 塩野義商店が小田村今福（現尼崎市杭瀬寺島二丁目）の神戸醋酸今福工場を買収し、杭瀬工場を設立した。
- 六月二日 阪神電鉄の従業員が尼崎市立図書館で労働組合談笑倶楽部の発会式を行なった。
- 六月三日 尼崎市長に上村盛治が就任した。
- 六月 住友伸銅所尼崎工場で、軍縮による不況を理由とする解雇に反発して二二日以降労働者六〇〇人余りが怠業に入った（七月一日、労働組合が惨敗宣言を行ない争議終結）。
- 八月一〇日 尼崎市立診療所が旧城郭内の市役所敷地内に開設された。
- 九月 尼崎瓦斯が小田村へのガス供給を開始した。
- 一〇月二〇日 日本労働総同盟尼崎連合会が結成された（その後の内部対立により組織未確立に終わる）。
- 十一月一九、二二日 市民の歴史に対する関心を喚起し、あわせて市史編さんのための史料掘り起こしを意図する尼崎郷土史料展覧会が、尼崎第一尋常小学校を会場として開催された。
- 十二月八日 尼崎市自治行政資料編纂係が臨時市史編纂部と改称された。

一九二三年（大正一二）

〔尼崎のできごと〕

- 三月 鉄筋コンクリート造の尼崎共立銀行本店ビルが、西本町三丁目に新築された（現「本町ビル」）。
- 四月九日 尼崎市立尼崎中学校が開校式を行ない、同日二〇日には尼崎尋常高等小学校校舎の一部を使用して授業を開始した。
- 四月二〇日 尼崎市は、地域の貧困家庭の調査・相談、職業周旋などを担う方面委員五二人を初めて委嘱した。
- 六月二日 現尼崎市域初の土地区画整理事業として、竹谷新田のうち阪神国道（現国道二号）沿線を市街地化する竹谷新田耕地整理事業の計画が認可された。
- 七月一日 尼崎市は都市計画法実施都市に指定された。
- 七月二〇日 小田村が長洲地内（現小田支所の位置）に新築した木骨造（一部鉄筋コンクリート）の村役場が竣工し、新庁舎落成記念村誌『小田のしるべ』が刊行された。
- 八月 毛斯綿紡織戸之内工場が園田村戸ノ内（現尼崎市戸ノ内町）に設立された。
- 九月 兵庫県農工銀行が宮町の本町通商店街沿いに鉄筋コンクリート造・壁体煉瓦積み（なまむら）の尼崎支店庁舎を竣工し、一〇月一日に支店を開設した。
- 十一月 九日に猪名寺の小作人代表が地主会に小作料永久軽減を要求し、一〇日には東難波・西難波で小作料引下げ要求が行なわれるなど、前年（大正二一年）に神戸で結成された日本農民組合の影響と考えられる小作争議が尼崎地域に発生した。
- 十二月九日 武庫川改修第一期工事竣工兼第二期工事起工式、ならびに旧中国街道に替えて阪神国道（現国道二二号）を敷設する国道改築工事起工式が武庫川河川敷で行なわれた。

〔日本と世界のできごと〕

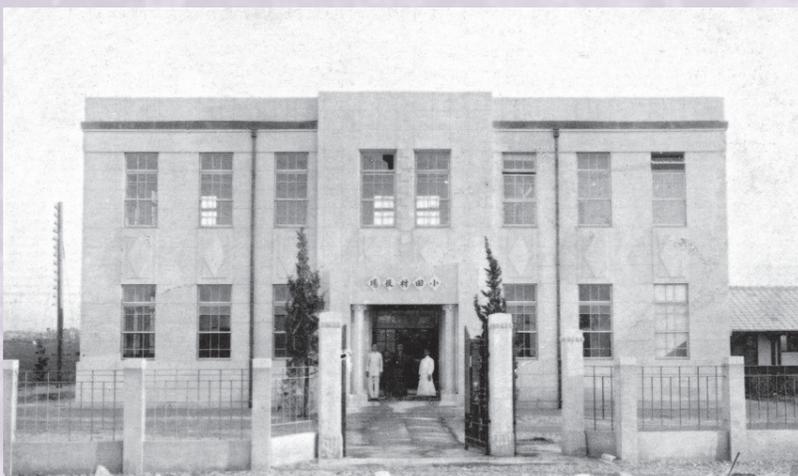
- 二月六日 ワシントン海軍軍縮条約調印、英米日仏伊の軍艦保有比率決定
- 三月三日 全国水平社創立
- 四月九日 日本農民組合創立
- 七月一日 日本共産党結成



大阪亜鉛鉱業神島工場を移築した新尼崎市庁舎 昭和17年頃撮影

〔日本と世界のできごと〕

- 六月五日 第一次共産党事件、共産党関係者一斉検挙
- 九月一日 関東大震災
- 十一月 ドイツ・ミュンヘン二揆、ルーデンドルフ、ヒトラーらクーデター未遂



大正12年竣工当時の小田村役場 庄田耕次郎氏寄贈絵はがきより

一九二四年（大正一三）

〔尼崎のできごと〕

- 一月二〇日 阪神電鉄が伝法線大物―伝法間の営業を開始した。
- 三月八日 日本労働総同盟尼崎連合会の再建発会式が組合員三五〇人を集めて中在家町の西性寺で開かれ、鈴木文治らが演説した。
- 五月一日 尼崎市消防組に消防第一号車としてドイツ製ベンツ号消防ポンプ自動車 que 配備された。
- 五月 尼崎市立尼崎中学校が大物（現北大物町、県立尼崎高等学校敷地）に建設した鉄筋コンクリート三階建新校舎の一部が五日完成し、六日、尼崎尋常高等小学校内の仮校舎から新校舎へと移転した。
- 五月二〇日 宝塚―尼崎間の電鉄路線敷設を目的とする宝塚尼崎電気鉄道が設立された。
- 六月二八日 阪神電鉄従業員組合の組合承認など一五か条要求を会社が拒否したことからストライキに入り、約二週間におよぶ労働争議となった。
- 七月五日 麒麟麦酒神崎工場で賃上げをめぐって職工一三〇人がストライキを行なった。
- 八月二二日 世界的前衛画家・白髪一雄が西本町に生まれた。
- 一二月二二日 都市計画兵庫地方委員会が、尼崎市と小田・大庄・立花・武庫・園田村の区域を尼崎都市計画区域と決定した。
- この年 一〇月から一二月にかけて、次屋・浜・下坂部・金楽寺・尾浜・七松・東富松・東難波など尼崎地域各所で小作争議が頻発した。



阪神電鉄争議団 野田停留所付近にて 大正13年6月29日撮影 (村川行弘氏提供写真)

〔日本と世界のできごと〕

- 一月二二日 英国初の労働党内閣誕生
- 一月 中国国民党、第一次国共合作（ソ連・中国共産党との提携）を決定
- 五月二六日 米・新移民法に大統領が署名し、日本人移民全面禁止決定
- 八月一日 甲子園球場竣工式
- 一二月二八日 孫文が神戸で大アジア主義講演
- この年 シュルレアリスム宣言発表

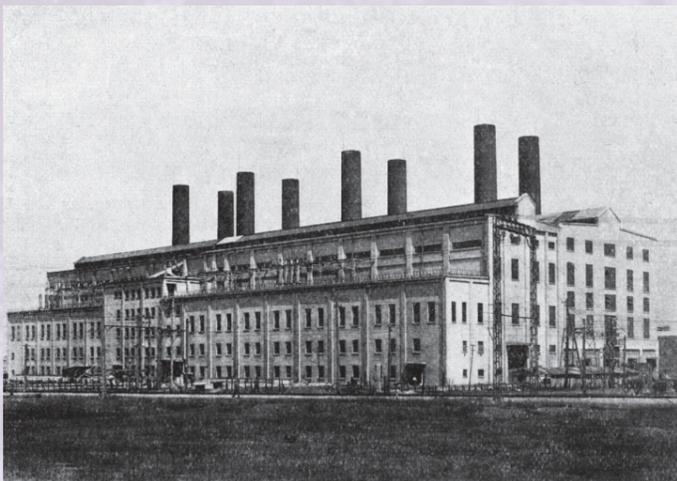
一九二五年（大正一四）

〔尼崎のできごと〕

- 一月一〇日 西難波のうち阪神国道（現国道二号）沿線を市街地化する土地区画整理事業として、西難波耕地整理事業が計画認可された。
- 二月二六日 この日の夜、治安維持法案と労働争議調停法案に反対する尼崎市内外労働者大会が、日本労働総同盟尼崎連合会の主催により尼崎市立図書館で開催された。
- 三月二四日 日本農民組合東難波支部が設立された（記録に残るもっとも早い尼崎地域の支部組織、のちに尼崎支部と改称）。
- 三月 日本電力が東浜新田（現東浜町）に建設した尼崎火力発電所が完成した（のちに尼崎東火力発電所となる）。
- 四月一日 小田第三尋常小学校が小田第二尋常高等小学校から分離し、杭瀬に校舎を新築して設置された（現市立杭瀬小学校）。
- 五月一日 日本労働総同盟尼崎連合会が貴布禰神社で尼崎地域初のメーデー大会を開いた。参加者五〇〇人が八時間労働制実施などを決議し、阪神電鉄庄下停留所（現阪神尼崎駅）までデモ行進を行なった。
- 七月一八日 日本労働総同盟尼崎連合会が中心となって結成した尼崎地域初の無産政党・関西民政党的の結党式が尼崎市立図書館で開催された。
- 八月 小田村初の幼稚園として、私立小田幼稚園が杭瀬に設立された。
- 九月五日 日本労働総同盟尼崎連合会の創立大会が尼崎市立図書館で開かれ、連合会が正式に再建された。
- 九月二〇日 出屋敷の西墓などの墓所が整理され、西難波の市設墓地に移された。
- 一〇月一六日 別所及び東難波のうち阪神国道（現国道二号）沿線を市街地化する土地区画整理事業として、北部耕地整理事業が計画認可された。
- 一二月一四日 尼崎市立尼崎中学校が大物（現北大物町、県立尼崎高等学校敷地）に新築した鉄筋コンクリート三階建の新校舎が全面竣工した。
- 一二月二五日 私立中外商業学校が大坂から立花村東富松に移転し、翌大正一五年一月八日、授業を開始した。

〔日本と世界のできごと〕

- 三月七日 治安維持法成立
- 三月二二日 東京放送局、国内初ラジオ放送開始
- 三月二九日 普通選挙法成立、二五歳以上男子普選
- 四月一日 西宮町が市制を施行し西宮市発足
- 五月二四日 日本労働組合評議会結成
- 五月三〇日 五・三〇事件、上海の反日デモにイギリス人警官隊が発砲
- 七月一〇日 細井和喜蔵著『女工哀史』刊行



日本電力尼崎火力発電所 『日本電力株式会社十年史』（昭和8年）より

一九二六年（大正一五・昭和元）

〔尼崎のできごと〕

- 一月 立花村初の幼稚園として、私立塚口ときは幼稚園が、阪急塚口駅北側の塚口土地が開発した住宅地に設立された（現市立塚口幼稚園の前身）。
- 二月二日 大阪製麻で、組合幹部の解雇を発端として、朝鮮人労働者を含む男女職工二六三人がストライキに入った（三月三日、解雇手当導入などを条件として妥結）。
- 四月五日 大庄村初の幼稚園として、私立松寿幼稚園（武庫川幼稚園）が西新田の源光寺に設立された。尼崎市は、市制実施一〇周年を記念して尼崎第一尋常小学校において奉告祭及び祝賀式を開催し、この日から一日までを祝賀日と定めて祝賀会・提灯行列等を実施した。
- 四月一九日 櫻井神社所蔵の太刀銘守家が国宝に指定された（昭和二五年の制度改正により国指定重要文化財となる）。
- 七月一日 地方官官制改正による郡長・郡役所廃止により、川辺郡役所・武庫郡役所が廃止された。尼崎市は市内に新たに二五区を設定し、町総代を廃して区長・区長代理者を各区に置く規程を施行した。
- 一月初旬 小田村では、尼崎市との合併及び上水道問題を争点として、北部・南部両派の村長候補者擁立をめぐり紛糾した。
- 一月三〇日 旧城郭内二の丸（現北城内）に新築された尼崎警察署の鉄筋コンクリート建物が竣工した。
- 二月四日 日本労働組合同盟が発足した。これにより日本労働組合同盟尼崎連合会が分裂し、会長の藤岡文六をはじめ一部の労働組合が組合同盟尼崎労働組合に移った。
- 二月七日 西宮市の東口公会堂において労働農民党摂陽支部発会式が行なわれた。同日九日には中間派無産政党・日本労働党が結成され、尼崎では藤岡文六らが同党関西支部を結成した。さらにこの頃、前年（大正一四年）結党の関西民政党が解散し、替わって社会民衆党尼崎支部が組織された。
- 二月二五日 阪神国道（現国道二号）が開通した。武庫大橋も同月中に竣工した。

一九二七年（昭和二）

〔尼崎のできごと〕

- 一月 小田村の南部八大字が、尼崎市に対して小田村からの分離合併を申し入れた。
- 四月五日 尼崎臨海部の丸島築港計画を計画した神戸の商社・鈴木商店が経営破綻した。
- 五月六日 乾鉄線で、メーデー参加者全員解雇などをめぐり、全従業員がストライキに突入する大争議となった（六月二七日、兵庫県停課の強制斡旋を受け労働者側が敗北して終結）。
- 六月八日 尼崎市立図書館に三〇工場一三六人の労働者が集まり、尼崎工代会議（工場代表者会議、労組・活動家間の交流や、未組織労働者の組織化を意図する労働運動の手法のひとつ）を開いた。
- 六月一四日 阪神国道（現国道二号）の開通式が行なわれた。
- 六月一七日 被差別部落の経済・生活などの改善事業を行なう融和団体・兵庫県清和会の武庫郡支部創立協議会が西宮市東口公会堂で開かれ、武庫郡支部が結成された。
- 六月 金井トラベラー製造所が旧城郭内（現南城内）から大庄村東大島（現尼崎市大庄北五丁目）に移転した。
- 七月一日 阪神国道上の路面電車を運行する阪神国道電軌の東神戸―西野田間が開業した。
- 七月二〇日 現尼崎市域初のダンスホールとして尼崎ダンスホールが開業した。
- 八月一九日 困窮者を市費により救助する尼崎市窮民救助規程が公布され、即日施行された。
- 九月二五日 普通選挙第一回の兵庫県会議員選挙が行なわれ、尼崎市から六島誠之助が当選した。

〔日本と世界のできごと〕

- 三月五日 労働農民党結成
- 七月 蔣介石指揮の国民革命軍北伐開始
- 八月 東京向島の同潤会アパート竣工、国内初の公営鉄筋集合住宅
- 二月四日 日本労働組合同盟結成
- 二月五日 社会民衆党結成
- 二月九日 日本労働党結成
- 二月二五日 大正天皇崩御、大正から昭和に改元



塚口ときは幼稚園開園記念 昭和3年1月15日撮影
クリスチャンの三嶋閣郎が創立、後列にはイギリス人女性のコックス先生も写っている。（三嶋正芳氏所蔵写真）

〔日本と世界のできごと〕

- 三月一五日 金融恐慌開始
- 五月二日 チャールズ・リンドバーグ、大西洋単独無着陸横断飛行に成功
- 六月一日 立憲民政党結成
- 七月二四日 作家・芥川龍之介自殺



阪神国道 玉江橋から西を望む 昭和初期撮影
尼崎戦後史聞き取り研究会寄贈絵はがき

一九二八年（昭和三）

〔尼崎のできごと〕

- 二月二日 尼崎市長に桜井忠剛が就任した。
- 二月二七日 尼崎市立図書館が宮町から旧城郭内（現南城内）の新館に移り開館した。
- 三月一五日 関西合同労働組合・労働農民党摂陽支部関係者らが検挙された（三・一五事件）。
- 三月一八日 尼崎郵便局電話分室が完成し、電話の交換方式を共電式に変更した。
- 三月三一日 現尼崎市域初の土地区画整理事業として、竹谷新田のうち阪神国道（現国道二号）沿線を市街地化する竹谷新田耕地整理事業の換地処分が公告され事業が完了した。
- 三月 武庫川改修第二期工事が終了し、武庫川改修事業の全工事が竣工した。
- 四月一〇日 尼崎市上水道の淀川柴島水源地からの引水工事が完成し、同月一四日には淀川から神崎浄水場への送水が開始された。
- 四月 武庫川改修工事にもなう六樋合併工事が完成し、武庫川から現尼崎市域に流れる六用水路すべてが西昆陽の合併樋門一か所から取水することになった。
- 五月五日 児童の健康に関する無料相談所として、旧城郭内・市役所敷地内の尼崎市立診療所の上階に、週三日程度相談・検査業務を行なう児童相談所が開設された。
- 五月三一日 普通選挙第一回の尼崎市会議員選挙が実施され、無産政党からも三人が初当選した。
- 七月四日 尼崎第一尋常小学校（城内小学校、現市立明城小学校）の鉄筋コンクリート校舎主要部分が竣工した（阪神・淡路大震災後取り壊し、現校舎に建て替え）。
- 八月一一日 尼崎市会の公声会所属議員六人が、阪神電鉄に対して電灯料金値下げを申し入れた。
- 一〇月五日 社会民衆党が阪神電灯電力値下期成同盟会結成大会を尼崎市立図書館で開催した（阪神沿線電灯料値下期成同盟会と記す史料もある）。
- 十一月一〇日 昭和天皇の即位大礼が行なわれたこの日、尼崎第一尋常小学校において尼崎市の奉祝式が催され約千人が参列した。同月一六日には約三千人による奉祝提灯行列が行なわれた。

一九二九年（昭和四）

〔尼崎のできごと〕

- 二月二日 尼崎瓦斯が立花村へのガス供給を開始した。
- 三月一六日 尼崎臨海部の築港開発を行なう尼崎築港が、浅野総一郎らの出資により設立された。
- 三月二〇日 尼崎市上水道から小田村への分水契約が結ばれた。
- 三月 尼崎製釘所の新工場が西高洲新田（現西高洲町）に完成した（現アマテス）。
- 四月一日 大阪合同紡績神崎工場と大日本紡績尼崎工場が、改正工場法の法定期限を三か月繰り上げて深夜業を廃止した。
- 四月一四日 阪神電鉄が出屋敷―東浜間の海岸線の営業を開始した。
- 四月一六日 阪神電鉄の車掌二人が検挙された（四・一六事件）。
- 四月 日本エシレーター製造が大阪市内から小田村潮江に移転し、神崎工場を開設した（のちに日立製作所神崎分工場となり、さらに日立工事、日立機電工業となる、現日立製作所インフラシステム社尼崎事業所）。
- 五月三一日 日本労働総同盟尼崎紡織労働組合が賃上げ・退職手当制定などを求めて大争議となった（同月九日、警察の調停により要求を撤回して職工六〇人が解雇され終結）。
- 六月二〇日 政治的自由獲得同盟摂陽支部が結成された。これと前後して日本労働組合全国協議会傘下の摂陽合同労働組合が結成された。
- 九月 都市計画兵庫地方委員会がこの年七月に決定した尼崎都市計画区域の街路計画が、国により認可された。
- 十一月二九日 労働組合全国同盟尼崎連合会が結成され、日本労働総同盟尼崎連合会が大正一五年の日本労働組合同盟結成に続いてさらに分裂した。

〔日本と世界のできごと〕

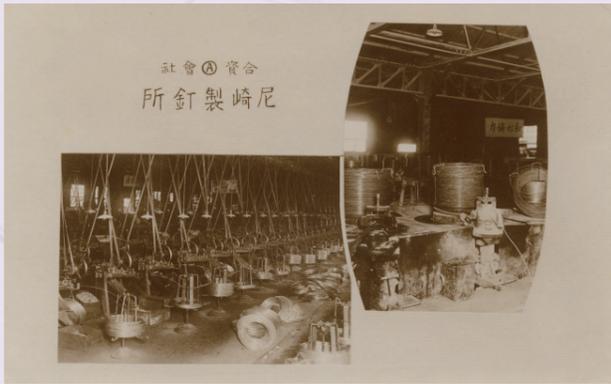
- 二月一〇日 普通選挙による第一回衆議院総選挙
- 三月一五日 三・一五事件、全国各地で共産党員一斉検挙
- 六月四日 満州奉天郊外、張作霖爆死事件
- 八月二七日 主要一五か国、パリ不戦条約調印
- 十一月二〇日 日本大衆党結成
- 十二月三一日 新労働農民党結成、二四日解散命令



『武庫川改修工事概要』（兵庫県、昭和3年）より
武庫川橋付近東岸（大庄村側）護岸工事完成

〔日本と世界のできごと〕

- 三月五日 旧労働農民党代議士・山本宣治暗殺
- 四月一五日 国内初の本格的ターミナル・デパート 阪急百貨店、大阪梅田に開店
- 四月一六日 四・一六事件、全国各地で共産党員一斉検挙
- 七月一日 改正工場法施行、婦人・年少者の深夜業禁止
- 一〇月二四日 暗黒の木曜日、ニューヨーク株式市場が大暴落し、世界恐慌開始



尼崎製釘所絵はがき 昭和初期撮影

一九三〇年（昭和五）

〔尼崎のできごと〕

- 一月一日 尼崎市は耕地整理・土地区画整理実施地及び予定地を除く市内全域の字名を改称し、従来の大字・小字表記を町名表記に変更した。
- 三月一四日 尼崎築港が尼崎臨海部の築港・埋立工事を着工した。
- 四月一日 尼崎市立尼崎中学校が兵庫県に移管され、県立尼崎中学校となった。
- 五月七日 立花村が村立診療所を塚口・東富松・七松の開業医宅に開設した。
- 七月二六日 尼崎市が初の市史として企画した『尼崎志』の第一篇（寺院編）を刊行した。
- 八月四日 簡易宿泊施設と食堂を備えた社会事業施設として、尼崎市立尼崎市民館が中在家町に開設された。
- 日本労働組合同盟阪神連合会と労働組合全国同盟尼崎連合会が合流して全国労働組合同盟（全労）阪神地方連合会となり、結成大会を尼崎第二尋常小学校で開催した。
- 一月八日 労賃単価値上げ要求中の日本スピンドルの職工のうち、前日のロシア革命記念日デモの指導者が尼崎警察署に検挙され、このうち五六人が解雇され長期争議となった（兵庫県調停課と警察の調停により解雇を承認する形で二月二四日に争議終結）。
- 二月 淡路競馬場を移転した園田競馬場が田能・椎堂に竣工し、一九二二日の三日間、競馬競技が初開催された。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一日 浜口雄幸内閣、金輸出解禁
- 四月二日 ロンドン海軍軍縮条約調印、英米日の軍艦保有比率決定
- 七月二〇日 全国大衆党結成
- 一〇月二七日 台湾霧社事件、現地人が武装蜂起し日本人殺害
- 一月一四日 浜口首相、東京駅で狙撃され重傷（昭和六年八月死亡）



兵庫県立尼崎中学校絵はがき 昭和初期撮影

一九三二年（昭和六）

〔尼崎のできごと〕

- 二月八日 大日本紡績尼崎工場で労働組合加入を勧誘した女工ら三人が解雇され長期争議となった（三月六日、争議団一三〇人解雇と解雇手当支給を条件として妥結）。
- 三月一〇日 大阪合同紡績が東洋紡績と合併し、合同紡績神崎工場となった。
- 三月二日 竹谷新田の武川ゴムで、請負単価値下げを発端とする労働争議が始まった。四月一日からストライキに入り、一四日には阪神出屋敷駅頭で社長に硫酸ビンを投げつけるなど闘争が過激化したのち、労組側の要求一部承認、四五人解雇などの条件で終結した。
- 三月二〇日 食料品の共同購入などを行なう阪神消費組合が朝鮮人労働者らにより設立され、築地本町に本部が置かれた。
- 三月 富永商店が尼崎工場を初島から杭瀬（現尼崎市杭瀬南新町三丁目）に移転し、操業を開始した（昭和一六年に大同製鋼に合併、昭和二五年大同鋼板となる。現日鉄住金鋼板西日本製造所（尼崎地区））。
- 五月一日 昭和恐慌のもと、北城内の阪神電鉄本社前広場で催されたメーデー集会に約千人の労働者が集まり、解雇・賃下げ反対を訴え出屋敷・築地を経て杭瀬までデモ行進した。
- 七月二八日 尼崎市の上水道から小田村に分水する工事が完成し、給水を開始した。
- 九月三日 関西共同火力発電が日本電力・宇治川電気などの共同出資により設立された。
- 尼崎市が初の市史として企画した『尼崎志』の第二篇（神社・教会編）を刊行した。
- 十一月二七日 大阪曹達が大高洲町に新設した尼崎工場の第一期工事が竣工した。
- 十一月 農民組合の全国組織のひとつである全農全国会議兵庫県連合会の生津支部が組織された。この前後、生津で早害と虫害を理由に小作料軽減を要求する小作争議が起こった。
- 二月二二日 同月九日以来争議中の東洋紡績神崎工場の煙突に全国労働組合同盟（全労）の組合員が登り、東洋紡と富士製紙の争議支援のたれ幕を下げ三日間居座り続けた。

〔日本と世界のできごと〕

- 七月二日 万宝山事件、満州の長春郊外で中国人農民と朝鮮人農民・日本警官隊が衝突
- 七月五日 全国労農大衆党結成
- 八月二五日 羽田空港（現東京国際空港）開港
- 九月一八日 柳条湖事件、満州事変開始



東洋紡績神崎工場 『小田村勢』（小田村、昭和11年）より昭和7年頃撮影

一九三三年（昭和七）

〔尼崎のできごと〕

- 二月一日 尼崎市方面委員会経営の尼崎養老院が東難波の市営住宅を利用して開設された。
- 三月二日 小田村潮江の日本エレベーター争議を応援する争議団員が、大阪医科大学病院の煙突にこの日から三日間居座り続けた。
- 五月二日 尼崎市公益質舗が南城内に開設された。
- 六月二五日 尼崎築港が埋立地への乗合バス三路線の運行を開始した。
- 七月二一日 尼崎市会に設けられた隣接町村合併促進調査委員会の第一回が開催された。
- 九月五日 満州派遣軍の慰問を目的とする兵庫県満蒙事変援軍会尼崎市部会が設置され、基金・慰問品の募集を開始した。
- 九月 社会民衆党と全国労農大衆党の尼崎の組織が合同し、社会大衆党尼崎支部を結成した。
- 一〇月中旬 尼崎製鋼所が大庄村中浜新田（現尼崎市中浜町）に建設した工場が竣工した。翌昭和八年一月二〇日、開業式が行なわれた。
- 一〇月三〇日 小田村は村誌『小田村勢』を刊行した。
- 十二月二五日 阪神国道自動車経営する西大島一宝塚間自動車専用道路が開通した（現兵庫県道尼崎宝塚線、通称「尼宝線」であったが、現在は「尼宝線」と呼ばれている）。

一九三三年（昭和八）

〔尼崎のできごと〕

- 一月 小田村会に、尼崎市との合併について調査する市村合併調査委員会が設置された。
- 七月二五日 尼崎―伊丹間の産業道路（現兵庫県道尼崎伊丹線）が、兵庫県の失業救済事業により完成した。農民組合の全国組織のひとつである全農全国会議兵庫県連合会の掲揚出張所が小田村潮江に設けられた。
- 九月一〇日 大日本国防婦人会尼崎支部の発会式が尼崎市立尼崎高等女学校で行なわれた。
- 九月 尼崎商工共和会が尼崎市と小田村・大庄村の合併促進要望書を尼崎市長に提出した。
- 十一月二五日 立花駅誘致と駅周辺の市街地開発を目的とする橋土地区画整理事業が計画認可された。
- 十一月二五日 尼崎商工共和会は、画家・牧生驥（暁仙とも号す、本名・牧喜世蔵）が描く、「初三郎図」スタイルの『大尼崎鳥瞰図』三版のうちの最初の版を刊行した。
- 十二月二六日 関西共同火力発電が大庄村末広町に建設した尼崎火力発電所が操業を開始した（のちに尼崎第一火力発電所となる）。

〔日本と世界のできごと〕

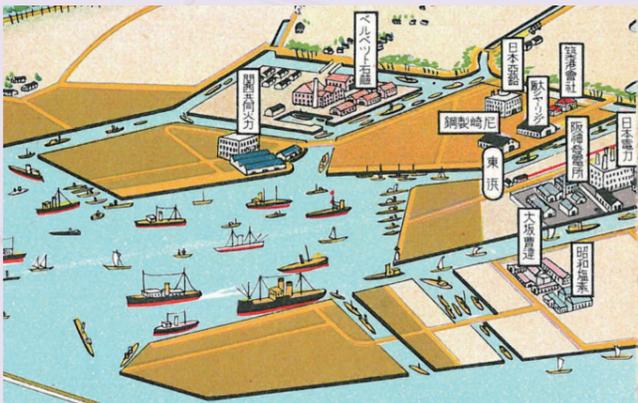
- 二月九日 血盟団事件、前蔵相井上準之助暗殺
- 三月五日、三井合名理事長団琢磨暗殺
- 三月一日 満州国建国宣言
- 三月一八日 大阪で国防婦人会発会式、一二月三
- 五月一五日 日大日本国防婦人会となる
- 五月一五事件、海軍青年将校らが決起し犬養毅首相を暗殺
- 七月二四日 社会大衆党結成
- 九月二五日 日本労働組合会議結成



西大島―宝塚間自動車専用道路（現尼宝線）
昭和戦前期撮影

〔日本と世界のできごと〕

- 一月三〇日 ヒトラー独首相就任、ナチス政権誕生
- 二月二〇日 プロレタリア作家・小林多喜二、東京築地署に検挙され拷問死
- 二月二四日 国際連盟の満州撤退勧告に対し松岡洋右日本代表退席、三月に国連脱退
- 五月二六日 滝川事件、文部省が京都帝国大学滝川幸辰教授を休職処分
- 六月一七日 ゴー・ストップ事件、兵士の信号無視が陸軍と警察の対立に発展



牧生驥画、尼崎商工共和会刊行『大尼崎鳥瞰図』より尼崎港部分。
この年に稼働した関西共同火力の発電所も描かれている。

一九三四年（昭和九）

〔尼崎のできごと〕

- 二月二日 立花第二尋常小学校が、立花尋常高等小学校（現市立立花小学校）から分離して塚口に設置された（現市立塚口小学校）。
- 四月二〇日 宝塚有馬自動車が行くバス路線「尼崎線」（尼崎庄下―川西間）が開通した。
- 四月二〇日 日本亜鉛鍍尼崎工場が大庄村中浜新田地先の埋立地（現尼崎市鶴町）に設置された（昭和一四一年に日亜製鋼と改称、現日新製鋼ステンレス鋼管尼崎工場）。
- 七月二〇日 東海道本線立花駅が開設された。同線京都―神戸間電化計画にともない、橘土地区画整理事業を実施する地元からの陳情を受けて実現した新駅であった。
- 八月 東京〇ール製作所尼崎工場が西高洲町に開設された（昭和一五年、大谷重工業尼崎工場となる）。
- 九月二日 室戸台風が襲来。当時の尼崎市の三分の二が浸水し、大庄村では丸島・又兵衛大浜の集落が流失した。小学校校舎倒壊により教員一人児童二三人が犠牲となるなど、現尼崎市域全体で一四六人の死者・行方不明者が出た。
- 一〇月三〇日 阪神間の沿岸市町村長・市会議長らが西宮市役所に集まり、阪神間大防波堤構築期成同盟会を結成した。
- 十一月八日 日本労働組合総評議会と全労統一全国会議が合流して日本労働組合全国評議会（全評）が結成され、尼崎地域から常光寺に本部を置く阪神一般化学労働組合が加わった。十二月には同労組を母体とする全評阪神地方評議会が設立された。
- 十一月 立花村塚口で阪急電鉄の宅地開発にともなう土地返還に反対する小作争議が起こった。
- 十二月二八日 立花村塚口（現尼崎市塚口本町四丁目）の郡是製糸塚口絹製品工場が婦人絹靴下の生産を開始した。
- 十二月 尼崎市と大庄村の台風被害地域を対象とする災害復興都市計画事業が兵庫県会で議決された。

一九三五年（昭和一〇）

〔尼崎のできごと〕

- 二月二七日 徳永板硝子製造が西向島町で型板ガラスの製造を開始した（昭和一六年、日本板硝子に合併）。
- 二月二〇日 尼崎市が初の市史として企画した『尼崎志』の第三篇（尼崎城・尼崎魚市）を刊行した。
- 四月二日 新築の鉄筋コンクリート三階建校舎を備える竹谷尋常小学校が、尼崎第二・第三尋常小学校から分離して設置された（現市立竹谷小学校）。
- 四月 朝鮮人学童教育機関として、関西普通学堂が武庫村守部に開設された。
- 五月二日 総同盟尼崎連合会・全労阪神連合会・全評阪神地方協議会の四〇〇人余りが貴布禰神社を会場とするメーデー集会に集まった（昭和戦前期最後のメーデー）。
- 五月二四日 室戸台風による大庄村域の被災地復興を目的とする大庄土地区画整理事業が計画認可された。
- 六月二日 尼崎市長に有吉實が就任した。
- 八月 中山鋼業所が大庄村中浜新田地先の埋立地（現尼崎市鶴町）に設立された（昭和一六年に中山製鋼所尼崎工場となり、昭和二四年に尼崎製鋼となる）。
- 九月二日 小田第四尋常小学校が小田第二尋常小学校から分離し、金楽寺に校舎を新築して設置された（現市立金楽寺小学校）。
- 九月二七日 住友伸銅管と住友製鋼所が合併して住友金属工業が発足し、東向島西之町の尼崎工場は鋼管製造所と改称した（現新日鐵住金尼崎製造所）。
- 一〇月八日 防空・灯火管制実施を目的とする尼崎防護団の結団式が行なわれ、学校区単位の五防護団・分団、工場分団などが編成された。
- 一〇月 立花駅誘致と駅周辺の市街地開発を目的とする橘土地区画整理事業の工事が完成した。
- 十一月四日 尼崎市会と小田村会の合併特別委員連合会が尼崎市役所で開催され、満場一致で解消合併（対等合併）を決議した。

〔日本と世界のできごと〕

- 九月二日 室戸台風、関西・四国各地罹災
- 一〇月一日 陸軍パンフレット「国防の本義と其強化の提唱」発行
- 一〇月二五日 中国共産党・紅軍、国民政府軍の包囲から脱出する長征開始
- 十二月二六日 日本初のプロ野球チーム大日本東京野球倶楽部創立（現読売ジャイアンツ）



室戸台風により倒壊した大庄尋常高等小学校

〔日本と世界のできごと〕

- 八月三日 政府、天皇機関説は国体に反すると断ずる国体明徴声明発表
- 八月二日 相沢事件、陸軍皇道派の相沢中佐が統制派中心人物・永田軍務局長を刺殺
- 九月二六日 第四艦隊事件、海軍駆逐艦が台風により船体切断
- 九月 第一回芥川賞・直木賞発表
- 一〇月三日 イタリア軍、エチオピア侵攻開始
- 十二月一〇日 大阪タイガース（現阪神）創立



橘土地区画整理組合上水道水源地
同組合刊行『事業の概要』（昭和11年）より

一九三六年（昭和一一）

〔尼崎のできごと〕

- 一月九日 小田村長洲（現尼崎市長洲東通二丁目）に新設された山岡発動機工作所神崎工場（現ヤンマー尼崎工場）が本格的な操業を開始した。二八日には同じ工場敷地内に山岡内燃機が設立された。
- 三月三〇日 尼崎市との解消合併（対等合併）を前に、小田村は村誌『小田村勢』の改訂版を刊行した。
- 四月一日 尼崎市と小田村が解消合併し、新尼崎市が発足した。
- 園田第三尋常小学校が、園田第一尋常小学校から分離して上坂部に設置された（現市立上坂部小学校）。
- 兵庫県は煤煙防止規則が施行された。
- 五月三日 尼崎市と小田村の解消合併後初の尼崎市会議員選挙が実施された。
- 五月二二日 大庄村道意新田で、区画整理にともなう小作地返還に反対する小作争議が起こり、地主組合が雇った人夫と小作人が衝突しけが人が出る事態となった。
- 六月三日 新発足した尼崎市の市長に有吉實が就任した。
- 七月二日 阪神上水道市町村組合が設立された。
- 八月四日 尼崎市会に煤煙防止河川浄化委員会が設置された。
- 九月五日 尼崎地方の全国労働組合同盟と総同盟尼崎連合会が合同大会を開き、全日本労働総同盟尼崎地方協議会が成立した。
- 一〇月一日 尼崎市立診療所が兵庫県に移管され、北城内に建物を新築して県立西宮懐仁病院尼崎分院として開業した。
- 一〇月五日 阪神急行電鉄（阪急）神戸線園田駅が開設された。
- 一〇月八日 第一回市制実施記念日。玉江橋東詰の市庁舎・公会堂予定地において尼崎市小田村合併奉告祭・祝賀式挙行。以後一〇日まで三日間、市内各所で祝賀行事が行なわれた。
- 十一月二日 大近松宣揚会が第一回大近松祭を久々知広済寺で開催。加えて尼崎市立図書館・市立尼崎高等女学校・映画館三都座で奉賛の催しが行なわれた（二二日が近松門左衛門命日）。
- 十二月五日 人民戦線運動取締りの一環として、尼崎地域の労働運動・農民運動活動家らが治安維持法違反の容疑により検挙された。
- 十二月 関西共同火力発電が大庄村末広町に建設した尼崎第一火力発電所が完成した。

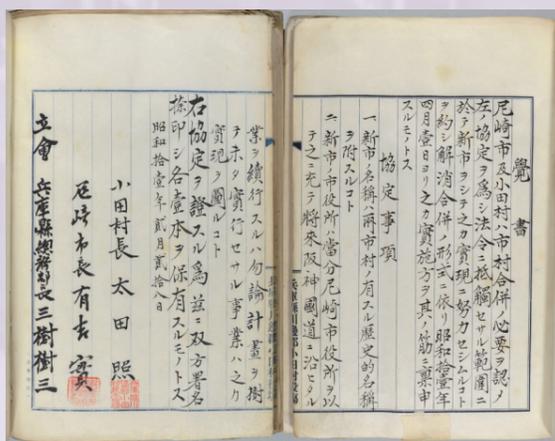
一九三七年（昭和一二）

〔尼崎のできごと〕

- 一月二五〇 尼崎製釘所の職工二四五人が待遇改善を要求してストライキに入り、西本町の教延寺に籠城した。
- 二月二八日 尼崎第三尋常小学校の鉄筋コンクリート校舎が竣工した（旧開明小学校、現尼崎市役所開明庁舎）。
- 二月 日本電力及び関西共同火力発電の火力発電所が排出する煤煙への反対運動が、衛生組合を中心として活発化した。
- 三月一日 橘土地区画整理組合が敷設した水道が立花水源地からの給水を開始した。
- 三月三日 尼崎市域の室戸台風による被災地の復興を目的とする災害復旧土地区画整理事業が計画認可された。
- 三月二五日 関西ペイント従業員四〇〇人中二〇〇人が日給引上げなどを要求して怠業に入った（同月二七日、兵庫県特高課の調停により解決）。
- 四月二八日 現尼崎市域を徴兵区に含む篠山歩兵第七〇連隊が満州に出動した。
- 五月二四日 大庄村西新田地先（現尼崎市扇町）に新設された日本石油関西製油所が操業を開始した。
- 七月 畠田繁太郎著『尼崎今昔物語』が萬有社から刊行された。
- 尼崎市初の塵芥焼却場が東高洲町に完成し、試験焼却を開始した。
- 八月二六日 尼崎尋常高等小学校で日中戦争開戦後初の尼崎市葬が行なわれ、戦死者を追悼した。
- 九月六日 尼崎製鉄が、尼崎製鋼所と久保田鉄工所の折半出資により、大庄村又兵衛新田（現尼崎市大浜町二丁目）に設立された。
- 一〇月二〇日 阪神急行電鉄（阪急）神戸線武庫之荘駅が開設された。
- 一〇月 尼崎市は国民精神総動員運動に関する実施要項を決定し、一三日から一週間を強調週間（実施週間）と定め、時局講演会や勤労奉仕などを実施した。
- 十一月三日 日中戦争緒戦の上海占領を祝う戦捷祝賀会と旗提灯行列が尼崎市内で行なわれた。十一月一日・二日には南京攻略を祝う戦捷祝賀会などが行なわれた。
- 十一月二二日 建築家・村野藤吾設計の大庄村役場が西新田内に竣工した。
- 十二月 関西共同火力発電が大庄村末広町に建設した尼崎第二火力発電所の第一号機が完成し、発電を開始した。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一五日 全日本労働総同盟結成
- 二月二六日 二・二六事件、陸軍皇道派青年将校らが部隊を率いて拳兵し政府要人殺害
- 五月七日 斎藤隆夫代議士、衆議院で肅軍演説
- 五月一八日 陸海軍大臣現役武官制復活
- 七月一七日 スペイン内戦開始
- 一〇月一五日 豊中町が隣接三村と合併し豊中市発足
- 十一月二五日 日独防共協定調印（昭和二年一月、イタリアが参加し日独伊防共協定）
- 十二月二日 西安事件、満州軍閥の張学良、蒋介石を監禁



尼崎市立地域研究史料館所蔵 尼崎市役所文書
昭和11年「尼崎市・小田村合併覚書」
冒頭及び末尾署名の部分

〔日本と世界のできごと〕

- 四月二六日 ドイツ空軍、スペイン内戦下のゲルニカを空襲
- 五月二二日 文部省『国体の本義』を刊行・配布
- 七月七日 盧溝橋事件、日中全面戦争開始
- 八月二四日 国民精神総動員実施要綱閣議決定
- 十一月二三日 日本軍、南京を占領、この後南京事件
- 十二月一五日 第一次人民戦線事件、全国各地で合法左翼関係者一斉検挙



南京攻略を祝う祝賀行事 12月11日の夜、市内各区・団体の提灯行列が県立尼崎中学校前広場に集まり戦捷祝賀会を挙行了た。（有吉頼子氏寄贈写真）

一九三八年（昭和一三）

〔尼崎のできごと〕

- 二月 尼崎市が費用を負担した第一回開眼手術により、二〇人の視覚障害者が開眼した。
尼崎精工が長洲（現金養寺町一丁目）に設立された。
- 四月一日 兵庫県立尼崎工業学校が長洲尋常小学校内に設置された。
- 四月八日 私立園田高等女学校が園田村森（現尼崎市南塚町一丁目）に設立された。
- 五月三日 浜（現常光寺一丁目）の旧小田村伝染病隔離病舎の場所に伝染病院として新築された尼崎市立尼崎病院が開院し、北城内の市立伝染病院が閉鎖された。
- 六月一〇日 田熊汽罐製造が浜（現浜一丁目）に設立された。
- 六月 四月に兵庫県が市町村に隣保組織結成を指示したのを受けて、尼崎市は市内四二区傘下の隣保組及び隣保の編成に着手した。
- 七月五日 三日からこの日までの豪雨により、阪神大水害と呼ばれる被害が発生し、現神戸市域・芦屋市域などに大きな被害があった。現尼崎市域にも浸水被害が及び、尼崎市で三人、武庫村で一人が亡くなった。園田村では猪名川・藻川が決壊し、農地に加えて阪急園和住宅地にも浸水被害があった。
- 一〇月六日 尼崎市会は煤塵問題について国などに意見書を提出し、日本電力・関西共同火力発電両社に防塵装置設置要望決議文を送った。
- 十一月一日 古河電気工業が大庄村道意新田（現尼崎市道意町七丁目）に新たに建設した関西伸銅工場が完成し、尼崎伸銅所と大阪伸銅所を統合して新たに大阪伸銅所が設置された。



尼崎市立尼崎病院 竣工間もない時期の撮影と思われる。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一六日 第一次近衛声明、中国国民政府との和平交渉打ち切り
- 三月一三日 ドイツ、オーストリアを併合
- 四月一日 国家総動員法公布、五月五日施行
- 十一月九日 水晶の夜事件、ドイツ各地でユダヤ人襲撃

一九三九年（昭和一四）

〔尼崎のできごと〕

- 二月一日 尼崎市及び尼崎市教化連合会の主催による建国祭が市庁舎敷地内で行なわれ、一万人が参集した。
- 三月一日 尼崎商工共和会が、昭和通一丁目に新築した尼崎商工共和会館に移転した。
- 四月一日 電力国家管理のための国策会社・日本発送電が設立され、日本電力・関西共同火力発電・阪神電鉄の火力発電所が現物出資されて国家の管理下に置かれることになった。
尼崎市防護団と同消防組を統合して、尼崎市警防団が設置された。
- 八月四日 大庄第二尋常小学校が、大庄尋常高等小学校（現市立大庄小学校）から分離して西新田に設置された（のちに市立西小学校となる、現わかば西小学校）。これにともない、大庄尋常高等小学校が大庄第一尋常高等小学校と改称された。
- 一〇月二日 尼崎市会の主催による第二次排英尼崎市民大会が玉江橋東詰の市庁舎建設予定地で開かれ、約一万五千人が参加した。
- 一〇月二日 大庄村西新田地先（現尼崎市扇町）に立地する尼崎人造石油が、帝国燃料・尼崎製鉄・日本石油の共同出資により設立された。
- 一〇月二七日 兵庫県立尼崎保健所が南城内に開設された。
- 十一月二日 秋岡政次郎が尼崎市に寄付した西本町の家屋を改修して、市の迎賓や市民利用のための施設・琴秋閣が開設された。



尼崎商工会議所（旧尼崎商工共和会館）
昭和10年代後半撮影

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一七日 大阪第二飛行場（現大阪国際空港）、伊丹に開港
- 五月一日 ノモンハン事件開始、九月にかけて日本軍とソ連軍が軍事衝突
- 八月三日 独ソ不可侵条約調印
- 九月一日 ドイツ軍ポーランド侵攻、第二次世界大戦開戦

一九四〇年（昭和一五）

〔尼崎のできごと〕

- 一月二五日 尼崎市計画事業省線以南土地区画整理事業が計画認可された。
- 二月二一日 浜尋常小学校が、下坂部尋常小学校・杭瀬尋常小学校から分離して設置された（現市立浜小
学校の前身）。
- 三月三日 長洲在住の詩人・浜名與志春が治安維持法違反容疑により検挙された。神戸詩人クラブのメ
ンバーが弾圧された神戸詩人事件の被検挙者のひとりであった。
- 三月二八日 大庄村内の一〇工場が、尼崎市と大庄村の合併を市と村に陳情した。
- 四月 神東塗料が立花村尾浜（現尼崎市南塚口町六丁目）に工場を設置し、本社を神戸から移した。
- 五月 武庫・大庄・瓦木・鳴尾の四か村が合併して市制を施行し、新市の名称を「武庫川市」とす
る構想が公表された。
- 九月五日 奢侈品等製造販売制限規則（七・七禁令）により失職した京都西陣織職人のろうあ者一人が、
京都職業紹介所の仲介により長洲の尼崎精工に雇用された。この後敗戦までの間に百人以上
のろうあ労働者が同社に雇用され、軍需生産に携わった。
- 九月二一日 尼崎市は尼崎市会市村合併調査特別委員会を開催し、大庄村・立花村・武庫村に対して正式
に合併を申し入れた。
- 九月 虫印バルブ製造立花工場が立花村水堂（現尼崎市西立花町五丁目）に新設された（現東亜バルブ
エンジンアリング）。
- 一〇月 久保田鉄工所が大庄村又兵衛新田（現尼崎市大浜町二丁目）に新設した武庫川工場のうち、第
一機械工場が完成し、稼働を開始した。
- 一一月一〇日 紀元二千六百年を記念して、西長洲に市民運動公園が開設された（現記念公園）。
- 立花村が紀元二千六百年を機に企画した村誌『立花志稿』を刊行した。
- 一一月二一日 三菱電機神戸製作所大阪工場が園田村南清水（現尼崎市塚口本町八丁目）に設置された（現伊
丹製作所）。
- 一一月五日 尼崎市は、全国的な米の減収に対する応急策として、家庭用飯米の登録配給制を開始した。
- 一一月 尼崎商工共和会を解消して尼崎商工会議所を創設することとなり、八日に創立総会が開催さ
れ、一七日に設立が認可された。

一九四一年（昭和一六）

〔尼崎のできごと〕

- 一一月三日 阪神国道沿線市町村の長（尼崎市長・大庄村長・武庫村長・立花村長・園田村長を含む）や議員を
会員とする新阪神国道期成会が結成された。
- 一一月一〇日 有吉實尼崎市長が大政翼賛会尼崎市支部長を委嘱された。
- 一一月二一日 大庄第三尋常小学校が大庄第一尋常高等小学校（現市立大庄小学校）から分離して西大島に設
置された（現市立大島小学校）。
- 一一月 尼崎市は市内全域の区廃止・町内会結成を完了した。これを受けて四月二一日には、町内会
結成式ならびに区解消式が尼崎国民学校で行なわれた。
- 一一月一日 兵庫県経済部長からの米穀割当配給制通牒により、米の配給制度が尼崎市でも開始された。
国民学校令の実施にともない尼崎市内の各小学校も国民学校と改称された。
- 一一月 本興寺の興隆学林教授ら六人が、教義綱要の不敬容疑により検挙された。
- 一一月 住友金属工業が北難波町（現扶桑町）にプロペラ製造所神崎支所を開設した（現住友精密工業）。
- 一一月 昭和二二年に設立され操業準備を進めてきた尼崎製鉄が、高炉火入れ式を挙行した。
- 一一月 尼崎市は地盤沈下による水害対策のための水準測量を行なった。
- 一一月 尼崎市は、大庄村・立花村・武庫村との間にそれぞれ市村合併覚書を取り交わした。
- 一一月 一一月八日の対米英宣戦布告を受けて、尼崎市は市民に国土防衛の責務を果たすことを求め
る告諭を発した。
- 一一月二二日 尼崎市は新たに防空・警防団業務を所管する警防課を設置した。
- 一一月二七日 尼崎市は市議会議場に全吏員を集め、米英両国への宣戦布告詔書奉読会を挙行した。

〔日本と世界のできごと〕

- 九月二三日 日本軍、北部仏領インドシナ進駐
- 九月二七日 日独伊三国同盟調印
- 一〇月二二日 大政翼賛会発会式
- 一一月一〇日 政府主催紀元二六〇〇年記念式典
- 伊丹町・稲野村が合併し伊丹市発足
- 精道村が市制を施行し芦屋市発足
- 大日本産業報国会結成
- 一一月三日 日本が東京（夏季）・札幌（冬季）オリ
ンピック開催を返上し、開催中止



立花村役場 『立花志稿』（立花村、昭和15年）より
立花村助役・寺阪五夫が編さんした同書は、地域に残る古文書・古記録を調査し、実証的な歴史叙述に努めているのが特色。戦後、寺阪は故郷の岡山県に戻り、地元郷土史の調査編さんに従事した。

〔日本と世界のできごと〕

- 一一月三日 国民学校令公布、四月から小学校が国
民学校と改称
- 一一月一日 六大都市で米穀配給通帳制・外食券制
開始
- 一一月 四月一三日 日ソ中立条約調印
- 一一月 六月二二日 独ソ戦開始
- 一一月 七月二八日 日本軍、南部仏領インドシナ進駐
- 一一月 一一月八日 アジア太平洋戦争開戦

尼崎市役所清交会建国奉仕隊 中央が有吉市長か（開戦前
後の年代に撮影されたと思われる、有吉頼子氏寄贈写真）



一九四二年（昭和一七）

〔尼崎のできごと〕

- 一月三十一日 立花国民学校内の保護者会運営幼稚園と、私立塚口ときは幼稚園が立花村に移管され、現尼崎市域初の公立幼稚園（立花第一・第二幼稚園、尼崎市と合併後は市立立花幼稚園・塚口幼稚園）となった。
- 二月一日 尼崎市と大庄村・武庫村・立花村が合併した。
- 三月六日 三村合併にともなう尼崎市会議員増員選挙が実施された。
- 三月十八日 大日本婦人会尼崎支部が結成された。
- 四月一日 尼崎市は西本町二丁目（現本町）に尼崎市応召軍人遺家族授職授産所を開設した。
- 四月八日 阪神電鉄・日本発送電などの出資により関西配電が設立された。
- 四月二十日 『尼崎市公報』が『尼崎市民時報』と改題した。
- 四月二十二日 浜（現常光寺一丁目）の尼崎市立尼崎病院（伝染病院）を増築し、内科・外科など各診療科目を備える市立市民病院が開院し、さらに同施設に大阪帝国大学臨時附属医学専門部臨床教室が開設された。
- 四月二十二日 尼崎市方面委員会が、人口増大や傷痍軍人・開拓民への結婚斡旋といった国策的見地から、西本町二丁目の本町倶楽部内に結婚相談所を開設した。
- 五月九日 阪神上水道から尼崎市域への給水が開始された。
- 五月 〔尼崎市政史〕の編さんが開始された（稿本を作成するも刊行には至らず）。
- 六月三十日 尼崎市との合併を前に大庄村が調査編さんした『大庄村誌』を、大庄村教育調査会が刊行した。
- 八月二十七日 兵庫県は、尼崎市内土地沈下調査会を設け、規定を制定した。
- 十一月五日 強制連行された朝鮮人労働者の第一陣として、尼崎製鉄に「官斡旋移入」の一〇〇人が到着した。
- 十二月六日 南城内の映画館・桜井座が放火により全焼した。
- 十二月 尼崎市は「大東亜戦争一周年記念行事」として、五日に陸軍省派遣の中佐を講師とする講演会・記念座談会、六日と八日に大蔵省嘱託を講師とする町内会活動促進講習会、八日に国民志気昂揚音楽大会を開催した。

〔日本と世界のできごと〕

- 二月一日 味噌醬油配給制・衣料点数切符制開始
- 四月十八日 ドーリットル空襲、空母発進の米軍機が日本本土初空襲
- 四月三十日 第二一回衆議院総選挙（翼賛選挙）実施
- 六月 ミッドウェー海戦、日本海軍主力正規空母四隻喪失



尼崎市、大庄・立花・武庫村合併調印式
昭和16年12月4日、於尼崎市庁舎

一九四三年（昭和一八）

〔尼崎のできごと〕

- 一月二十日 西高洲町の大谷重工業尼崎工場に大阪俘虜収容所（捕虜収容所）尼崎分所が開設された。
- 三月二十七日 人事面の専断や施策をめぐって尼崎市会と対立していた有吉實市長が、市会の不信任決議を受けて辞職した。
- 三月二十二日 本興寺において尼崎史談会の創立総会が開催された。
- 四月一日 水堂国民学校が立花国民学校から分離して水堂に設置された（現市立水堂小学校）。
- 尼崎市立第二高等女学校（夜間）が市立尼崎高等女学校に併設された。
- 兵庫県立第二尼崎工業学校（夜間）が県立尼崎工業学校内に併設された。
- 七月二十二日 尼崎市長に八木林作が就任した。
- 九月十七日 戦時統制経済のもと商工会議所を府県単位の商工経済会に再編することとなり、尼崎商工会議所はこの日に解散式を行ない財産等を兵庫商工経済会に引き継いだ。
- 一〇月九日 尼崎市役所は土曜半休を廃止した。
- 十一月五日 尼崎市は、兵庫県及び大政翼賛会兵庫支部等との共催により、開明国民学校において町内会決戦体制確立協議及び講演会を開催した。
- 十二月六日 尼崎市は、市立尼崎高等女学校において「大東亜戦争第二周年記念講演会」を開催した。
- 十二月八日 尼崎市は、昭和一九年一月八日までを期間とする軍用航空機献納資金募集を開始した。
- 十二月二十二日 政府が都市疎開実施要綱を閣議決定し、これにより尼崎市は疎開区域に指定された。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月 スターリングラード攻防戦、ドイツ軍が降伏
- 二月 南太平洋ガダルカナル島から日本軍撤退
- 五月 北部太平洋アッツ島の日本軍玉碎
- 六月二十五日 学徒戦時動員体制確立要綱閣議決定
- 一〇月二十日 東京神宮外苑競技場で出陣学徒壮行会
- 十二月一日 米英中カイロ宣言発表、対日方針表明
- 十二月二十二日 都市疎開実施要綱閣議決定



尼崎市民の募金により陸軍省に献納された戦闘機（笠井静雄氏提供、本庁地域写真集刊行実行委員会収集写真）

一九四四年（昭和一九）

〔尼崎のできごと〕

- 一月二日 尼崎市屎尿汲取及運搬手数料条例が公布・施行され、屎尿収集・処分が市営化された。
- 二月 尼崎市は市役所内に疎開相談所を設け、防衛部警防課を中心として本格的な疎開事務を開始した。
- 三月三日 尼崎市役所は日曜休日を廃止した。
- 五月 尼崎市内の中等学校・中学校・高等女学校等・学徒動員壮行式が兵庫県立尼崎中学校で行なわれ、これ以降市内軍需工場・官庁等への学徒動員が恒常化した。
- 六月十五日 大谷重工業尼崎工場の朝鮮人グループ協和訓練隊特別青年会の七人が、民族独立運動・治安維持法違反容疑により検挙された。
- 七月七日 尼崎市は、国民総動員運動兵庫本部との共催により、市立尼崎高等女学校において戦意高揚のための国民総動員運動大講演会を開催した。
- 八月一日 尼崎税務署が東本町の元大日本紡績日章寮に開設された。
- 八月三日 学徒動労令が公布され、中等学校生徒に加えて国民学校高等科児童の軍需工場などへの勤労動員が始まった。
- 八月一〇日 八月二三日の城内・杭瀬両国民学校児童の疎開を皮切りに、一〇月にかけて尼崎市の第一次集団疎開が実施され、児童三、九一四人が兵庫県川辺郡・有馬郡・多紀郡・氷上郡・多可郡の各所に疎開した。
- 一〇月一〇日 この日までに都市疎開事業による疎開人口は二万七千人余り、建物疎開による空地は七万一七〇坪にのぼった。
- 十一月六日 尼崎市は、市立尼崎高等女学校において一億憤激米英撃推尼崎市町内会長大会を開催した。
- 十一月十五日 東海道本線西ノ宮―阪神電鉄海岸線東浜間を結ぶ阪神電鉄武庫川線のうち、武庫川以西部分が開通した。

一九四五年（昭和二〇）

〔尼崎のできごと〕

- 二月 住友金属工業プロペラ製造所は製造設備の兵庫県下など各地分工場への疎開を開始した。
- 三月一三〇 一三日深夜から一四日未明にかけて第一次大阪大空襲。B29爆撃機の焼夷弾空襲が尼崎市内にも及び、西本町・中在家町などで死者一人、全焼二七八戸の被害があった。
- 三月一四日 三月一か月間が二億決戦貯蓄総努力期間と定められ、尼崎市においても特別貯蓄の実行など戦費獲得のための国民貯蓄奨励運動が実施された。
- 四月一日 尼崎瓦斯・神戸瓦斯などがガス会社六社が大坂瓦斯に吸収合併された。
- 四月 学童疎開強化要綱にもとづく文部省通牒により、尼崎市は神戸市とともに甲地区に指定され、国民学校初等科三〇六年生であった疎開対象が一・二年生にまで拡大された。
- 五月二八日 尼崎市役所国民義勇隊が結成された。
- 六月一日 午前中に第二次大阪大空襲。B29爆撃機による西長洲・金楽寺・杭瀬方面などへの焼夷弾空襲により、尼崎市内で死者二四八人、全焼三、四五三戸の被害があった。
- 六月十五日 午前中に第四次大阪大空襲。B29爆撃機による焼夷弾空襲により、尼崎市内の死者八四人、全焼七、一八四戸。浜国民学校が全焼し、住友金属工業プロペラ製造所もかなりの部分が被災焼失するなど、市内各所に大きな被害があった。
- 六月二六日 午前中、杭瀬・城内などにB29爆撃機による爆弾空襲の被害があり、尼崎市内の死者は三六人であった。北城内の劇場・平和館付近が直撃を受け、一〇人前後の犠牲者を出したと伝えられている。
- 七月一九日 大庄地区臨海部の工場地帯を中心にB29爆撃機による夜間の爆弾空襲があり、日本石油関西製油所などが被災し、尼崎市内で死者約一〇〇人の被害があった。
- 七月二二日 六月一五日の空襲により焼失し閉鎖された市立尼崎市民病院が廃止された。
- 七月 七月一か月間が六百億貯蓄攻勢強調期間と定められ、尼崎市においても昭和一九年度中の貯蓄目標額一億九、一〇〇万円達成のための国民貯蓄奨励運動が実施された。
- 八月六日 未明に西宮―御影地域を目標とするB29爆撃機による焼夷弾空襲があり、尼崎市内で死者約一〇人、全焼約三二〇戸の被害があった。

〔日本と世界のできごと〕

- 六月六日 連合国軍、ノルマンディー上陸作戦
- 六月三〇日 国民学校初等科学童疎開を閣議決定、八月以降一二都市の三〇六年生の疎開を実施
- 八月二三日 学徒動労令・女子挺身動労令公布、勤労動員を国民学校高等科児童まで拡大
- 八月二五日 連合国軍がパリ解放
- 一〇月 フィリピン・レイテ沖海戦、連合艦隊がほぼ壊滅



昭一九五二、谷田正彦氏

尼崎高等女学校教員・辻橋正彦氏出征写真
辻橋氏は中国大陸に派遣される独立歩兵第四〇一大隊に配属され、昭和二二年二月天津兵站病院で病没した。昭和一九年の出征時、すでに三〇代であった。兵力不足から、動員対象年齢が広げられていたことがわかる。

〔日本と世界のできごと〕

- 二月四日 米英ソ首脳がヤルタ会談、ソ連の対日参戦決定
- 三月一〇日 米軍B29爆撃機による第一次東京大空襲、以後八月まで大都市焼夷弾空襲、航空機工場等に対する精密爆撃、中小都市空襲作戦継続
- 四月一日 米軍沖繩上陸作戦開始、三か月間地上戦継続
- 五月七日 ドイツ降伏
- 七月一七日 米英ソ首脳がドイツ・ポツダムで会談、二六日に米英中が日本の無条件降伏を求めるポツダム宣言発表
- 八月六日 広島に原爆投下
- 八月八日 ソ連、対日宣戦布告
- 八月九日 長崎に原爆投下
- 八月一五日 アジア太平洋戦争終結
- 八月二八日 連合国軍先遣隊、神奈川県厚木飛行場に到着
- 九月二日 日本全権、東京湾の米戦艦ミズーリにおいて降伏文書に調印
- 一〇月二四日 国際連合正式発定
- 十一月 二日日本社会党結成、九日日本自由党結成、一六日日本進歩党結成、翌年にかけて政党結成が相次ぐ

一九四五年（昭和二〇）（続き）

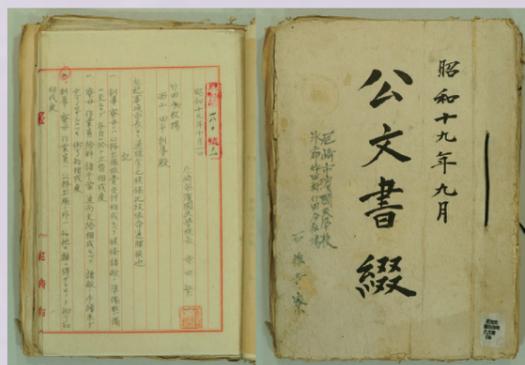
（尼崎のときごと）

- 八月一〇日 未明に大庄地区臨海部の工場地帯を中心にB29爆撃機による爆弾空襲があり、尼崎第二火力発電所が壊滅的被害を受けたほか、尼崎市内で死者約二〇人の被害があった。
- 八月 一五日の敗戦直後、尼崎市役所では軍の命令により数日間かけて兵事関係等の書類を焼却した。
- 九月二三日 尼崎市は指導部厚生課・防衛部及び經濟部市場係を廃し、厚生部福利課・援護課を設置した。
- 九月二六日 敗戦後初の尼崎市議会が開催され、戦後経営方針策定の必要性が議論された。
- 一〇月一日 大谷重工業の旧工員寮を尼崎市営アパートとし、戦災者用の住宅にあてた。
- 一〇月三日 尼崎市は、市立尼崎高等女学校において戦災殉難者合同慰霊祭を挙行した。
- 一〇月 尼崎市戦後経営事業調査委員設置規則が公布され、市議会議員を構成員とする調査委員会が同年中に発足した。
- 十一月五日 尼崎市は一月にかけて、計一三三件の戦災家屋修理用木材配給斡旋を行なった。
- 十一月五日 尼崎市立竹谷小学校において、難波・城内・大島・竹谷・長洲・武庫川の六地区からなる尼崎婦人会が結成された。
- 十一月八日 尼崎市役所が南城内の木造旧庁舎から、北城内の廃校となった尼崎国民学校跡に移転した。
- 十一月二〇日 尼崎市は戦災者に対する民間アパートの斡旋を開始した。
- 十一月二五日 日本社会党尼崎支部が結成された。
- 一月 尼崎市は戦災都市に指定された。
- 尼崎市内国民学校の集団疎開児童引揚げが完了した。
- 二月一九日 尼崎工業会（現尼崎経営者協会）が発足した。
- 二月二八日 尼崎市立尼崎屠場が東初島町で開業した。
- 二月 一日に阪神電気鉄道労働組合が結成された。これ以降、同月中に久保田鉄工所尼崎工場従業員組合（二五日）、日亜製鋼本社工場従業員組合（二二日）、尼崎製鉄労働組合（二五日）、扶桑金属工業（旧住友金属工業）鋼管製造所労働組合（二六日）と、この月から翌昭和二一年にかけて労働組合が次々と結成された。

一九四六年（昭和二一）

（尼崎のときごと）

- 一月二二日 私立住友工業学校が大坂から北難波町（現東難波町）の住友金属工業甲東青年学校跡に移転した。
- 一月二〇日 GHQの指令により、特殊航空兵器・日本内燃機・扶桑金属工業（旧住友金属工業）プロペラ製造所が第一次賠償工場に指定された。
- 二月二日 尼崎市は文部次官通達にもとづく尼崎市戦災孤児等集団寄宿教育所を兵庫県有馬郡道場村（現神戸市北区道場町塩田）に開設し、戦災孤児等を収容した（現尼崎学園）。
- 二月二二日 天然痘が流行したため、全市一斉臨時強制接種が始まった。
- 三月二九日 食糧難のため神田北通の文化住宅で一家四人が無理心中する事件が起こった。
- 三月 GHQの指令により尼崎市は転入抑制指定都市となった。
- 四月一日 杭瀬地区戦災地復興期成同盟が杭瀬市場を復興し五五店舗を開店した。
- 四月五日 待遇改善要求を拒否された阪神電鉄労働組合が同月一四日まで経営を管理する生産管理闘争を行なった。
- 四月一〇日 戦後初の衆議院総選挙が実施され、兵庫県第一区から山下栄二（社会党）が当選した。
- 四月一六日 日本労働組合総同盟尼崎地方協議会が結成された。
- 五月一日 戦後初のメーデーが市民運動公園で開かれ、約一万人が参加した。
- 神戸婦人同協会園田寮子供の家が小中島に設立された。
- 建物疎開のため閉館していた尼崎市立図書館が、城内国民学校の教室を仮使用して業務を再開した。
- 六月二〇日 尼崎市は戦災復興区画整理事業実施都市に指定された。
- 九月 尼崎郵便局から電話課（南城内の電話分室）が分離され尼崎電話局が開設された。
- 一〇月八日 市制実施記念日のこの日、市立尼崎高等女学校において市制実施三〇周年記念・復興祭式典が催され、復興展覧会が開催された。
- 一〇月 日本共産党阪神地区委員会が設立された。
- 十一月一四日 中央商店街の落成式が行なわれた。
- 十一月二〇日 八木林作市長が公職追放となり辞職し、川島伝三助役が市長代理に就任した。



尼崎市立地域研究史料館所蔵
藤田浩明氏文書のうち昭和19年9月「公文書綴」
浜国民学校から疎開先である氷上郡竹田村（現丹波市）
石像寺寮に送付された通達類を綴ったもの



杭瀬の焼け跡 昭和21年撮影
(中田寅一氏提供写真)

（日本と世界のできごと）

- 一月一日 天皇人間宣言
- 一月四日 連合国総司令部GHQ、公職追放指示
- 二月 ペンシルヴェニア大学で世界初のコンピュータ「ENIAC」完成
- 三月五日 チャーチル「鉄のカーテン」演説
- 五月三日 極東国際軍事裁判（東京裁判）開廷
- 七月二二日 中国国内戦開始
- 八月一日 日本労働組合総同盟結成
- 八月一九日 全日本産業別労働組合会議結成



昭和21年11月中央商店街開店祭、神田中通2丁目と3丁目間の
交差点より西を望む
(中村佳央氏提供、本庁地域写真集刊行実行委員会収集写真)

一九四七年（昭和二二）

〔尼崎のできごと〕

- 三月一日 尼崎市と園田村が合併した。
- 三月二七日 尼崎工業会と日本労働組合総同盟尼崎地方協議会が提携して尼崎産業復興会議を結成し、生産危機突破、経営民主化、勤労者生活確保などを基本とする規約を制定した。
- 四月一日 学制改革による新制中学校として、尼崎市立城内中学校（現成良中学校）・竹谷中学校（昭和二四年昭和中学校と改称、現中央中学校）・小田中学校（昭和二四年小田南中学校と改称、現小田中学校）・大庄中学校（昭和二四年大庄東中学校と改称、現大庄中学校）・立花中学校・武庫中学校・園田中学校が設置された。
- 四月五日 公選第一回の尼崎市長選挙が行なわれ、元兵庫県会議員の六島誠之助が当選した。
- 四月八日 私立園田学園中学校が森（現南塚〇町一丁目）に開校した。
- 尼崎勤労署を廃止して尼崎公共職業安定所が開設され、日雇勤労署は尼崎公共労働安定所と改称された。
- 四月二〇日 警防団が廃止され、中央・小田・大庄・立花・武庫・園田の六消防団が組織された。
- 四月三〇日 地方自治法のもと、婦人参政権を認めた最初の尼崎市議会議員選挙が実施された。
- 五月一九日 尼崎市役所支所設置条例が公布され小田・大庄・立花・武庫・園田の各出張所が支所となった。
- 六月二日 昭和天皇が三菱化成工業尼崎工場などを視察し、六島誠之助市長が市勢について奏上した。
- 六月二日 経済監視官阪神班が三和・神田などヤミ市六か所で主食一、六〇〇キロを押収し二〇人を検挙した。
- 八月七日 学校体育と社会人スポーツの連携・振興を意図する尼崎市の呼びかけにより、各競技団体などが加盟する尼崎市体育協会が設立された。
- 八月二六日 全日本産業別労働組合会議（産別会議） 尼崎地区会議が結成された。
- 一〇月四日 昭和一八年設立の尼崎史談会を発展的に解消し、新たに尼崎文化協会が設立された。
- ニ崎市連合育友会が結成された。
- 一二月一七日 日本自由党尼崎支部が結成された。
- 一二月二六日 産別会議系の労働組合員らが扶桑金属工業鋼管製造所のスクラップを隠匿蔵物資として摘発すべく同製造所に押しかけた。この結果、翌二七日、多数の組合員が検挙された。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月三一日 マッカーサー連合国軍最高司令官、一ゼネスト中止を命令、全官公庁共闘会議・伊井弥四郎議長中止を表明
- 二月一〇日 パリ講和条約調印
- 三月一〇日 全国労働組合連絡協議会（全労連）結成
- 三月三一日 民主党結成
- 四月一日 新学制による六・三制開始
- 五月三日 日本国憲法施行
- 八月一五日 インドがイギリスから独立



三菱化成工業尼崎工場を視察する昭和天皇（豊島源与氏提供写真）

一九四八年（昭和二三）

〔尼崎のできごと〕

- 二月一六日 尼崎市の市営葬儀事業が開始された。
- 三月七日 新警察法・消防法施行により自治体警察・自治体消防が発足することとなり、尼崎市は警察署、市消防本部・消防署・消防団本部を設置した。
- 三月八日 尼崎市営バスが最初の路線である高洲―鶴町間の運行を開始した。
- 四月一日 学制改革により各旧制中等学校を改組して、尼崎市立尼崎高等学校・城内高等学校（定時制）・商業高等学校、兵庫県立尼崎高等学校・尼崎工業高等学校・神崎工業高等学校（定時制）、私立友工業高等学校・中外商業高等学校が設置された。
- 四月四日 小田支所別館に住民主体の社会教育施設・通称「小田公民館」が開設された。
- 四月二五日 兵庫県との同和地区環境改善事業施行地区指定について協議するため、尼崎市内同和地区の代表者が集まり五月会を結成した。
- 五月 国道二号沿線のガス管工事において、国鉄福知山線尼崎支線の地下に管を敷設するため、国内初の推進工法（地表を掘削せず地中を貫通する非開削工法）の工事が施工された。
- 六月二三日 尼崎築港の公有水面築港埋立工事が完了し、扇町・末広町・鶴町が誕生した。
- 七月一日 高等学校の男女共学化のため、女子校である尼崎市立尼崎高等学校の生徒の一部と男子校である兵庫県立尼崎高等学校の一部がそれぞれ相手校に編入した。
- 尼崎市営バスの園田線、立花線、海岸線が開業した。
- 児童福祉法の制定により尼崎市立七保育所が福祉施設として認可された。
- 七月七日 尼崎市警察本部が発足し、尼崎東・西・北の三警察署が設置された。一二月四日には市警察本部が市警察局に改組された。
- 七月一〇日 兵庫県立尼崎保健所に市に移管され、尼崎市保健所となった。
- 九月一日 尼崎市は市税条例を公布した。
- 九月二六日 空襲により焼失・閉鎖されていた尼崎市立浜小学校の新校舎が完成し再開校した。
- 金楽寺貝塚遺跡の第一次発掘調査が始まった。
- 尼崎文化協会の短歌部・尼崎歌人連盟が結成された。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月二六日 帝銀事件、帝国銀行椎名町支店で無差別大量毒殺
- 三月一五日 民主自由党結成
- 五月一四日 イスラエル建国宣言、翌一五日第一次中東戦争開始
- 六月二三日 昭電疑獄、贈賄容疑により昭和電工社長逮捕
- 一一月二二日 極東国際軍事裁判の判決下る
- この年 一〜二月サンモリッツ（冬季）、七〜八月ロンドン（夏季）オリンピック、敗戦国日本は参加認められず



自治体消防発足当時の観閲風景『尼崎消防のあゆみ』（尼崎市消防局、昭和61年）より

一九四九年（昭和二四）

〔尼崎のできごと〕

- 一月一日 国鉄神崎駅が尼崎駅、尼崎駅が尼崎港駅と改称した。
- 二月九日 警察・税務署・検察庁が合同して、武庫地区で酒密造を行なう集落を急襲し、朝鮮人ら一一八人を検挙した。
- 二月二二日 尼崎郵便局から電信課が分離して尼崎電信局となり、昭和通二丁目に開設された。
- 四月一日 尼崎市立小田北中学校と大庄西中学校（のちに再統合され、現在は大庄中学校）が、それぞれ小田中学校と大庄中学校から分離して設置された。
- 五月二四日 尼崎市立城内高等学校（女子校）と市立琴城商業高等学校（男子校）を統合して、校舎を市立尼崎高等学校と共用する定時制・男女共学の市立城内高等学校が設置された。
- 六月五日 尼崎市公安条例と労働組合法改悪に反対する産別尼崎地区会議主催の人民大会が阪神尼崎駅前で開催され、約五千人が参加したと報じられた。
- 六月 戦争未亡人の母子福祉事業を行なう尼崎市連合婦人共励協議会が結成された。
- 八月一九日 尼崎地区全労働組合協議会（尼崎全労協）が結成された。
- 一〇月一九日 朝鮮人学校に対して法令にもつき二週間以内に改組するよう兵庫県から命令が出され、一月五日には閉鎖命令が出された。これに反対する朝鮮人父兄代表と元教員らが命令の即時撤回、朝鮮人教員の全員採用を尼崎市に連日陳情した。
- 一〇月二〇日 日本共産党員とその同調者とみなされた教員がレッド・パージの対象となり、兵庫県教育委員会が尼崎市内学校の教員四人を含む二五人に対して退職を勧告した。このうち昭和二六年にかけて、市内一七職場計一七一人がレッド・パージの対象となった。
- 一二月二四日 朝鮮人学童を受け入れるための分校の第一校目として尼崎市立武庫小学校守部分校が開設された。

一九五〇年（昭和二五）

〔尼崎のできごと〕

- 三月一八日 日本電気産業労働組合協議会（電産）の県内支部が賃金スライド制導入などを求めて一斉ストライキを行ない、尼崎の火力三分会（尼崎第一・第二・尼崎東発電所）がこれに加わった。尼崎の分会はこの日を含めて三月中に五波に及ぶ電源ストを実施した。
- 三月二〇日 尼崎市立武庫中学校塚口分校が独立し、市立塚口中学校として設置された。
- 三月二八日 大谷重工業労働組合は待遇改善を要求して全工場を占拠し、翌一九日にはストライキに突入した（六月二六日、解決金支給を条件に労組幹部解雇を受け入れ終結）。
- 四月六日 尼崎市公安委員会は現職市議会議員の警察署における暴行事件に対する対応の不備を理由に市警察局長を罷免し、以後尼崎市警察問題として紛糾した。一日には市議会同派・琴政会が主催する市警粛正市民大会が市立開明小学校で開催され、約千人が参加したと報じられた。
- 四月 尼崎市立大庄・大島・立花・園田小学校に朝鮮人学童のための分校が設置された。
- 六月一七日 尼崎市警察はすべての集会・デモの禁止を尼崎全労協に通告した（六月一六日に国家地方警察本部が集会・デモの全国的禁止を指令したことを受けての措置）。
- 九月三日 ジェーン台風の高潮被害により東海道本線以南の尼崎市域南部ほぼ全域に浸水被害が及び、死者・行方不明二八人、重軽傷者二二八人、罹災者約二四万人の被害があった。
- 一〇月一日 神戸地方裁判所尼崎支部と神戸地方検察庁尼崎支部が設置された。
- 一〇月 尼崎市立弥生ヶ丘斎場（市宮火葬場）が額田に開設された。
- 一二月三日 国が設置した尼崎港防潮対策協議会専門委員会は、尼崎市の臨海部に建設する防潮堤を閘門式と決定した。

〔日本と世界のできごと〕

- 三月七日 米ドッジ公使、日本経済再建策としてドッジ・ライン発表
- 四月四日 北大西洋条約機構・NATO発足
- 七月五日 下山事件、国鉄総裁が轢死
- 七月一五日 三鷹事件、三鷹駅で無人電車暴走
- 八月一七日 松川事件、東北本線で旅客列車転覆
- 一〇月一日 中華人民共和国成立宣言
- 十一月三日 湯川秀樹博士のノーベル物理学賞受賞発表（日本人初のノーベル賞）



昭和23～24年頃、総同盟・産別会議など尼崎の労働組合による年末闘争（杉本昭典氏寄贈写真）

〔日本と世界のできごと〕

- 三月一五日 核兵器禁止を求めるストックホルム・アピール発表
- 六月二五日 朝鮮戦争開始
- 七月一一日 日本労働組合総評議会結成大会
- 八月一〇日 警察予備隊令公布、一三日第一次入隊
- 九月三日 ジェーン台風、近畿・東北各地罹災



ジェーン台風、西難波町5丁目付近 長岡克巳氏撮影

一九五一年（昭和二六）

〔尼崎のできごと〕

- 二月二三日 尼崎市は鳴尾村に合併を申し入れた。鳴尾村は尼崎市・西宮市のいずれと合併するか住民投票を実施し、その結果にしたがい四月一日、西宮市に合併した。
- 二月二六日 防潮堤工事が神崎川西岸から開始された。
- 三月二三日 尼崎市社会福祉連合協議会が設立された（昭和四一年、社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会となる）。
- 三月 甲武橋を上路鋼鉄桁橋とする架け換え工事が完成した。
- 四月一日 尼崎市立御園小学校・浜田小学校が、それぞれ市立竹谷小学校・大島小学校から分離して設置された。
- 私立中外商業高等学校と私立琴浦女子高等学校が尼崎市への移管にともない統合され、東富松（現塚口町五丁目）に市立尼崎北高等学校が設置された（一〇月一日に兵庫県立となる）。
- 尼崎市消防局が設置され、尼崎市消防署が中消防署となり、東・西・北の各出張所が消防署に昇格し四署体制となった。
- 四月二三日 公選第二回目となる尼崎市長選挙と市議会議員選挙が行なわれ、市長選では現職の六島誠之助を破って元衆議院議員・兵庫県会議員の阪本勝が初当選した。
- 五月一日 市立城内小学校の教室を転用して開館していた尼崎市立図書館が、南城内の旧市庁舎二階に移転した。
- 七月四日 尼崎市初の正式な公民館施設として、市立公民館が南城内の旧市庁舎一階に開設された。
- 七月一九日 阪神電鉄は、海岸線の高洲―東浜間の営業を、路線敷設地の地盤沈下のため休止した。
- 八月一〇日 尼崎市労働会館が難波新町（現東難波町四丁目）に開館した。
- 九月二二日 従来地方港湾であった尼崎港が、港湾法の定める重要港湾に指定された。
- 一〇月一〇日 尼崎市は従来の保護課を改組して、尼崎市福祉事務所を設置した。



市長選挙中の六島誠之助（向かって右）、阪本勝両候補（神戸製鋼尼崎労働組合提供写真）

〔日本と世界のできごと〕

- 一月二日 第一回NHK紅白歌合戦、ラジオで生放送
- 四月一日 マッカーサー連合国軍最高司令官解任
- 九月八日 対日講和条約、日米安全保障条約調印
- 九月一〇日 ヴェネツィア国際映画祭で黒澤明監督「羅生門」が最優秀の金獅子賞を受賞

一九五二年（昭和二七）

〔尼崎のできごと〕

- 一月 猪名寺廃寺跡の第一回発掘調査が、一七日から一九日まで実施された。
- 二月二二日 尼崎市は売春等取締条例を施行し、特殊飲食街（特飲街＝売春街）取締りを強化した。
- 四月一日 尼崎市立明倫中学校が市立昭和中学校から分離して設置された（現中央中学校）。
- 四月八日 尼崎緑化協会役員総会が開かれ、戦災や水害からの復興のシンボルとして、ジエン台風などの高潮被害後も花を咲かせる姿がみられたキョウチクトウが市花に選定された。
- 五月二七日 大同鋼板が三四三人の希望退職者募集を含む合理化案を労働組合に提示した。六月下旬には労働側が波状ストライキに入り、七月にかけて第一次大同鋼板争議となった。
- 六月二七日 兵庫県から尼崎市に移管された武庫川六樋水利施設の開樋式が、市立武庫小学校で行なわれた。
- 七月二日 経済的弱者のための総合授産施設として、尼崎市立厚生館が杭瀬に開館した。
- 七月二日 尼崎市は、失業対策事業就労者等の労働保険に関する条例を公布した。
- 九月二日 尼崎市立北難波小学校（現難波の梅小学校・常光寺小学校（のちに再統合され現在は杭瀬小学校）が、それぞれ市立難波小学校・杭瀬小学校から分離して設置された。
- 九月三日 改進黨尼崎支部が結成された。
- 九月 一四～一六日と二一～二三日の第一回市営モーターボートレースが尼崎競走場（競艇場）で開催され、臨時駅として阪神電鉄尼崎センタープール前駅が開設された。
- 一〇月一日 地方公営企業法施行により尼崎市水道部が独立採算の公営企業となった。市運輸事務所も同様に公営企業化され、一二月に交通部に改編された。
- 一〇月五日 第一回尼崎市教育委員選挙が行なわれ、一月一日に第一回の教育委員会が開かれた。
- 一〇月一六日 日本労働組合総評議会（総評）尼崎地方評議会が結成された。
- 一一月二二日 近松門左衛門の命日であるこの日、近松生誕三百年を祝う大近松三百年祭が、久々知広済寺で催された。
- 一二月一日 親しみやすい保健所を実現すべく、全国初の全職員女性の塚口保健所が開設された。
- 一二月五日 尼崎市立市民館（希望館）が、生活保護法にもとづく厚生施設として元浜町一丁目に新築、再開された。

〔日本と世界のできごと〕

- 四月九日 日本航空もく星号墜落事件
- 四月二八日 対日講和条約・日米安全保障条約発効
- 連合国総司令部・GHQ廃止、日本の主権回復
- 五月一日 M―デー事件、デモ隊と警官隊が衝突し二人射殺
- この年 二月オスロ（冬季）、七～八月ヘルシンキ（夏季）オリンピック、ソ連が夏季オリンピック初参加



尼崎市花 キョウチクトウ（尼崎緑化公園協会提供写真）

一九五三年（昭和二八）

〔尼崎のできごと〕

- 一月七日 尼崎市立成徳小学校が、市立大庄小学校・西小学校から分離して設置された。
- 一月二〇日 労働者災害補償保険法にもとづき労働省が設置する日本で四番目の労災病院として、関西労災病院が稲葉荘に開院した。
- 二月三日 大覚寺文書に天保十一年（一八四〇）に奉納された記録があり、その後途絶えていた大覚寺身振り狂言が復活し、節分会に奉納された。
- 二月二八日 五月会を発展的に解消して尼崎市同和事業協議会が設立された。
- 三月 金融・税務など中小企業向けの相談・指導業務を行なう阪神商工共済会が結成された。
- 四月 『尼崎市民時報』が『市報あまがさき』と改題され、月刊から月二回刊になった。
- 尼崎市は初の同和对策予算として、地区改善事業費を昭和二八年度予算に計上した。
- 若王寺のカトリック修道院構内に聖母幼稚園が設立された。昭和三〇年以降は学校法人百合学院として、小・中・高等学校を順次開校した。
- 五月九日 神戸大学工学部を武庫川沿いの市有地約四万坪に誘致するため、尼崎市当局者らが大学当局者と会談した。
- 六月三日 神戸刑務所尼崎拘置支所が浜田崇徳院に設置され、収容が開始された。
- 六月一〇日 大同鋼板が経営合理化のため四八四人の指名解雇を発表した。労働組合側は職場放棄・ストライキで応じ、二三日にかけて第二次大同鋼板争議となった。
- 七月 稼働を休止していた東高洲町の大高洲塵芥焼却場が修復され、操業を再開した。
- 積水化学工業尼崎工場が潮江に開設された。
- 一〇月一日 尼崎市の市民保険制度（市独自、任意加入の健康保険制度）が開始された。
- 兵庫県立尼崎病院塚口分院が森（現南塚口町六丁目）に開院した。
- 尼崎市中央卸売市場が昭和通二丁目に開設され業務を開始した。
- 二月一〇日 阪神電鉄出屋敷駅東側の踏切から北に二〇〇メートルの区間に、尼崎市内初の商店街鉄骨アーケードが完成した。
- 労働組合の映画サークル団体・全尼崎労働者映画協議会（尼労映）が発足した。
- 尼崎歌人連盟が尼崎歌人クラブと改称し、詩人・額田島二郎が代表を務めた。

この年

一九五四年（昭和二九）

〔尼崎のできごと〕

- 一月一日 尼崎市営バス最初のワンマンカー五台が導入され、出屋敷―尼崎第二火力発電所間の運行を開始した。
- 三月二〇日 尼崎大防潮堤完成記念・栄える産業博覧会がセンタープール（競艇場）一帯を主会場として尼崎市・兵庫県・朝日新聞社共催により開幕し、五月一九日まで開催された。
- 四月一日 尼崎市立七松小学校が市立水堂小学校から分離して設置された。
- 尼崎市立尼崎商業高等学校が市立城内小学校内に仮校舎を置く形で設置された。
- 尼崎市は工場誘致条例を公布した。
- 防潮堤開門の開通式が行なわれた。
- 四月二〇日 尼崎製鋼所労働組合が部分ストライキから全面スト・工場占拠へと移行した。六月一日に同社は不渡りを出し、七月四日労組が全員解雇を承認して尼鋼争議が終結した。
- 岡本静心著『尼崎藩学史』が刊行された。
- 六月二〇日 尼崎市警察の解散式が行なわれ、翌七月一日新警察法施行により尼崎中央・東・西・北の市内四署は兵庫県警察の管轄下に入った。
- 七月一日 尼崎港が海外との通商貿易を認められる開港場として開港した。
- 七月 尼崎市は国立公衆衛生院鈴木武夫博士の指導を得て、浮遊粉じん・二酸化硫黄濃度などの大気汚染物質の調査を開始した。
- 八月一日 尼崎市内ほぼ全域の電話が尼崎局区域となり大阪局区域に編入され自動化された。同時に尼崎電話局が西長洲の新局舎に移転し、大阪堂島地区電話局尼崎分局と改称した（昭和三七年、尼崎電話局と再度改称）。
- 一〇月一日 尼崎商工会議所が特殊法人として新発足した。
- 一一月二五日 尼崎市は騒音防止条例を公布した。同月、尼崎市は衛生局衛生課に初の公害担当職員を配置した。
- 一二月二二日 兵庫県知事選挙が行なわれ、任期途中の尼崎市長職を辞して立候補した阪本勝が当選した。同時に尼崎市長選挙が行なわれ、前市助役の薄井一哉が当選した。

〔日本と世界のできごと〕

- 二月一日 NHKテレビ本放送開始
- 三月一日 バカヤロー解散、吉田内閣不信任案が可決され衆議院解散
- 三月三日 中国からの引き揚げ再開、舞鶴に興安丸・高砂丸入港
- 五月二九日 エドモンド・ヒラリーとシェルパのテングジン・ノルゲイ、世界最高峰エベレストに人類初登頂
- 七月二七日 朝鮮戦争休戦協定調印



関西労災病院
『AMAGASAKI』（尼崎市、昭和31年）より

〔日本と世界のできごと〕

- 二月一九日 日本初の本格的プロレス国際試合開催、シャープ兄弟対力道山・木村政彦
- 三月一日 米水爆実験によりビキニ環礁付近で日本漁船・第五福竜丸被爆
- 四月一日 宝塚町・良元村が合併し宝塚市発足
- 四月二日 近江絹糸人権争議開始
- 七月一日 自衛隊発足
- 八月一日 川西町が隣接二村と合併し川西市発足
- 九月二六日 青函連絡船洞爺丸転覆事故
- 一一月二四日 日本民主党結成



尼崎大防潮堤完成記念・栄える産業博覧会尼崎会場

一九五五年（昭和三〇）

〔尼崎のできごと〕

- 三月 昭和二八年の台風被害からの県営復旧工事として六樋むくひに対して実施された、河床に集水用の管渠を埋設する工事が完成した。
- 四月一日 尼崎市立清和小学校・成文小学校が、それぞれ市立長洲ながす小学校・大庄おおしや小学校から分離して設置された。
- 私立園田学園小学校が森（現南塚口町一丁目）に設立された。
- 私立百合学院小学校が若王寺わかおうじに設立された。
- 尼崎市議会議員選挙が実施された。
- 七月五日 六月の会社側合理化提案以来時限ストライキが続いていた大同鋼板で、全従業員に解雇・一部再雇用案が提示されたことから八月にかけて第三次大同鋼板争議となった。
- 七月二〇日 尼崎商店連盟が結成された。
- 一〇月一日 この日付で実施された国勢調査の結果、尼崎市の人口が三万五、五〇七人となり、昭和戦前期の国勢調査による市域人口最高水準（昭和一五年、二七万四、五一六人）を越えた。
- 一月九日 尼崎市は兵庫県立尼崎病院に委託して無料開眼手術を開始した。
- 二月一四日 昭神通二丁目の日本木管跡地に、一、五〇〇人収容のホールや展示室・会議室・結婚式場などを備える尼崎市文化会館が開館し、同月一六日まで記念行事が催された。
- 神崎（戸ノ内とりのうち）と初島の両新地（特殊飲食街・特飲街Ⅱ売春街）が建設され、難波新町や出屋敷付近など市内中心部の業者の多くが移転した。

〔日本と世界のできごと〕

- 四月一八日 インドネシア・バンドンでアジア・アフリカ会議開催
- 五月一四日 ワルシャワ条約機構発足
- 八月六日 広島で第一回原水爆禁止世界大会
- 九月一三日 砂川闘争、米軍立川基地拡張反対住民と警官隊衝突
- 十一月十五日 自由民主党結成



尼崎市文化会館 昭和32年5月撮影
手前には戦災を受けた日本木管の廃墟跡がまだ残っている。

一九五六年（昭和三一）

〔尼崎のできごと〕

- 一月 尼崎市は全国に先駆けて社会保障審議会を設置し、委員二人を委嘱した。
- 三月 防潮堤建設工事が竣工した。
- 四月一日 尼崎市立若葉小学校（現わかば西小学校）・名和なわ小学校が、それぞれ市立成徳小学校・立花小学校から分離して設置された。
- 私立住友工業高等学校は尼崎市移管にともない市立尼崎商業高等学校と統合され、新たに市立尼崎産業高等学校として設置された。
- 四月 尼崎朝鮮中級学校が設置された。
- 八月一日 尼崎市内初の公民館分館として東今北地区に今北分館が開設され、地区における社会教育・同和事業推進の拠点となった。
- 一〇月二五日 市制施行四〇周年記念式典及びミス尼崎発表会が、尼崎市文化会館で開催された。
- 一〇月二八日 兵庫県下において第一回国民体育大会秋季大会が開催され、尼崎市内では市営大物相撲場おおいちろうで相撲競技、市文化会館でウエイトリフティング競技が実施された。三〇日には昭和天皇・皇后が大物相撲場、防潮堤などを視察した。
- 一〇月三一日 西本町ほんまちから尼崎市文化会館敷地内への琴秋閣移転工事が竣工した。
- 十一月二五日 尼崎市は、地方財政再建促進特別措置法の適用を受ける財政再建団体に指定された。
- 十二月二六日 駐留米軍補給廠に貸与していた記念公園（市民グラウンド）の東側の一部について返還の申し出があり、この日に現地立ち会いのうえ尼崎市は返還を承諾した。

〔日本と世界のできごと〕

- 二月二四日 ソ連フルシチョフスターリン批判演説
- 一〇月三日 ハンガリー動乱開始
- 一〇月二九日 第二次中東戦争開始
- 二月一八日 国際連合総会、日本の加盟を承認
- この年 一〜二月コルティナダンペッツォ（冬季）、一〜二月メルボルン（夏季）オリンピック



竣工当時の防潮堤

一九五七年（昭和三二）

〔尼崎のできごと〕

- 二月一日 日立工事のクレーン部門が独立し、日立機電工業として営業を開始した（現日立製作所インフラシステム社尼崎事業所）。
- 二月二日 尼崎・伊丹・川西の三市連絡協議会が発足した。
- 四月一日 尼崎市立梅香小学校（現難波の梅小学校）が市立北難波小学校から分離して設置された。
- 五月 尼崎市における国民健康保険制度が開始され、任意加入の市民保険制度は廃止された。
- 五月二十八日から六月一日にかけてアドバルーンやヘリコプターを使った大気汚染第一回立体調査を実施した。
- 八月 同和对策事業の地域施設として、上ノ島隣保館が設置された（尼崎市内初の隣保館）。
- 九月二十八日 自由民主党尼崎支部が結成された。
- 一〇月八日 第一回尼崎まつりが、尼崎市文化会館など各所を会場として開催された。昭和三年の市制四〇周年記念の催しが好評だったことから定例化したもので、昭和三五年の第四回まで毎年一〇月に開催された。
- 一二月四日 工業用水道第一期工事のうち藻川（もがわ）以東地区の工事完了により、南部一六工場への配水が開始された。
- 一二月七日 尼崎市は市養老年金制度を設けることとし、この日から申請の受付を開始した。
- この年 尼崎市域南部の多くの地点の地盤沈下量が前年から一年間で一〇センチ以上、もっとも沈下した大高洲町東高洲橋南詰では一九・四四センチと、平均して過去最大量の沈下量を記録し、地盤沈下がもっとも顕著な年となった。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月二十九日 南極観測隊が南極大陸オングル島上陸、昭和基地と命名
- 一〇月四日 ソ連、世界初の人工衛星スプートニク打ち上げに成功
- 一二月二日 日本教職員組合、勤務評定反対闘争強化・非常事態宣言



大気汚染第1回立体調査 関西電力尼崎第2発電所上空

一九五八年（昭和三三）

〔尼崎のできごと〕

- 一月二五日 尼崎市水道局が北城内の市役所本庁舎から昭和通二丁目の尼崎郵便局跡に移転し、二七日から同庁舎で業務を開始した。
- 二月七日 尼崎・伊丹・川西の三市連絡協議会に猪名川町が加入し、三市一町連絡協議会となった。
- 二月二一日 尼崎市教職員組合は総会において勤務評定粉砕のスローガンをかけ、異例の非常事態宣言を採択した。
- 三月一日 第二阪神国道（現国道四三号）建設工事にもなう南城内の旧市庁舎撤去のため、同施設内の尼崎市立図書館事務室と市立公民館が同じ南城内の私立尼崎訓盲院跡に移転した。市立図書館閲覧室は四月一日に市立金楽寺小学校内に移転した。
- 三月二三日 売春防止法の全面施行（四月一日）を前に、神崎（戸ノ内）と初島の両新地（特殊飲食街・特飲食街＝売春街）が解散式を行なった。
- 四月一日 尼崎市立若草中学校が市立小田南中学校から分離して設置された（現小田中学校）。
- 四月 尼崎市立尼崎養護学校が市立水堂小学校内に仮校舎を置く形で設置された。
- 四月 公共下水道整備に向けて下水道使用料の根拠を定めるべく、尼崎市下水道条例が公布された。
- 四月 同和对策事業の地域施設として、水堂園向上館が設置された。
- 五月 工業用水道第一期工事が完成し、日量六万立方メートルの給水が可能となった。
- 九月一日 久々知に設置された尼崎市交通局の新庁舎及び久々知営業所が業務を開始した。
- 一二月七日 尼崎市長選挙が行なわれ、現職の薄井一哉が再選された。

〔日本と世界のできごと〕

- 三月一八日 大阪空港、占領軍の接收を解除され再開港
- 四月一日 売春防止法施行
- 一〇月八日 岸内閣、警察官職務執行法改正案提出、反対運動が激化し一二月二日廃案
- 一二月二三日 東京タワー竣工



勤務評定反対兵庫県民大会（神戸市磯上公園）時のデモ撮影（尼崎市教職員組合提供写真） 昭和33年3月26日

一九五九年（昭和三四）

〔尼崎のできごと〕

- 三月一六・一七 日 尼崎市立産業高等学校・城内高等学校の入試事務を、勤務評定に反対する尼崎市高教組（高等学校教職員組合）が拒否したため、市教育委員会は事務局職員・幼稚園教員などを動員して入試を実施した。
- 四月一 日 尼崎市立潮うしほ小学校が市立下坂部しもかき小学校・浜小学校から分離して設置された。神崎製紙が創立一〇周年を記念して尼崎市に寄せた基金をもとに、市内家庭出身大学生を対象とする奨学金制度・尼崎市神崎製紙育英事業が発足した。
- 四月七 日 尼崎市は西ドイツ・アウクスブルク市と姉妹都市提携を結び、調印式を尼崎市文化会館で行なった。
- 四月三〇日 日 尼崎市議会議員選挙が実施された。
- 四月 日 協同組合尼崎工業会の前身である尼崎中小企業振興会が設立された。
- 五月一 日 尼崎市立公民館が、南城内の私立尼崎盲院跡から昭和通二丁目に新築された市立図書館施設内に移転した。
- 六月一 日 尼崎電信局が五月三十一日付で廃止され、替わってこの日、尼崎電報局が設置された。
- 六月一六日 日 南城内の私立尼崎盲院跡に事務室を置き、市立金楽寺小学校内に臨時閲覧室を設けていた尼崎市立図書館が昭和通二丁目に新築移転し開館式を行なった。同月一七日業務開始。
- 六月一八日 日 日紡記念館（現ユニチカ記念館）の竣工式が行なわれた。
- 七月七 日 兵庫県と尼崎市の教育委員会は、高校入試事務拒否を理由に、尼崎市立城内高等学校の教諭一人を懲戒免職とし、講師一人の採用継続を打ち切る処分を下した。
- 七月二五日 日 安保条約改定阻止尼崎市民共闘会議が結成され、社会党尼崎支部、総評尼崎地方評議会などが参加した。
- 八月一 日 いずみや尼崎店が神田中通に開店した（尼崎市内への大手スーパーマーケット初出店）。
- 九月四 日 日 尼崎青年会議所の創立総会が開催され、同会が設立された。
- 九月 日 尼崎市立立花中学校の西側と北側で弥生前期の遺物包含層が見つかり、上ノ島遺跡の存在が初めて確認された。



昭和通2丁目に新築された市立図書館 昭和34年撮影

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一 日 キューバ革命、パテイスタ政権崩壊
- 三月二八日 日 尺貫法廃止、メートル法実施
- 三月二八日 日 日米安保条約改定阻止国民会議結成
- 九月二六日 日 伊勢湾台風、二七日にかけて中部・東北各地罹災

一九六〇年（昭和三五）

〔尼崎のできごと〕

- 一月一 日 日 尼崎市立浦風小学校が市立杭瀬小学校・長洲ながす小学校から分離して設置された。
- 四月一 日 日 尼崎市立育英中学校（現成良中学校）・啓明中学校が、それぞれ市立城内中学校・大庄おむら西中学校から分離して設置された。また市立日新中学校が市立昭和中学校・立花中学校から分離して設置された。
- 五月 日 八日と九日の二日間、世界連邦平和都市第七回全国大会が尼崎市文化会館で開かれた。
- 五月一〇日 日 安保改定阻止尼崎商業者協議会が阪神商工共済会会員などを中心に結成され、安保条約改定阻止尼崎市民共闘会議に加盟した。
- 五月一五日 日 大高洲たかす町に建設され、ごみと尿尿しじょうを処理して堆肥化する市清掃工場が操業を開始した。
- 五月二九日 日 民主社会党尼崎支部が結成された。
- 六月四 日 安保阻止統一行動の総決起大会が大物公園で開かれ、約一万人が参加したと報じられた。同集会に右翼団体の構成員二〇数人が殴りこみ、労働組合員らを負傷させた。
- 六月一五日 日 安保批准阻止・岸内閣打倒・国会解散・アイク訪日反対尼崎大会が開かれ、会場の市立昭和中学校に向けて市内五か所から約一万三千人が求心デモを行なったと報じられた。
- 七月一五日 日 市立水堂みずどう小学校内の仮校舎に設置されていた尼崎市立尼崎養護学校が田近野たぢかのに新築移転した。
- 七月 日 大気汚染公害対策の一環として、尼崎市が委嘱する民間人一六人の煤煙調査連絡員による煤煙被害の観測・通報制度が発足した。
- 一〇月七 日 工業用水法施行令の一部が改正され、尼崎全市域が地盤沈下の原因である地下水汲上げの禁止地区となった。
- 一二月二四日 日 昭和三四年施行の新下水道法に対応した新たな尼崎市下水道条例が公布され、昭和三十三年に定めた旧下水道条例は廃止された。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月二四日 日 民主社会党結成
- 三月二八日 日 三井三池争議、第一・第二組合衝突
- 五月二四日 日 チリ地震津波、太平洋岸に被害
- 六月一五日 日 安保闘争、国会突入をはかる全学連と警官隊が衝突し東大生樺美智子死亡
- 六月二三日 日 新安保条約発効
- 一〇月一二日 日 浅沼稻次郎社会党委員長刺殺
- 一二月二七日 日 池田内閣、国民所得倍増計画閣議決定
- この年 二月スコーパーレー（冬季）、八月九月ローマ（夏季）オリンピック



安保粉砕を訴える昭和35年メーデーのデモ (神戸製鋼尼崎労働組合提供写真)

一九六一年（昭和三六）

〔尼崎のできごと〕

- 一月一日 尼崎郷土史研究会が設立された。
- 一月五日 住友金属工業の航空機事業部が独立し、住友精密工業（扶桑町）として発足した。
- 二月九日 尼崎市役所新庁舎の工事起工式が橘公園で行なわれた。
- 二月二十七日 阪神間六市一町（尼崎・伊丹・川西・宝塚・西宮・芦屋市、猪名川町）による阪神広域行政都市協議会の発会式と第一回協議会が開催された。このち昭和三八年頃にかけて、この協議会のエリアを想定した阪神広域市構想が検討された。
- 四月一日 尼崎市立大成中学校が市立立花中学校・小田北中学校から分離して設置された。また市立大庄北中学校が市立大庄東中学校から分離して設置された。私立百合学院中学校が若王寺に設立された。
- 七月一九日 尼崎市立教育研究所が、市立難波小学校校舎の一部を利用して開設された。
- 七月二十八日 兵庫県は警官・作業員約千人を動員して、尼崎市域の武庫川河川敷を占拠するバラック住居五三世帯（二〇三人）の強制撤去を実施した。
- 八月一〇日 伊丹市の発議により大阪・尼崎・川西・宝塚・池田市が発起し、各市の商工会議所などを加えて国鉄福知山線複線電化促進期成同盟会が結成された。
- 一〇月一日 尼崎商工会議所は、昭和一四年建設の旧尼崎商工共和会館（昭和通一丁目）から、昭和通三丁目に三和銀行と共同で新築した尼崎三和ビルに移転した。
- 十一月一日 尼崎市立公民館が昭和通二丁目の市立図書館内から難波四条通（現西難波町六丁目）に新築移転し開館した。
- 十一月四日 九日 尼崎市立図書館において、尼崎出身の城郭画家・荻原一青の個展「日本名城画展」が開催された。
- 十一月七日 神崎浄水場の拡張工事通水式が行なわれた。この工事の結果、配水能力は日量四〜六万トンとなった。
- 十一月二十四日 西長洲本通（現西長洲町）の記念公園の一角に、尼崎市立体育会館が開館した。

一九六二年（昭和三七）

〔尼崎のできごと〕

- 二月四日 大阪電話局及び同管内である尼崎市の電話市外局番が〇六になった。
- 三月三〇日 総評傘下の労働組合を中心とする約四〇〇人が、開会中の尼崎市議会に対して競艇場即時廃止の議決を求めてデモを行なったが、市議会は当面存続案を決定した。
- 国鉄尼崎駅構内で年度末手当要求スト中の国鉄労働組合の組合員約七〇〇人が約一時間線路上に座り込み鉄道公安職員と衝突した（四月二〇日、参加者のうち七人検挙）。
- 三月三十一日 常光寺西ノ町一丁目（現常光寺一丁目）の市立尼崎病院（伝染病院）が廃止された。
- 四月一日 尼崎市立園田東小学校・武庫東小学校が、それぞれ市立園田小学校・武庫小学校から分離して設置された。兵庫県立武庫工業高等学校が時友（現武庫之荘八丁目）に設置された。英知短期大学が若王寺に、関西鉄鋼短期大学が西昆陽に設立された。
- 阪神地方の会員が多く参加・投稿する文学同人誌「AMAZON」が尼崎市内で創刊された。
- 尼崎市内六消防団（中央・小田・大庄・武庫・立花・園田）を統合して、尼崎市消防団が結成された。
- 日本住宅公団西武庫団地の第一回入居が始まった。
- 東本町の東部下水処理場が一部完成し、下水処理を開始した。
- 市制記念日のこの日、東七松町に建設された村野藤吾設計の市役所新庁舎落成式が行なわれた。同月に市役所が北城内から移転し一五日開庁、十一月三日付で竣工した。
- アメリカ資本のスーパー「セーフウェイ社」の尼崎市内出店に反対する尼崎商店連盟の決起大会が尼崎商工会議所において開催され、市内商店主約四〇〇人が参加したと報じられた。
- 中央商店街東町会のアーケード落成式。これにより、中央・三和・出屋敷商店街約一キロメートル七商店街がアーケードで接続された。
- 尼崎市立青少年会館が三反田芦原町（現東七松町二丁目）に竣工した。
- 尼崎市市長選挙が行なわれ、現職の薄井一哉が三選された。
- 阪神電鉄は海岸線（出屋敷―高洲間）の営業を廃止した。
- 猪名川改修工事の一環として、神崎川に合流する猪名川下流部を戸内の東から西に移す戸の内捷水路の工事が完成した。

〔日本と世界のできごと〕

- 四月二日 ソ連、人類初の有人宇宙飛行に成功
- 八月一日 大阪釜ヶ崎で暴動、二千人が警官隊と衝突
- 八月二三日 東独政府、ベルリンの壁構築
- 一〇月二日 大相撲の大鵬・柏戸が横綱に昇進し、柏鵬時代到来
- 十一月二日 三無事件、政府要人暗殺計画が発覚し旧軍人ら一三人逮捕



尼崎三和ビル界限 昭和43年10月撮影

〔日本と世界のできごと〕

- 二月一日 東京都推計人口が一千万人を越え、世界初の一千万人都市誕生
- 八月二日 堀江謙一、日本人初のヨットによる太平洋単独横断に成功
- 一〇月五日 ビートルズのデビュー曲「ラブ・ミー・ドゥ」発売
- 一〇月二日 ケネディ米大統領がソ連のキューバ・ミサイル基地建設を公表、キューバ危機開始



昭和37年10月8日 尼崎市役所新庁舎落成式

一九六三年（昭和三八）

〔尼崎のできごと〕

- 一月六日 第二阪神国道（現国道四三号）の兵庫県部分が一部を除いて完成し、開通式が尼崎市東本町で行なわれた。
- 一月二日 重油専焼の関西電力尼崎第三火力発電所（末広町）が運転を開始した。
- 四月一日 尼崎市立園田東中学校が市立園田中学校から分離して設置された。尼崎市立尼崎西高等学校（昭和四一年に兵庫県立に移管）・尼崎東高等学校が設置された。園田学園女子短期大学が栗山（現南塚口町七丁目）に、英知大学が若王寺に設立された。
- 四月二〇日 尼崎市議会議員選挙が実施された。
- 四月 阪神地方で働く地方出身勤労青少年の宿舍として、兵庫県立尼崎勤労青少年福祉寮が栗山前田町（現栗山町二丁目）に開設され、管理が市に委託された。
- 五月二五日 精神薄弱児通園施設のおこや学園が、市が設置する最初の心身障害者福祉施設として久々知（現下坂部四丁目）に開設され、六月一日に開校した。
- 五月二七日 重度身体障害者授産施設の尼崎稲葉園が稲葉庄六丁目（現稲葉庄三丁目）に開園した。
- 六月二日 労働組合の地域連合組織として、尼崎地区同盟会議が結成された。
- 七月六日 阪神水道組合猪名川浄水場が稼働し、尼崎市が受水を開始した。
- 七月一五日 日本初の高速道路である名神高速道路栗東（滋賀県）―尼崎間の開通式が行なわれ、一六日から供用が開始された。
- 七月初旬 今北地区の地元青年と尼崎市職員労働組合の組合員らが部落解放同盟今北支部（尼崎支部とも称した）を結成した。
- 九月一日 尼崎市交通局武庫営業所が新設され、営業を開始した。
- 十一月一日 交通安全を学ぶ国内初の公園施設として、兵庫県立西武庫公園の交通公園が開園した。
- 十二月一日 阪神電鉄尼崎センタープール前駅が常設駅となった。
- 十二月三日 尼崎市水道局が昭和通二丁目から三反田芦原町（現東七松町二丁目）に建設した新庁舎に移転し、業務を開始した。



名神高速道路尼崎インターチェンジ
昭和39年12月 小川弘幸氏撮影

〔日本と世界のできごと〕

- 二月一六日 熊本大学医学部研究室、チッソ水俣工場の有機水銀が水俣病の原因と発表
 - 六月五日 関西電力黒部川第四発電所ダム完成
 - 六月一五日 坂本九「スキヤキ」、米音楽チャートビルボード一位獲得、以後三週間一位
 - 十一月九日 三井三池炭鉱三川鉱炭塵爆発事故、戦後最大規模の炭鉱災害
 - 十一月二三日 ケネディ米大統領暗殺（日本時間二三日、日米間初の衛星中継が報道）
- この年
前年発行のレイチエル・カーソン『沈黙の春』が米でベストセラーとなる

一九六四年（昭和三九）

〔尼崎のできごと〕

- 一月二二日 第五〇回芥川賞を、尼崎市稲葉荘在住の作家・田辺聖子の作品『感傷旅行（センチメンタル・ジャーニー）』が受賞したことが発表された。
- 四月一日 尼崎市は衛生局清掃部を独立させて清掃局を設置した。私立百合学院高等学校が若王寺に設立された。学校の吹奏楽クラブ活動が盛んで、全国大会での実績も豊富な尼崎市の中学校・高等学校吹奏楽部を中心とする尼崎市吹奏楽連盟が発足した。
- 四月一五日 高架化された阪神尼崎駅と地上交通の立体交差が開通し、二二日には尼崎市・尼崎商工会議所・尼崎商店連盟などが設立した尼専デパートが駅舎に隣接して開店した。
- 五月二〇日 阪神電鉄伝法線が西大阪線と改称した（現なんば線）。
- 六月 工業用水道第二期拡張工事（北配水場）が完成した。
- 七月二一日 菜切山町に南尼崎電話局が設置された。
- 九月五日 名神高速道路尼崎―西宮間の開通式が行なわれ、翌六日から供用が開始された。
- 九月一〇日 尼崎市水道局の汚職事件により職員・業者各一人が逮捕された。これに続いて後日、助役・局長ら六人と業者六人も逮捕・検挙された。
- 一〇月一六日 大阪国際空港拡張・増便・ジェット機乗り入れにともなう騒音問題に対処するため、尼崎市を含む空港周辺八市が大阪国際空港騒音対策協議会を結成した。
- 一〇月二二日 尼崎商工会議所は既成都市区域での工場設置制限緩和を通商産業省・兵庫県・尼崎市等に対して陳情した。
- 一〇月 尼崎市内在住・在勤楽団員をもって構成する尼崎市吹奏楽団が公募により設立された。
- 十一月三日 新設された尼崎市民芸術賞の授賞式が行なわれ、市民芸術賞が画家・前田正夫、市民芸術奨励賞が作家・田辺聖子に贈られた。
- 十一月 公明党尼崎支部が結成された。
- 十二月九日 阪神間六市一町が共同して設立する社会福祉法人阪神福祉事業団が認可された。
- この年 国・兵庫県・尼崎市が共同して高潮対策事業新七か年計画を立案し、事業を開始した。尼崎市合唱団が設立された。

〔日本と世界のできごと〕

- 一―二月 インスブルックオリンピック（冬季）
- 六月一六日 新潟地震
- 八月二日 トンキン湾事件、米国防省、北ベトナム軍が米艦攻撃と発表
- 一〇月一日 東海道新幹線開業
- 一〇月一〇日 東京オリンピック（夏季）開幕、二四日まで開催され、日本選手団は史上最多の金メダル一六個を獲得
- 十一月二二日 全日本労働総同盟結成
- 十一月二七日 公明党結成



第1回尼崎市民芸術賞を受賞した田辺聖子氏と前田正夫氏

一九六五年（昭和四〇）

〔尼崎のできごと〕

- 一月 尼崎市役所が導入した電子計算機システムが稼働を開始し、一月分以降の職員給与計算及び昭和四〇年度分の市民税・固定資産税等の事務に利用された。
- 三月一六日 尼崎地区同盟会議を母体として、全日本労働総同盟傘下の尼崎地区同盟が結成された。長遠寺鐘楼・客殿・庫裏が兵庫県指定重要文化財に指定された。
- 三月三一日 この年に着工する五か年計画の大物川埋め立て工事に先だって、国道二号以南の大物川について河川廃止が告示された。
- 四月一日 尼崎製鉄が神戸製鋼所に合併し、同社尼崎工場となった。
- 尼崎市は武庫地区の一部に対して市内初の住居表示を実施した。
- 尼崎市市民年金条例及び、兵庫県公害防止条例が公布された。
- 兵庫県立西武庫公園が全面開園した。
- 五月一日 尼崎市立尼崎第二養護学校が市立金楽寺小学校内に仮校舎を置く形で設立された。
- 五月 兵庫県道五合橋線と国鉄東海道本線の立体交差が開通した。
- 五月二八日 田能の工業用水道工事現場からの大量の弥生式土器出土が、尼崎市水道局職員から市教育委員会に報告された。これを受けて一〇月一日、田能遺跡の調査が開始された。
- 九月 尼崎市は公害対策の一環として、中小企業公害防止設備資金融資制度を開始した。この日付で実施された国勢調査の結果、尼崎市の人口が五〇万人を超えた。
- 一月八日 地元商業団体等が反対しているダイエーの尼崎進出について、関西主婦連会長らが賛成し、尼崎市商工課長に斡旋を要請した。九日にはダイエー進出反対大会が尼崎商工会議所で開かれ、商店主など約千人が参加したと報じられた（昭和四一年一月、昭和通七丁目主婦の店ダイエー尼崎店として開店）。
- 一月一六日 尼崎市吹奏楽団が尼崎市文化会館で第一回演奏会を開いた。
- 一月 尼崎市は兵庫県公害防止条例にもつくすモック情報・ばい煙の排出の規制等に関する法律（ばい煙規制法）にもつくすモック注意報・警報発令制度運用を開始した。

〔日本と世界のできごと〕

- 二月七日 北爆開始、米軍が北ベトナムを爆撃
- 四月二四日 ベ平連、ベトナム戦争に反対し初デモ
- 六月二二日 新潟水俣病、新潟大学教授らが被害を公表
- 六月二二日 日韓基本条約調印、日本では一二月一日参議院強行採決により可決成立



田能遺跡発掘調査風景 中学・高校の生徒や大学生、考古愛好グループの市民ボランティアが発掘に参加した。（尼崎市教育委員会提供写真）

一九六六年（昭和四一）

〔尼崎のできごと〕

- 一月一〇日 尼崎市が猪名川町に開設した市立青少年いこいの家の供用が開始された。
- 三〇四月 尼崎市内の企業・工場で、従来を上回る件数の春闘ストが続発した。
- 四月一日 園田学園女子大学が栗山（現南塚口町七丁目）に設立された。
- 朝鮮人児童が学ぶ市立大島・立花・園田各小学校の分校が廃止され、替わって進学学校法人兵庫朝鮮学園朝鮮初級学校として大島・立花・園田の各初級学校が認可・設置された。
- 尼崎市社会福祉連合協議会が法人化し、社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会として認可された。
- 五月二五日 尼崎市は市内のごみ週二回定時収集、屎尿月二回定日収集を開始した。
- 六月一日 三市一町連絡協議会（尼崎・伊丹・川西市、猪名川町）が三市一町合併調査協議会と改称した。
- 六月八日 一二月開設予定の尼崎市立衛生研究所施設内に、国（厚生省）が設置する全国大気汚染測定網施設のひとつとして大気汚染測定所が設置された。
- 七月一日 尼崎市が大高洲町に新設した初の機械焼却炉が稼働した。
- 九月二日 久々知広済寺の近松門左衛門墓が大阪市内の近松墓とともに国指定史跡に指定された。
- 九月 尼崎市は衛生局に公害課を新設した。
- 一〇月五日 尼崎市立教育研究所が市立難波小学校校内から南城内の独立施設に移転した。
- 一〇月八日 市制記念日のこの日、市制五〇周年記念式典が市立体育会館で行なわれた。尼崎市は尼崎市民憲章を発表し、『尼崎市史』第一巻を刊行した。
- 尼崎市合唱団が市文化会館で第一定期演奏会を開催した。
- 十一月二〇日 尼崎市長選挙が行なわれ、元市助役の篠田隆義が初当選した。
- 十二月一日 難波新町一丁目（現東難波町四丁目）の労働会館跡に、勤労者の福祉増進・教養文化の向上を目的とする尼崎市立労働福祉会館が開館した。
- 尼崎市立衛生研究所が難波中通一丁目（現東難波町四丁目）に開設された。
- 十二月二六日 尼崎市名誉市民条例が公布・施行された。

〔日本と世界のできごと〕

- 三月三一日 法務省住民登録集計による日本の総人口一億人越え
- 六月二九日 ビートルズが来日、三〇日から三日間日本武道館公演
- 八月八日 文化大革命、中国共産党中央委員会総会が文革に関する決定一六か条採択



労働福祉会館 『月刊あまがさき』第三三号（昭和四一年二月）より

一九六七年（昭和四二）

〔尼崎のできごと〕

- 一月二六日 薄井一哉前尼崎市長が尼崎市名誉市民章第一号を受賞した。
- 一月 尼崎市は、市の施策全体に関する最初の総合的な計画として、昭和五〇年を目標年次とする尼崎市総合基本計画を策定した。
- 二月六日 立花支所が旧立花村役場から北西約三百メートルの位置に新築した庁舎に移転・開庁した。
- 三月三十一日 大覚寺文書が兵庫県指定重要文化財に指定された。
- 四月一日 尼崎市立立花西小学校が市立立花小学校・水堂小学校・武庫東小学校から分離して設置された。市立尼崎北小学校が市立塚口小学校から分離して設置された。
- 四月一〇日 国の同対策審議会答申（昭和四〇年）を受けて、尼崎市は地区改善対策審議会を設置した。尼崎競艇場で大時計が故障し第一〇レース以降が中止となったことから観客が不満を訴え機動隊が出動、器物損壊により七人、公務執行妨害により二人が逮捕された。
- 四月二八日 尼崎市議会議員選挙が実施された。
- 六月一日 尼崎北郵便局が、市内二番目の集配普通局として上坂部の新築庁舎で業務を開始した。
- 七月九日 西日本一帯に集中豪雨があり、尼崎市内では床上浸水一万一千戸、床下浸水四万五千戸、被害総額一五億円に及ぶ大きな被害があった。
- 九月八日 南城内の尼崎電報局が西長洲の尼崎電話局に統合され、尼崎電報電話局となった。
- 九月 尼崎市は公害対策の一環として、住居地域から工業地域への工場移転費用を融資する中小企業事業場移転資金あつせん制度を開始した。
- 一〇月二日 尼崎市中央卸売市場が昭和通二丁目から久々知字シノ坪（現潮江四丁目）に移転開業した。
- 一〇月三日 大庄支所が、旧大庄村役場から、北に約百メートルの位置に新築した庁舎に移転・開庁した。

〔日本と世界のできごと〕

- 四月五日 イタイイタイ病、岡山大学教授が神岡鉱山廃水が原因と発表
- 四月一六日 美濃部亮吉都知事当選、初の革新都政
- 六月五日 第三次中東戦争開始
- 八月三日 公害対策基本法公布・施行
- 八月八日 東南アジア諸国連合・ASEAN結成
- 九月一日 四日市ぜんそく患者が公害訴訟提訴
- 一〇月一六日 ベトナム反戦運動、米三〇都市でデモ
- 一〇月一八日 イギリス人モデル・ツイッギー来日、ミニスカートが流行



狭い路地に家屋が密集する東今北地区。同和地区の住環境整備が、この時期の大きな課題となった。昭和44年撮影

一九六八年（昭和四三）

〔尼崎のできごと〕

- 一月六〜九日 尼崎市立労働福祉会館において、城郭画家・荻原一青個展「日本名城画展」が開催された。
- 三月一八日 兵庫県内公立高等学校の入試が、新たに導入された兵庫方式（中学校三年間の調査書を主資料とし、学力等検査を補助資料とする）により実施された。
- 三月二九日 富松神社本殿と西武庫須佐男神社石造十三重塔が兵庫県指定重要文化財に指定された。
- 四月一日 尼崎市立武庫北小学校が市立武庫小学校から分離して設置された。また市立小園小学校が周辺小学校五校の校区を分離して設置された。
- 四月二日 兵庫県立尼崎高等学校併設の定時制課程が独立し、県立尼崎南高等学校として設置された。
- 四月三日 尼崎市立尼崎第二養護学校が市立金楽寺小学校内の仮校舎から田近野に新築移転した。
- 四月 尼崎市は同和対策事業を推進するため地区改善対策室を設置した。
- 阪神広域行政都市協議会を構成する阪神間六市一町（尼崎・伊丹・川西・宝塚・西宮・芦屋市、猪名川町）による阪神広域心身障害者保険扶養制度が開始された。
- 七月 尼崎・西宮・伊丹の三市共同園田配水場（尼崎市工業用水道第三期拡張工事）が完成した。
- 一〇月八日 尼崎出身の城郭画家・荻原一青の画集『城郭画集成』が、尼崎市内の経済人・文化人などからなる出版世話人会から刊行された。
- 十二月一九日 尼崎市内初の住宅地区改良事業として、浜つばめ地区の事業が認可された。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月九日 アラブ石油輸出国機構結成
- 二月 グルノーブルオリンピック（冬季）
- 三月一六日 南ベトナム・ソンミ村虐殺事件
- 四月四日 米黒人運動指導者キング牧師暗殺
- 五月一三日 パリ五月革命、学生・労働者ゼネスト
- 五月一六日 十勝沖地震（三陸沖北部地震）
- 七月一日 核拡散防止条約調印
- 八月二〇日 ソ連など五か国軍チエコ侵入
- 一〇月 メキシコシテイオリンピック（夏季）
- 十二月一〇日 三億円事件



東大物町の自宅で絵筆をとる荻原一青氏
昭和41年撮影

一九六九年（昭和四四）

〔尼崎のできごと〕

- 三月 尼崎港・西宮港・芦屋港を統合して、重要港湾尼崎西宮芦屋港が設置された。東海岸町に建設された尼崎油脂団地が竣工した。
 - 四月一日 尼崎・西宮両市間で、平左衛門町を西宮市から尼崎市に移管し、田近野を尼崎市から西宮市に移管する境界変更が行なわれた。
 - 四月二六日 尼崎市衛生局公害課が公害対策室に昇格した。
 - 五月 あこや学園が久々知（現下坂部四丁目）から西宮市田近野町に新築移転した。
 - 五月 現職市議会議員の過去の行動に関する記述をめぐって市が『尼崎の戦後史』の配布を停止・回収した。この後紛糾したが、昭和四五年三月に無修正のまま配布を再開した。
 - 六月二日 尼崎市は市内各戸定時ごみ収集を週二回から一回増やし、阪神間初となる週三回収集を開始した。
 - 六月三〇日 田能遺跡が国指定史跡に指定された。
 - 八月 尼崎市は兵庫県及び企業三三社（二七工場）との間に尼崎地域大気汚染防止協定（第一次協定）を締結した（第一次公害防止協定二回分のうち第一回）。九月二四日にはさらに兵庫県及び企業三九社（四二工場）・三企業団地との間に第二次協定を締結した。
 - 八月 東海岸町に建設された尼崎鉄工団地が竣工した。
 - 一〇月四日 杭瀬地区公害対策市民の会が結成された。
 - 一〇月六日 尼崎市都市計画審議会条例が公布・施行された。これにより都市計画の策定・立案が学識経験者・市議会議員などからなる審議会にゆだねられることになった。
 - 十一月二〇日 尼崎市立大庄公民館が元大庄支所（旧大庄村役場）の建物内に設置された。
 - 十一月 難波四条通（現西難波町六丁目）の尼崎市立公民館が市立中央公民館と改称した。
 - 十二月 東海岸町に建設された尼崎金属工業団地が竣工した。
- この年 尼崎市政に関する調査・研究を目的とし、学識経験者や社会党所属の市議会議員、労働組合関係者などを役員とする尼崎市政調査会が発足した。
- 猪名川改修工事の一環として、椎堂と対岸の豊中市利倉間の蛇行部分を直線とする利倉捷水路の工事が完成した。

一九七〇年（昭和四五）

〔尼崎のできごと〕

- 一月一七日 尼崎市地区改善対策審議会は市に対して、同和対策に関する答申と要望書を提出した。
- 三月二三日 第二阪神国道（現国道四三号）が大阪市部分を含めて全線開通した。
- 三月 兵庫県道五合橋線と阪急神戸線の立体交差が完成した。
- 四月一日 尼崎市立武庫南小学校が市立武庫小学校から分離して設置された。
- 四月二四日 尼崎市消費協会が発足した。
- 五月一日 尼崎市議会議事事務局が『尼崎市議会史』資料篇を刊行した。
- 六月 尼崎武庫川園が精神薄弱者授産施設として西宮市田近野町に開園した。
- 七月一〇日 尼崎市立産業郷土会館が他府県出身者中心の利用施設として大物公園内に開館した。
- 七月二二日 公害反対運動の全市的団体として、尼崎から公害をなくす市民連絡会が結成された。
- 七月二五日 田能遺跡発掘地の一部が史跡公園として整備され、尼崎市立田能資料館が開館した。
- 八月二五日 尼崎市が設置する勤労者保養施設として、尼崎高原ロッジが猪名川町内に開館した。
- 九月 部落解放同盟戸ノ内支部が結成された。
- 一〇月一日 この日付の国勢調査の結果、尼崎市の人口が五五万三、六九六人と史上最高を記録した。
- 一〇月二日 西長洲本通（現西長洲町）の記念公園内に尼崎市立スポーツマン会館が開館した。
- 一〇月二二日 兵庫県は尼崎市を含む阪神間七市一町を区域とする阪神間都市計画区域を決定した。
- 十一月一日 尼崎市は、市独自の、大気汚染に係る健康被害の救済措置に関する要綱を設け、医療費・医療手当を支給する公害医療救済制度を発足させた。同月三〇日にはこの制度にもとづき第一回尼崎市公害被害者認定審査会が申請者五二人を公害病患者と認定した。
- 十一月二日 杭瀬地区公害対策市民の会が『被害住民の手による公害白書』を刊行した。
- 十一月二五日 尼崎市立消費生活センターが東難波町四丁目に開設された。
- 十一月二日 尼崎市長選挙が行なわれ、現職の篠田隆義が再選された。
- 十二月一日 尼崎市域の四二・一％にあたる二〇・六平方キロメートルが、公害に係る健康被害の救済に関する特別措置法にもとづく公害健康被害指定地域に指定された。

〔日本と世界のできごと〕

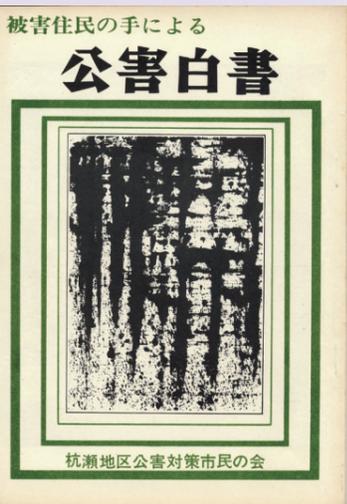
- 一月一八日 東大全学共闘会議が占拠する安田講堂に機動隊突入、一九日占拠解除
- 五月二六日 東名高速道路全面開通
- 五月三〇日 政府、新全国総合開発計画決定
- 七月二〇日 米宇宙船アポロ一号、人類初の月面着陸
- 八月 ニューヨーク郊外の農場でウッドストック・フェスティバル開催



国史跡に指定された田能遺跡 史跡公園の復元住居
昭和45年撮影

〔日本と世界のできごと〕

- 二月一日 日本初の人工衛星おおすみ打上げ成功
- 三月一四日 日本万国博覧会EXPO'70（大阪万博）開幕、九月一三日まで開催
- 三月二二日 よど号ハイジャック事件発生
- 五月一日 松浦輝夫・植村直己、世界最高峰エベレストに日本人初登頂
- 六月三日 日米安全保障条約自動延長、全国で反安保統一行動
- 十一月二五日 作家・三島由紀夫、陸上自衛隊東部方面総監部に押し入り割腹自殺
- 十二月二〇日 沖縄ゴザ事件、住民約五千人が米軍施設放火など反米行動



杭瀬地区公害対策市民の会刊行
『被害住民の手による公害白書』

一九七二年（昭和四六）

〔尼崎のできごと〕

- 三月一日 尼崎市議会事務局が『尼崎市議会史』記述篇を刊行した。
- 三月二六日 尼崎市立隣保館条例が全部改正され、尼崎市立総合センターの設置及び管理に関する条例が公布された。
- 三月 尼崎市は都市再開発法公布（昭和四四年）を受けて、全国市街地再開発協会に委託して、尼崎市市街地再開発基本計画を策定した。
- 四月二五日 尼崎市議会議員選挙が実施された。
- 四月三〇日 尼崎郷土史研究会会報『みちしるべ』が創刊された。
- 五月一八日 尼崎市が設置する市内初の総合センターとして、今北保育所・大庄公民館今北分館併設の今北総合センターが開館した。
- 六月五日 大気汚染公害の被害者団体として、尼崎公害患者・家族の会が発足した。
- 七月 猪名川改修工事後の旧河道沿いに残る猪名川自然林の保存を求める市民の会として、猪名川の自然と文化を守る会が結成された。
- 一〇月二五日 尼崎市史編修室が『尼崎市史研究紀要』地域史研究』を創刊した。
- 一〇月 尼崎市は市の施策全体の基本方向を定めるまちづくり基本構想を策定した。
- 一二月一七日 国道四三号の道路公害に反対する住民組織として、四三号線公害対策尼崎連合会が結成された。

〔日本と世界のできごと〕

- 七月一日 環境庁設置
- 八月一五日 ドルショック、ニクソン米大統領ドル防衛策発表
- 九月一六日 三里塚闘争、成田空港予定地第二次強制代執行の衝突で機動隊員三人死亡
- 九月一八日 日清食品カップヌードル発売
- 一二月一八日 スミソニアン合意、一〇か国蔵相会議でドル大幅切り下げを確認



尼崎郷土史研究会会報『みちしるべ』創刊号

一九七二年（昭和四七）

〔尼崎のできごと〕

- 一月五日 尼崎市立立花公民館が塚口町三丁目に開館した。
- 二月一六日 尼崎市は兵庫県及び民間企業六六社（六七工場）・三企業団地との間に第二次公害防止協定を締結した。
- 四月一日 尼崎市立立花南小学校が市立立花小学校から分離して設置された。
- ニ崎市立南武庫之荘中学校が市立武庫中学校・立花中学校から分離して設置された。
- 尼崎市立尼崎産業高等学校の定時制課程が市立尼崎工業高等学校と名称変更し、併設校となった。
- 阪神養護学校組合立阪神養護学校が設立され、西宮市田近野町の尼崎市立尼崎第一養護学校が同校に統合された。
- 兵庫県立尼崎小田高等学校が市立小田南中学校に仮校舎を置く形で設置された。
- 言語・情緒障害児通園施設・榎の木園が、尼崎市立城内中学校内に設置された（昭和四八年一〇月、社会福祉法人榎の木会が運営団体として認可される）。
- 八月三日 四三号線公害対策尼崎連合会が、阪神高速道路尼崎工区の工事再開に反対して武庫川町四丁目の工事現場での座り込みを開始した。
- 八月二三日 従来の尼崎市公害対策協議会に替えて、公害対策基本法にもとづき公害対策を調査審議する尼崎市公害対策審議会が設置され、第一回目の会合が行われた。
- 九月 大高洲町に建設された協同組合阪神廃酸処理センターが竣工した。
- 一〇月七日 塚口のグンゼ工場が閉鎖された。
- 第一回尼崎市民まつりが、記念公園陸上競技場など市内各所を会場として開催された。八日の市制記念日には、時代行列の市制記念パレードも行われた。
- 一〇月二一日 尼崎から公害をなくす市民連絡会のメンバーや弁護士・医師など六三人が、関西電力尼崎第一・第二火力発電所への立ち入り調査を実施した。
- 一〇月 田能六丁目に建設された協同組合阪神精密工業センターが竣工した。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月二四日 グアム島で横井庄一元陸軍軍曹発見
- 二月三日 一三日まで札幌オリンピック（冬季）、日本選手団は冬季初の金メダル獲得
- 二月一九日 連合赤軍による浅間山荘事件発生
- 二月二一日 ニクソン米大統領訪中、米中関係回復
- 三月二一日 奈良県明日香村の高松塚古墳壁画発見
- 五月一五日 沖縄施政権返還、沖縄県発足
- 五月三〇日 イスラエル・テルアビブ空港乱射事件
- 六月一一日 田中角栄通産相、日本列島改造論発表
- 八月九月 ミュンヘンオリンピック（夏季）
- 九月二九日 日中共同声明調印、国交回復



43号線公害対策尼崎連合会座り込み126日目
（大久保勝芳氏寄贈写真）

一九七三年（昭和四八）

〔尼崎のできごと〕

- 三月三〇日 兵庫県立尼崎小田高等学校が、市立小田南中学校内の仮校舎から、長洲中通二丁目の大日織維工業跡に建設された新校舎に移転した。
- 三月三十一日 尼崎市民の環境をまもる条例及び尼崎市公害病認定患者の救済に関する条例が公布された。
- 三月 部落解放同盟神崎支部が結成された。次いで五月に上ノ島、八月に塚口、九月に水堂・守部、十一月に東今北と市内の各支部が結成され、一二月には部落解放同盟尼崎連絡会が結成された。
- 四月一日 尼崎市立園田北小学校が市立園田小学校から分離して設置された。
- 五月二日 神戸地方裁判所尼崎支部は、阪神高速道路大阪西宮線の工事差し止めを求める住民側（四三号線公害対策尼崎連合会会員等）の請求を却下した。これを不服とする住民側は同月二六日、大阪高等裁判所に抗告した。
- 六月二九日 尼崎から公害をなくす市民連絡会など市内一六団体が、尼崎市に対して、公害に対する統一要求書を提出した（昭和四九年以降、公害なくせ！尼崎市民集会統一要求書として昭和六二年度まで毎年提出）。
- 一〇月三日 市内出土遺物の保管をはじめ文化財保護の事業を担う施設として、尼崎市立文化財収蔵庫が市立立花小学校敷地内に設置された。
- 一一月二日 中東の石油危機により紙の生産が止まりトイレットペーパーがなくなるといふ風聞が流れたため、各地でトイレットペーパーの買い付け騒ぎが起こった。灘神戸生活協同組合園田店では主婦ら二百人が殺到し、重傷者が出る事態となった。

一九七四年（昭和四九）

〔尼崎のできごと〕

- 三月一日 尼崎市教育委員会が『尼崎市戦後教育史』を刊行した。
- 三月五日 市役所園田東出張所を併設する園田東会館が戸ノ内町二丁目に開館した。
- 三月二六日 阪神電鉄は国道線上甲子園―西灘間をこの日を最後に廃止した。
- 四月一日 尼崎市立武庫庄小学校が市立武庫東小学校・尼崎北小学校から分離して設置された。
- 国鉄尼崎駅北西の潮江第一地区市街地再開発事業が完了した。
- 尼崎信用金庫と浪速信用金庫が合併し、尼崎浪速信用金庫となった。
- 五月二日 本興寺方丈、長遠寺本堂・多宝塔が国指定重要文化財に指定された。
- 七月二三日 尼崎市立勤労婦人センター（現・市立女性・勤労婦人センター、通称女性センター・トレビエ）が、女性のための学習と憩いの場として南武庫之荘三丁目に開館した。
- 七月二〇日 常吉赤田（現常吉一丁目）に、市内初の地区会館として、尼崎市立武庫地区会館が開館した。
- 八月二七日 栗山前田町（現栗山町二丁目）の兵庫県立尼崎勤労青少年福祉寮敷地内に建設された研修・スポーツ・レクリエーション施設として、尼崎市立青少年センターが開館した。
- 九月三〇日 関西電力尼崎第一火力発電所が廃止された。
- 一〇月四日 尼崎市は逢川水系に立地する五企業との間に水質汚濁防止協定を締結した。
- 一〇月一八日 尼崎市は、公害病認定患者の保養施設として、尼崎市立健康の家を猪名川町に開所した。
- 一〇月二九日 尼崎市文化会館で開かれた阪神地区商業者連絡協議会による西武百貨店進出反対大会に、阪神七市一町の商店主ら約一、三〇〇人が参加したと報じられた。
- 一〇月三〇日 尼崎市は市内企業一〇三社との間に工場緑化を目的とする緑化協定を締結した。
- 一〇月 兵庫県立尼崎病院塚口分院が兵庫県立塚口病院として独立した。
- 一一月一日 尼崎市は休日・夜間急患対策施設・尼崎医療センターを水堂町三丁目に開設した。
- 一一月二七日 尼崎市長選挙が行なわれ、現職の篠田隆義が三選された。
- 一一月三〇日 公害健康被害の補償等に関する法律（公害健康被害補償法）にもとづく公害健康被害指定地域が、地域の六九・〇％にあたる三三・八五平方キロメートルに拡大された。
- 一二月二六日 長洲本通二丁目に建設された尼崎市立小田地区会館が開館した。
- この年 尼崎市は市内初の総合的な同和地区実態調査を一〇～一一月に実施した。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一日 老人福祉法改正、七〇歳以上の医療費無料化
- 二月一四日 円変動相場制に移行
- 四月二日 国民の祝日法改正、振替休日制開始
- 八月八日 韓国元大統領候補・金大中氏誘拐
- 九月一日 チリ軍事クーデター、アジエンデ人民連合政権崩壊
- 一〇月六日 第四次中東戦争開始、このちアラブ産油国の原油価格値上げ・減産により第一次石油危機
- 一〇月二三日 読売巨人軍、プロ野球初の九連覇達成



国道四三号上に建設中の阪神高速道路（昭和五一年頃撮影、大久保勝芳氏寄贈写真）

〔日本と世界のできごと〕

- 三月二日 ルバン島から小野田寛郎元陸軍少尉帰国
- 八月九日 ニクソン米大統領、ウォーターゲート事件の責任をとり辞任
- 八月三〇日 東アジア反日武装戦線による三菱重工ビル爆破事件発生
- 一一月二六日 田中角栄首相、金権批判受け辞意表明



開館直前の尼崎市立勤労婦人センター
昭和49年6月撮影

一九七五年（昭和五〇）

〔尼崎のできごと〕

- 一月一日 西宮市田近野町の阪神養護学校組合立阪神養護学校が兵庫県に移管された。
- 一月二〇日 尼崎市総合文化センターが昭和通二丁目に開館した。同時に市の文書館施設である市立地域研究史料館が、同センター内に開館した。
- 一月 社会福祉法人樫の木会が運営する言語・情緒障害児通園施設樫の木園が、尼崎市立城内中学校内から大物町一丁目に園舎を新築移転した。
- 三月二二日 戸籍等の模写電送システムが尼崎市役所本庁・支所と地区出張所の間で始動した。
- 三月二八日 尼崎市は兵庫県及び民間企業六二社（六七工場）・二企業団地との間に第三次公害防止協定を締結した。
- 四月一九日 阪神尼崎駅前第一松本ビル内のオリエンタルメタル製造事務所が、韓国関連企業のひとつとして東アジア反日武装戦線により爆破された。
- 四月二七日 尼崎市議会議員選挙が実施された。
- 五月五日 阪神電鉄は国道線と甲子園線をこの日を最後に廃止した。
- 六月 平左衛門町に建設された尼崎武庫川工業団地が竣工した。
- 七月 中高年齢者雇用確保を目的として、兵庫県・尼崎市・経済団体・労働団体の協力のもと尼崎中高年労働者事業団が設立された。
- 九月 私立育成調理師学校の生徒一三人が副校長の差別発言に抗議して同盟休校に入り、部落解放同盟による長期に及ぶ糾弾闘争となった。
- 十一月二二日 久々知広済寺に隣接して建設された近松記念館が竣工した。

〔日本と世界のできごと〕

- 四月三〇日 南ベトナム降伏、ベトナム戦争終結
- 五月一六日 田部井淳子、世界最高峰エベレストに女性として初登頂
- 八月四日 クアラルンプール事件発生、日本赤軍がマレーシアの米大使館などを占拠
- 十一月五日 パリ近郊ランブイエ工場で第一回主要先進国首脳会議・サミット開催



開館当時の尼崎市総合文化センター（同センター提供写真）

一九七六年（昭和五一）

〔尼崎のできごと〕

- 三月二三日 治田寺阿弥陀如来坐像が兵庫県指定重要文化財に指定された。
- 三月三二日 関西電力尼崎第二火力発電所が廃止された。
- 四月一日 尼崎市立武庫東中学校が市立武庫中学校・塚口中学校から分離して設置された。尼崎市立小園中学校が市立園田中学校・園田東中学校・小田北中学校から分離して設置された。
- 四月 兵庫県立武庫壮高等学校が市立武庫東中学校内に仮校舎を置く形で設置された。東園田町四丁目に建設された尼崎市立園田地区会館が二八日開館し、二九日から供用を開始した。義務教育未修了者のための夜間中学として、尼崎市立城内中学校琴城分校が市立教育研究所内に設置された。
- 五月二九日 国道四三号線対策尼崎連合会・西宮連合会の会員をはじめとする沿線住民が、国道四三号線道路公害裁判原告団を結成した。
- 八月三〇日 国道四三号線道路公害裁判原告団が、同訴訟を神戸地方裁判所に提訴した。
- 一〇月一五日 尼崎・西宮・伊丹・宝塚地域の約二四％の汚水・雨水を処理する兵庫県営武庫川流域下水道の施設として、平左衛門町に建設された武庫川浄化センターが一部完成し、尼崎市の運転管理により下水処理を開始した。
- 十一月 尼崎市は一般会計の累積赤字（昭和五一年度末現在二四億一、一〇〇万円）を解消し、財政基盤を確立するための財政健全化計画（昭和五一〜五四年度）を策定した。

〔日本と世界のできごと〕

- 二月 インスブルックオリンピック（冬季）
- 五月八日 植村直己、北極圏単独走破に成功
- 六月二五日 新自由クラブ結成
- 七月二〇日 米探査機バイキング一号が火星に着陸し、人類初の火星探査に成功
- 七月二七日 ロッキード事件、田中角栄前首相逮捕
- 七〜八月 モントリオールオリンピック（夏季）
- 九月六日 ソ連ミグ25戦闘機が函館空港強行着陸
- 一〇月六日 毛沢東未亡人・江青ら四人組逮捕、中国文化大革命終結



武庫川浄化センター 昭和51年8月撮影

一九七七年（昭和五二）

〔尼崎のできごと〕

- 二月一四・一五日 兵庫県立武庫荘高等学校が、尼崎市立武庫東中学校内の仮校舎から西昆陽こやに建設した新校舎に移転した。
- 三月 金井重要工業が東大島のトラベラー製造所を伊丹市内の針布製造所に移転統合し、織維機器製造所とした。これにより尼崎市内の同社製造施設がなくなった。
- 四月一日 兵庫県立尼崎病院内に東洋医学研究所が開設された。
- 五月 部落解放同盟尼崎市連絡協議会が発足した。
- 六月一〇日 塚口南地区市街地再開発事業により設置予定の再開発ビル・塚口さんさんタウンの管理・運営を行なう尼崎都市開発株式会社が設立された。
- 六月二五日 桂米朝一門による第一回尼崎落語勉強会が、琴秋閣を会場として開催された。
- 八月 田能六丁目たのに建設された田能工業団地が竣工した。
- 一〇月一日 尼崎市営バスのワンマン化率が一〇〇%を達成した。

〔日本と世界のできごと〕

- 五月二五日 映画「スター・ウォーズ」米封切、世界的大ヒット作となる
- 七月一三日 ニューヨーク大停電発生
- 八月七日 北海道有珠山噴火
- 九月二八日 ダツカ事件発生、日本赤軍がパリ発東京行き日航機乗っ取り
- 一〇月一八日 ルフトハンザ機乗っ取り事件、西独特殊部隊が強行突入し解決
- 十一月一七日 吹田市に設置された国立民族学博物館一般公開開始



桂米朝一門落語勉強会の場となった琴秋閣は、篤志家秋岡家から寄付された西本町の旧宅であった。昭和30年の市文化会館設置とともに昭和通に移築され、付属施設として活用された。

一九七八年（昭和五三）

〔尼崎のできごと〕

- 一月一〇日 尼崎出身の城郭画家、故萩原一青の画集『日本名城画集成』が小学館から刊行された。
- 一月一七日 歯の衛生指導や治療を受けにくい障害者の診療などを行なう尼崎口腔衛生センターが南武庫之荘三丁目にオープンした。
- 一月二二日 尼崎市総合計画審議会条例が施行された。
- 三月 神戸製鋼所尼崎製鉄所第二高炉が休止した。四月には同製鉄所製鋼工場及び焼結工場も休止した。
- 四月一日 尼崎市立立花北小学校が市立立花西小学校から分離して設置された。
- 四月七日 兵庫県立尼崎稲園高等学校が猪名寺に設置された。
- 四月二〇日 菜切山町なまきりやまに新築された尼崎市立大庄地区会館が開館した。
- 七月 国・阪神高速道路公団及び、尼崎市内企業を含む企業一〇社を被告とする西淀川公害訴訟の第一次提訴が行なわれた。
- 七月 塚口南地区市街地再開発事業が六日に完了し、阪急塚口駅南側の塚口さんさんタウンが七日開業した。
- 八月一九日 全国部落解放運動連合会（全解連）尼崎市協議会が発足した。
- 八月一九日 兵庫県立尼崎青少年創造劇場（通称・ピッコロシアター）が南塚口町三丁目に開館した。
- 十一月一九日 尼崎市長選挙が行なわれ、元市助役の野草平十郎が初当選した。

〔日本と世界のできごと〕

- 五月二〇日 新東京国際空港（現成田国際空港）開港
- 八月一二日 日中平和友好条約調印
- 九月一九日 埼玉県教育委員会、稲荷山古墳出土鉄剣の文字解読と発表
- 九月 キャンプ・デービッド合意、米・エジプト・イスラエルによる中東和平案
- 十一月二七日 日米防衛協力のための指針決定



完成当時の塚口さんさんタウン

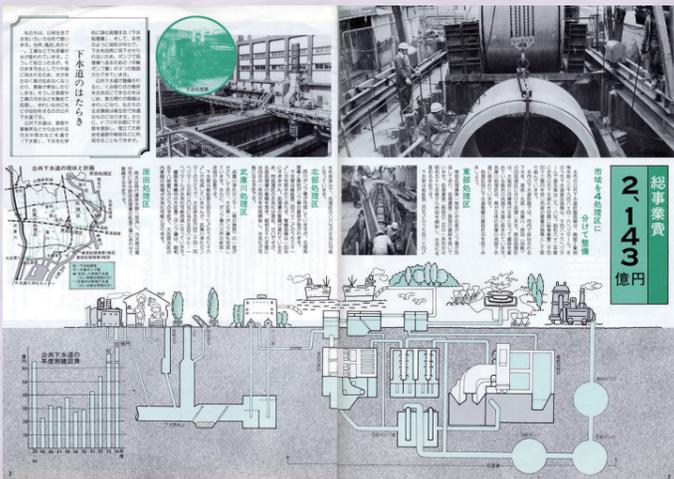
一九七九年（昭和五四）

〔尼崎のできごと〕

- 一月二四日 尼崎労農旧友会が『戦前尼崎の労農運動』を刊行した。
- 四月二日 尼崎市議会議員選挙が実施された。
- 四月 尼崎市は全市公共下水道化実現のため下水道局を新設した。
- 尼崎市は、高齢者や障害者など身体的ハンディキャップを持つ人が生活しやすい都市環境づくりを目的とする福祉まちづくり環境整備要綱を制定し、一〇月から施行した。
- 大西町一丁目に建設された尼崎市立花地区会館が三日開館し、二四日から供用を開始した。
- 六月一日 尼崎市立北図書館が南武庫之荘三丁目に開館した。
- 八月三日 阪神高速道路建設工事に反対する四三号線公害対策尼崎連合会が、武庫川町四丁目の工事現場で七年間にわたって行なってきた座り込み闘争を終結し、翌四日から工事が再開された。
- 九月二七日 国鉄福知山線の塚口―北伊丹間が複線化された。
- 一〇月 尼崎市は昭和四六年策定のまちづくり基本構想にかえて、市の施策全体に関する新たな総合的計画として、一九九〇年を目標年次とする尼崎市総合基本計画を策定した。
- 東初島町に建設された東初島工業団地が竣工した。
- 十一月 尼崎市は、市内初の有料自転車駐車場（駐輪場）として、阪急塚口駅南駐車場を開設した。
- 十二月五日 尼崎市国際交流協会が設立された。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月九日 ダグラス・グラマン事件捜査開始
- 一月 第二次石油危機開始
- 二月 国立大学入試共通一次試験初実施
- 三月二八日 イラン革命、ホメイニ師権力掌握
- 六月 米スリーマイル島原子力発電所事故
- 第五回主要先進国首脳会議・東京サミット開催（初の日本開催）
- 十二月二七日 ソ連軍アフガニスタン侵攻開始



『わが町あまがさき』第1号（尼崎市、昭和54年7月）より
野草市政は下水道整備を最重要課題に位置付けた。

一九八〇年（昭和五五）

〔尼崎のできごと〕

- 三月 大谷重工業尼崎工場の後身である合同製鐵尼崎製造所が閉鎖された。
- 四月一日 尼崎市立園田南小学校が市立園田小学校・小園小学校・上坂部小学校から分離して設置された。
- 尼崎市は、大規模開発事業が環境に及ぼす影響を事前に調査し評価するため、尼崎市環境影響評価審査会条例及び尼崎市環境影響評価指導要綱を施行した。
- 四月二日 国鉄立花駅南側の立花南第一地区市街地再開発事業が完了し、再開発ビル・立花ジョイタウンが完成した。
- 四月二七日 全国初の公害病認定患者リハビリセンターとして、健康回復施設・尼崎市立いぶきの家が七松町三丁目に開設された。
- 六月二三日 尼崎市初の薪能として、大物川緑道の能舞台で、大物の浦薪能が催された。
- 七月二六日 富松出身の観世流能楽師・山村啓雄が昭和五三年に重要無形文化財（能楽）の保持者として認定されたのを記念して、富松薪能の第一回が富松神社で催された。
- 七月 労働者の研修・集会・文化活動施設であり、労働団体の事務局も入居する尼崎市立労働センターが市立労働福祉会館に隣接して東難波町四丁目に新設され七日に開館、八日供用を開始した。
- 尼崎市は、市内同和地区総合調査を実施した。
- 高齢者の就労機会を作ることを目的として発足した社団法人尼崎市シルバー人材センターが、東難波町五丁目のセンターを開所した。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月二三日 西独・緑の党結成
- 二月 レイクプラシッドオリンピック（冬季）
- 二～三月 海上自衛隊、環太平洋合同演習初参加
- 五月一八日 韓国光州事件発生、戒厳令下、学生・市民と治安部隊が衝突
- 七～八月 モスクワオリンピック（夏季）、日米などソ連のアフガン侵攻理由に不参加
- 八月一四日 ポーランド・グダニスクの造船所スト開始、九月自主管理労組「連帯」結成
- 九月二三日 イラン・イラク戦争開始



昭和56年8月の第1回尼崎薪能
『わが町あまがさき』第9号（尼崎市、昭和56年）より

一九八一年（昭和五六）

〔尼崎のできごと〕

- 二月二五日 尼崎市産業問題審議会は、尼崎経済の地盤沈下を防止し産業振興をはかる内容の、尼崎産業の長期振興ビジョンを尼崎市長に答申した。
- 三月三二日 神戸地方裁判所が尼崎市立御園小学校育友会による同校廃校（市立竹谷・開明両校への分離統合）の執行停止申し立てを却下し、御園小学校は廃校となった。
- 四月一日 国鉄塚口駅と尼崎港駅を結ぶ福知山線尼崎支線（通称尼崎港線）の旅客運転がこの日を最後に廃止され、金楽寺駅も四月一日付で廃止された。
- 四月二〇日 尼崎市立武庫の里小学校が市立武庫小学校から分離して設置された。
- 四月二〇日 尼崎市総合文化センター内に事務局を置き、尼崎市の芸術・文化の発展を目指す尼崎芸術文化協会が発足した。
- 四月 財団法人尼崎市高齢者生きがい促進協会が設立された。
- 五月一日 尼崎市と産業界が連携して地域産業振興をはかることを目的として、財団法人尼崎市産業振興協会が設立された。
- 六月二七日 阪神高速道路の大阪市西区西本町から西宮インターチェンジの区間が開通し、すでに開通していた神戸西宮線と接続され大阪神戸線が全面開通した。
- 八月四日 上坂部西公園内に、緑の相談所の新施設がオープンした。
- 八月五日 前年（昭和五五年）に初めて催された大物の浦新能が好評だったのを受けて、第一回目の尼崎新能が大物川緑道の能舞台で催された。
- 八月 北初島町に建設された北初島工業団地が竣工した。
- 八月 琴秋閣がアルカイクホール建設に先立って解体された。
- 一〇月 国の尼崎地方合同庁舎が東難波町四丁目に完成し、三二日に庁舎内の尼崎労働基準監督署が業務を開始した。以降一月初旬にかけて、庁舎内各機関が業務を開始した。
- この年 全日本同和会の尼崎市の支部組織が結成された。

一九八二年（昭和五七）

〔尼崎のできごと〕

- 三月二六日 尼崎地方労働運動史研究会編『尼崎の労働運動史年表』が刊行された。
- 三月三〇日 杭瀬北新町四丁目の大衆演劇場・寿座が、この日を最後に廃業した。
- 四月一日 尼崎市立常陽中学校が市立武庫中学校から分離して設置された。
- 四月 尼崎市文化財保護条例が施行された。
- 四月 尼崎市立北難波小学校など六校において、地域に開かれた学校を目指す学校園構想事業が開始された。
- 六月 社団法人尼崎同和問題啓発促進協会が発足し、七月一日に法人として認可された。
- 七月一日 尼崎市は本庁舎と支所で昼休み時間の窓口業務を開始した。
- 七月二〇日 尼崎市総合文化センターのアルカイクホールが昭和通二丁目に開館した。
- 七月一九日 尼崎市の指定金融機関選定をめぐる贈収賄疑惑により、市収入役と金融機関の役員二人が逮捕された。
- 九月一日 東園田町七丁目に新設された北部浄化センターが稼働し、下水処理を開始した。
- 一〇月一日 西松島町から東松島町にかけて新設された東部第一浄化センターが稼働し、下水処理を開始した。
- 一〇月八日 尼崎市立魚釣り公園が武庫川河口東岸の平左衛門町地先に開園した。
- 一一月六日 尼崎市中小企業センターが昭和通二丁目に開設された。
- 一一月二二日 尼崎市長選挙が行なわれ、現職の野草平十郎が再選された。
- 一一月 国際連合が定めた「国際障害者年」（一九八一年）を機に、国が地方公共団体に取り組みを要請したのを受けて、尼崎市は昭和五六～六五年を計画期間とする尼崎市国際障害者年長期行動計画を策定した。
- 大高洲町の尼崎市立クリーンセンター第三工場が稼働を開始した。

〔日本と世界のできごと〕

- 二月一八日 米レーガン大統領、経済再建計画（レーガノミクス）発表
- 三月二日 中国残留日本人孤児四七人、肉親捜しのため厚生省の招きにより初来日
- 三月一六日 臨時行政調査会初会合、「増税なき財政再建」掲げ行政改革検討開始
- 三月二〇日 神戸ポートアイランド博覧会・ポートピア'81開幕、九月一五日まで開催
- 六月七日 イスラエル、イラク原子炉を空爆



尼崎港線金楽寺駅
昭和44年、片岡敏男氏撮影

〔日本と世界のできごと〕

- 二月九日 日航機羽田沖墜落事故
- 四月二日 フォークランド紛争開始
- 六月六日 イスラエル軍、レバノン侵攻
- 七月二三日 国際捕鯨委員会、商業捕鯨禁止決定
- 七月二六日 中国政府、「侵略」表記めぐる教科書検定について日本政府に抗議
- 一〇月一日 日本で世界初のCDプレーヤー及び音楽CD発売
- 一〇月三日 NECがパーソナル・コンピュータC-19801を発売
- 一一月二四日 全日本民間労働組合協議会（全民労協）結成



アルカイクホール
白髪一雄作品「祝いの舞」の緞帳
(尼崎市総合文化センター提供写真)

一九八三年（昭和五八）

〔尼崎のできごと〕

- 一月 財団法人尼崎市スポーツ振興事業団が設立された。
- 二月一日 老人保健法による七〇歳以上の老人医療費一部本人負担が始まった。これに合わせて尼崎市老人医療費の助成に関する条例が一部改正され、六五〜六九歳を対象とする市独自の老人医療費助成制度についても一部本人負担が始まった。
- 二月二日 尼崎市は中国鞍山市と友好都市提携を結び、調印式を尼崎市総合文化センターで行なった。
- 二月 尼崎市は二一世紀に向けたまちづくりの長期目標としてシビックゾーン構想・地区まちづくり計画・土地利用計画を策定した。
- 三月三日 尼崎市は民間企業五二社（五六工場）との間に第四次公害防止協定（うち四二社四六工場との協定は兵庫県を含めた三者協定）を締結した。
- 三月二四日 長洲天満神社本殿、如来院石造笠塔婆、長遠寺絹本著色涅槃図・鯨口・雲板、田能遺跡出土の銅剣・銅型・白銅製釧・碧玉製管玉が尼崎市指定文化財に指定された。
- 四月一日 尼崎市行財政問題審議会条例、市民福祉施策の基本を定める尼崎市市民の福祉に関する条例、尼崎市自転車の放置の防止に関する条例が施行された。
- 四月二四日 尼崎市議会議員選挙が実施された。
- 四月 尼崎市農業公園が田能に開園した。
- 四月 廃校となった市立御園小学校跡地に建設された尼崎市立本庁地区会館・本庁体育館・屋内プールの複合施設・サンシビックニ崎が二七日開館し、二八日から供用を開始した。
- 五月 猪名川自然林の保存運動に取り組んできた、猪名川の自然と文化を守る会が、第一回朝日森林文化賞（朝日新聞主催）の奨励賞を受賞した。
- 五月一日 尼崎市都市美創出審議会条例が施行された。
- 六月七日 東難波町四丁目に新設された尼崎市立総合老人福祉センターが開館し、養護老人ホーム長安寮が田近野から同センターに移転・併設された。
- 八月一日 中高年齢者の就業確保を目的として、緑化事業を中心に業務を行なう尼崎中高年齢労働者事業団を母体として、新たに尼崎中高年齢事業株式会社が発足した。

一九八四年（昭和五九）

〔尼崎のできごと〕

- 一月三日 国鉄塚口駅と尼崎港駅を結ぶ福知山線尼崎支線（通称尼崎港線）の貨物運転がこの日を最後に廃止され、同線は廃線となった。
- 二月二三日 尼崎市は市役所本庁舎北側に新築した第二庁舎での業務を開始した。
- 三月一七日 川西市・豊中市の住民が大阪国際空港の騒音被害を訴えた大阪国際空港騒音公害訴訟について、運輸省が大阪国際空港騒音対策協議会（尼崎市を含む周辺一市協）に夜九時以降の飛行禁止を文書で約束し、原告に賠償金を支払うことで和解が成立した。
- 三月二六日 如来院の銅鐘（如来院応永三年梵鐘）、本興寺所蔵の流水文銅鐸、御園古墳石棺が尼崎市指定文化財に指定された。
- 四月 社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団が設立された。
- 九月 尼崎市は昭和五九〜六三年度を計画期間とする産業振興中期計画を策定した。
- 一〇月一日 西高洲町に建設された西高洲工業団地が竣工した。
- 一〇月一日 尼崎市は戸籍などの窓口事務について本庁舎・支所・地区出張所間をオンライン化し、この日からシステム稼働した。
- 一〇月二二日 グリコ・森永事件の影響により、塚口工場を含む森永製菓の製菓部門全工場が減産体制に入った。
- 一二月二四日 尼崎市住環境整備条例が公布・一部施行された。

〔日本と世界のできごと〕

- 二月一日 老人医療費本人一部負担開始
- 三月二四日 中国自動車道全面開通
- 四月一五日 東京ディズニーランド、千葉県浦安市にオープン
- 五月二六日 日本海中部地震
- 九月一日 ソ連空軍機、大韓航空機を撃墜
- 一〇月二二日 ロッキード事件、田中角栄元首相に実刑判決



友好都市提携に署名・調印する野草平十郎尼崎市長（向かって右）と張健中鞍山市長

〔日本と世界のできごと〕

- 一月二四日 アップル社、初代マックPC発売
- 二月二二日 植村直己、世界初のマッキンリー冬季単独登頂、その後消息を絶ち遭難
- 二月 サラエボオリンピック（冬季）
- 三月一八日 江崎グリコ社長誘拐、グリコ・森永事件の最初の犯行
- 七月〜八月 ロサンゼルスオリンピック（夏季）
- 九月二二日 グリコ・森永事件、森永製菓に脅迫状その後犯行グループが報道機関に公表



尼崎港線廃線直前、尼崎港駅に停車する貨物列車
昭和59年1月29日撮影

一九八五年（昭和六〇）

〔尼崎のできごと〕

- 一月一九日 尼崎市民交響楽団が結成され、初練習がこの日に市立中央公民館で行なわれた。
- 三月三〇日 大阪湾圏域の広域に発生する廃棄物を、尼崎沖と泉大津沖の処分場に埋め立て最終処分を行なう大阪湾フェニックス計画の基本計画が公表された。
- 水堂古墳出土品（附、封土中・封土上面出土土器）と、本興寺三光堂向唐門・同笠塔婆・本興寺文書が尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月 尼崎市は二〇〇年を目標年次とする市民総合交通体系基本計画を策定した。
- 四月 次屋三丁目に建設された次屋中小企業共同工場が竣工した。
- 五月二七日 尼崎市交通局は市営バス事業付随業務を委託する尼崎交通事業振興協会を設立した。
- 六月一日 尼崎市神崎浄水場のオゾン注入設備が、近代水道百選のひとつに選ばれた。
- 六月二日 研修・教育相談などを行なう教育総合センター、視聴覚センター、身体障害者福祉センター、立花体育館からなる尼崎市教育・障害福祉センターが三反田町二丁目に開設された。
- 七月二七日 尼崎市議会は核兵器廃絶平和都市宣言を全会一致で決議した。
- 八月一日 兵庫県環境事業公社が、廃棄物を処理して埋め立てた武庫川河口丸島地区（平左衛門町地先）に整備したスポーツ施設・武庫川ファミリアパークがオープンした。
- 八月 生揚醤油が尼の生揚醤油保存会の手により約四〇年ぶりに復活した。
- 九月二三日 園田駅前スナックで暴力団員発砲事件の流れ弾により一九歳の女性が死亡した。被害者の母親が起した損害賠償請求訴訟の和解金により、のちに被害女性の名前をとった暴力団犯罪被害者支援の「まや基金」、さらに平成一〇年には暴力団被害救済基金が設立された。
- 九月二七日 西武百貨店などが入る大規模商業施設・つかしんが、グンゼ塚口工場跡に開店した。
- 一〇月 尼崎浪速信用金庫、阪神タイガース二一年ぶりリーグ優勝を機に優勝記念定期預金発売。
- 一〇月 尼崎市は一九九五年を目標年次とする新たな総合基本計画を策定した。
- 十一月二日 尼崎市立消費生活センターが東灘波町から市立勤労婦人センター内に移転・開館した。
- 十一月二四日 第一回尼崎シティ国際ハーフマラソンが開催された。
- 十一月 尼崎市は四月施行の尼崎市都市美形成条例にもとづく都市美形成基本計画を策定した。
- この年 石油危機以降悪化した市財政の健全化のため、尼崎市は行財政改善基本計画を策定した。

一九八六年（昭和六一）

〔尼崎のできごと〕

- 二月二五日 尼崎市は市制七〇周年を記念して制作した伊丹公子作詞、キタ・タロー作曲の市民の歌「あな尼崎市民家族」を発表した。
- 三月二三日 紙本着色浄光寺縁起図、長遠寺文書、本興寺鐘楼が尼崎市指定文化財に指定された。
- 四月一日 尼崎市は、平左衛門町の武庫川下流浄化センターの運転管理を兵庫県に返還した。
- 四月二六日 都市課題の解決と活性化に向けたイベント事業の実施や提言、調査・研究などを行なう財団法人あまがさき未来協会が、尼崎市の外郭団体として設立された。
- 四月二七日 尼崎市立青少年センターに新設されたこども科学ホールがオープンした。
- 七月一日 昭和三二丁目に新設された尼崎市防災センターが業務を開始した。
- 七月二七日 住民への損害賠償を命じる国道四三号線道路公害訴訟神戸地方裁判所判決が言い渡され、原告・被告（国及び阪神高速道路公団）とも同月中に大阪高等裁判所に控訴した。
- 八月一、二四日 尼崎市は、記念公園（スポーツセンター）を会場として、多彩な展示やイベントを行なう市制七〇周年記念・'86フェスティバルあまがさきを開催した。
- 八月三〇日 尼崎市の市制七〇周年記念事業・近松ナウの催しとして、中村扇雀主宰の近松座公演「雙生隅田川」がアルカイクホールで上演された。この後一月まで、近松関連の各種催しが開催された（これ以降毎年開催する近松ナウ事業の第一年目）。
- 一〇月一日 北城内から東大物町に新築移転した兵庫県立尼崎病院が開業した。
- 一〇月二〇日 尼崎市消防局が『尼崎消防のあゆみ郷土防災一〇〇年史』を刊行した。
- 一〇月 尼崎市は、四日の市制七〇周年記念式典と六、八日の市制七〇周年記念・国際シンポジウムあまがさき'86（あまがさき未来協会共催）を、いずれもアルカイクホールを会場として開催した。八日には作家司馬遼太郎が「尼崎今昔」と題して特別講演し、 دونالد・キーンや山崎正和をまじえたパネルディスカッションにも出席した。
- 十一月五日 外国人登録法にもとづく指紋捺捺を拒否する東園田町の喫茶店主が、同法違反容疑により逮捕された。
- 十一月一六日 尼崎市長選挙が行なわれ、現職の野草平十郎が三選された。
- 十二月二五日 あまがさき未来協会が調査研究誌『季刊 TOMORROW』を創刊した。

〔日本と世界のできごと〕

- 三月一日 ソ連共産党書記長にゴルバチョフ就任、以後、ペレストロイカ改革に着手
- 三月一七日 国際科学技術博覧会・科学万博つくば'85開幕、九月二六日まで開催
- 四月一日 日本電信電話公社民営化、日本電信電話株式会社・NTT設立
- 七月三日 米英でアフリカ飢饉救援ロックコンサート・ライブイベント開催
- 八月二日 日本航空一三三便墜落事故
- 九月二日 プラザ合意、米英仏日西独蔵相会議でドル高是正の協調介入を決定



尼の生揚醤油

〔日本と世界のできごと〕

- 一月二八日 スペースシャトル・チャレンジャー号爆発事故
- 二月 フィリピンでピープル・パワー革命、二五日アキノ大統領就任
- 四月一日 男女雇用機会均等法施行
- 四月二六日 ソ連・チェルノブイリ原発事故発生
- 十一月二五日 伊豆大島三原山噴火、二二日全島避難



尼崎市制70周年記念 '86フェスティバルあまがさき

一九八七年（昭和六二）

〔尼崎のできごと〕

- 一月三十一日 尼崎市は、公害健康被害補償法第一種地域のあり方に関する内閣総理大臣からの意見聴取について、地域指定全面解除は時期尚早とする意見書を国に提出した。
- 二月四日 尼崎市と産業界が工業地帯再生について意見交換する南部臨海工業懇話会が発足した。
- 三月三〇日 治田寺十一面観音菩薩立像と、尼崎市所蔵の尼崎城下風景図（附、尼崎城及び城下関係資料）が尼崎市指定文化財に指定された。
- 四月一日 尼崎市が全国に先駆けて導入した戸籍情報処理システムが稼働した。
- 四月二十六日 尼崎市議会議員選挙が実施された。
- 五月 尼崎市は高齢化社会に対応する施策実施のため高齢者対策室を設置した。
- 九月二七日 近松門左衛門を核とする文化事業推進のため、学識経験者からなる尼崎市近松懇話会が発足した。同懇話会は一月、劇場建設や近松の里整備を尼崎市長に提言した。
- 九月二七日 尼崎市が、尼崎市総合文化センター美術ホールにおいて寺町展を開催した。これ以降、一月にかけて、寺町講座や見学会など寺町について学ぶ企画を連続して実施した。
- 九月二八日 神戸製鋼所尼崎工場が高炉（旧第一高炉）を休止した。これにより元尼崎製鋼・尼崎製鉄の施設稼働が完全に終了し、一〇月には尼崎工場が廃止された。
- 九月 尼崎市は、『公害の現状と対策』と題して毎年刊行してきた公害・環境問題の白書を、この月に刊行する昭和六二年版から『尼崎の環境』と改題した。
- 十一月一日 韓国・朝鮮関係図書専門の私設図書館錦繍文庫が名神町に開設された。
- 十一月二〇日 尼崎市は、川崎市及びあまがさき未来協会との共催により、尼崎・川崎まちづくりシンポジウム第一回「都市の再生／まち・ひと・魅力」を尼崎市総合文化センターで開催した（これ以降平成元年まで年一回、尼崎市と川崎市で交互開催）。
- 十一月二四日 大阪湾圏域の広域の廃棄物を埋め立て、最終処分を行なう大阪湾フェニックス計画の尼崎沖工区の工事が開始された。
- 十一月 尼崎市が、コンピューター関連企業が集積を意図して西長洲本通三丁目（現西長洲町二丁目）に建設した尼崎テクノ工業団地が竣工した。

一九八八年（昭和六三）

〔尼崎のできごと〕

- 三月一日 公害健康被害補償法の一部を改正する法律等の施行により、この日をもって尼崎市を含む全国の公害健康被害第一種（大気系）地域の指定が解除され、第一種地域の公害病認定患者の新規の認定がでなくなった。
- 三月二三日 尼崎市が『尼崎市史』第一三巻を刊行し、市制五〇周年記念事業として昭和三十七年以来実施してきた編集事業が完結した。
- 三月二三日 尼崎市環境事業局が『尼崎市の清掃事業史』を刊行した。
- 三月 尼崎同和問題啓発促進協会が『尼崎部落解放史』本編を刊行した。
- 三月 尼崎市は尼崎市住環境整備基本計画（南部版）を策定した。
- 四月一日 尼崎市教育委員会は歴史博物館・図書館準備室を設け、北城内の兵庫県立尼崎病院跡への博物館・新図書館建設に向けた用地買収・資料収集などの準備事業を開始した。
- ニ崎交通事業振興協会を発展的に解消し、市営バス事業に付随する業務の委託などを引き継ぐニ崎交通事業振興株式会社が設立された。
- 鉄鋼短期大学が産業技術短期大学と改称した。
- 上坂部の伊佐具神社社号標石と、守部の素盞鳴神社おかげ踊り図絵馬が尼崎市指定文化財に指定された。
- 四月二五日 尼崎市スポーツ振興事業団運営のシティスポーツクラブ・尼崎ウッドイが開設された。
- 六月二三日 庄下川が、地域整備と一体となった河川改修により良好な水辺空間を形成する、ふるさとの川モデル河川事業の対象河川として建設省の指定を受けた。
- 七月二五日 新築された記念公園総合体育館が開館し、八月七日から一般利用を開始した。
- 八月一〇日 尼崎市社会福祉協議会大庄支部が『写真でつづる近代大庄のあゆみ』を刊行した。
- 一〇月一日 尼崎市水道局が『尼崎市水道七〇年史』を刊行した。
- 十一月二二日 尼崎競艇場の警備をめぐる市と尼崎西警察署の癒着について、兵庫県警は前警ら課長を懲戒免職処分とし、同月二二日には県警本部長ら三人に処分を下した。
- 十一月二六日 尼崎公害患者・家族の会が呼びかけて結成された公害被害者ら四八三人からなる原告団が、尼崎大気汚染公害訴訟を提訴した（第一次提訴）。

〔日本と世界のできごと〕

- 四月一日 日本国有鉄道分割民営化
- 五月三日 朝日新聞阪神支局襲撃事件
- 一〇月一九日 ブラック・マンデー、ニューヨーク株式市場大暴落
- 十一月二〇日 全日本民間労働組合連合会（連合）結成
- 十一月二九日 大韓航空機爆破事件



近松の里 平成2年頃撮影

〔日本と世界のできごと〕

- 二月 カルガリーオリンピック（冬季）
- 三月二三日 青函トンネル開通
- 四月一〇日 瀬戸大橋開通
- 四月一四日 アフガニスタン和平のジュネーブ合意調印、ソ連の撤退決定
- 八月二〇日 イラン・イラク戦争停戦
- 九一〇月 ソウルオリンピック（夏季）
- 十一月五日 パレスチナ解放機構・PLO、パレスチナ国家独立宣言
- 十一月二二日 リクルート事件、衆議院調査特別委員会にリクルート社前会長ら証人喚問



庄下川 平成二年頃撮影

一九八九年（昭和六四・平成元）

〔尼崎のできごと〕

- 一月 尼崎市は、建設省から、高度情報化社会に対応して情報通信基盤を整備するインテリジェント・シティの指定を受けた。
- 三月五日 民間の都市問題調査・研究団体として、尼崎市・自治体問題研究所が設立された。
- 三月三〇日 本興寺所蔵の海北友松筆押絵貼屏風が尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月 尾浜町一丁目に建設された尼崎テクノプラザ（尾浜中小企業共同工場）が竣工した。
- 尼崎競艇場の警備をめぐる市と尼崎西警察署の癒着について、市は警察関係施設整備代行や備品提供・過剰接待などを市議会に報告し、市長など二人の処分を行なった。
- 尼崎市営バスの車両更新により冷房化率が一〇〇%となった。
- 四月一日 尼崎市は公文書公開（情報公開）・個人情報保護制度の運用を開始した。
- 尼崎市は、下水道事業について地方公営企業法の財務規定等一部適用を開始し、同事業を特別会計から企業会計へと移行した。
- 四月 尼崎市は、公害健康被害第一種地域指定解除（昭和六三年）を受けて、市民の居住環境・生活環境及び健康状態に関する情報収集及び、大気汚染と特定呼吸器疾病の関係や疾病予防に関する調査研究を行なう尼崎市特定呼吸器疾病調査研究事業を開始した。
- 平左衛門町に新設された兵庫東流域下水汚泥広域処理場が稼動し、汚泥受入を開始した。
- 園田学園女子大学が近松研究所を開設した。
- 七月 寺町が尼崎市内初の都市美形成地域に指定された。
- 近松作品を学び親しみ、浄瑠璃の上演等を行なう市民団体・近松応援団が結成された。
- 一〇月二六日 上食満（現食満二丁目）に新築された複合施設 園田体育館・公民館が開館した。これにより従来の園田体育館が廃止され、公民館園田分館の施設は園田児童館となった。
- 一二月 尼崎市は、高齢化社会に対応するため、尼崎市長寿社会対策大綱を策定した。
- 尼崎市は、浜田川暗渠化工事への住民の反対を受け入れ、工事区域の縮小を決定した。
- 尼崎市は平成元〇五年度を計画期間とする産業振興第二次中期計画を策定した。
- この年 尼崎市は、あまがさきの身近な自然写真展第一回公募展を開催し、入選作品を掲載した「あまがさきの身近な自然」カレンダー初版（一九九〇年版）を作成・配布した。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月七日 昭和天皇崩御
- 一月八日 昭和から平成に改元
- 四月一日 消費税導入
- 六月四日 天安門事件、北京天安門広場で民主化を求める市民・学生を武力鎮圧
- 十一月一〇日 東欧民主化、ベルリンの壁崩壊
- 一月 日本労働組合総評議会（総評）解散
- 一月 日本労働組合総連合会（連合）結成
- 一月 全国労働組合総連合（全労連）結成



寺町 平成2年頃撮影

一九九〇年（平成二）

〔尼崎のできごと〕

- 一月 大阪湾フェニックス計画にもとづく、尼崎沖処分場への廃棄物・残土埋め立て工事が開始された。
- 二月 大高洲町の尼崎市立クリーンセンター第一工場第二機械炉が稼動を開始した。
- 三月一八日 神田北通のスーパー長崎屋尼崎店で、放火が疑われる火災により一五人が亡くなった。平成五年、神戸地方裁判所が元店長ら二人に業務上過失致死傷罪の有罪判決を下した。
- 三月 出屋敷駅北地区市街地再開発事業が二〇日完了し、地上二階地下二階に店舗・住宅・駐車場が入る再開発ビル・リベルが二一日オープンした。
- 四月 尼崎市は阪神尼崎駅周辺を都心として開発整備する都市拠点整備基本計画を策定した。
- 四月 尼崎市は平成二〇六年度を計画期間とする尼崎市地域保健医療計画を策定した。
- 四月 兵庫県立阪神看護学校の尼崎分校が、南城内の旧市立教育研究所施設に開校した。
- 四月 尼崎市は、四月一日付の推計人口が二五年ぶりに五〇万人を下回ったと発表した。
- 七月一日 尼崎市教育委員会は、北城内の兵庫県立尼崎病院跡に建設予定の博物館の資料収集のため、尼崎市歴史博物館資料取得基金を設け、資料の取得を開始した。
- 七月一日 上ノ島野上町（現上ノ島町三丁目）に尼崎市の北部防災センターが開設された。
- 七月二八日 大阪国際空港騒音対策協議会（尼崎市を含む周辺一市協）は、大阪空港存続の意見書を運輸省に提出した。
- 八月 北城内に新築移転し、尼崎市立図書館から改称した尼崎市立中央図書館の開館式が二〇日行なわれ、二一日から閲覧・貸出業務を開始した。
- 一〇月二二〜二四日 尼崎市が台本・キャストを全国公募した近松オペラ「岩長姫」が、アルカイックホールで上演された。
- 一〇月 尼崎市は、環境政策のマスタープランであるあまがさき快適環境プラン及び、尼崎市自動車公害防止計画を、いずれも二一世紀初頭までを目標期間として策定した。
- 十一月一日 尼崎市長選挙が行なわれ、六島誠之助（同名の戦後初代公選市長の長男）が初当選した。
- 十一月三三日 小田の歴史博物館実行委員会が「写真が語る小田の今昔郷土」を刊行した。
- この年 尼崎市は二一世紀初頭を目標年次とする尼崎市都市緑化推進基本計画を策定した。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一八日 本島等長崎市長狙撃事件
- 二月一日 南アフリカ黒人解放運動指導者ネルソン・マンデラ氏釈放
- 三月一日 ソ連大統領制導入、ゴルバチョフ大統領就任
- 四月一日 鶴見緑地で国際花と緑の博覧会（大阪花博）開幕、九月三〇日まで開催
- 七月六日 神戸高塚高校校門圧死事件
- 一〇月三日 東西ドイツ統一
- 十一月二日 天皇即位の礼



開館当時の尼崎市立中央図書館

一九九一年（平成三）

〔尼崎のできごと〕

- 三月二十九日 下坂部遺跡出土の重圏素文鏡が尼崎市指定文化財に指定された。
- 大阪市西淀川区の公害病認定患者らが国・阪神高速道路公団・関西電力など企業一〇社（うち尼崎市内所在企業六社）による大気汚染被害を訴えた西淀川公害訴訟（第一次提訴）について、大阪地方裁判所が国・公団の責任を認めず、被告企業に損害賠償を命じる第一審判決を下した（被告・原告ともに四月に大阪高等裁判所に控訴）。
- 三月三〇日 尼崎市指定文化財であった田能遺跡出土の銅剣鑄型片・白銅製釧・碧玉製管玉が、兵庫県指定重要文化財に指定された。
- 四月二二日 尼崎市議会議員選挙が実施された。
- 五月 南初島町に建設された尼崎コスモ工業団地の第一次分が竣工した。
- 六月一九日 尼崎市立尼崎高等学校を受験した筋ジストロフィー患者の少年が、障害を理由とする不合格を不当として、尼崎市と校長を相手取って神戸地方裁判所に提訴した。
- 一〇月一日 尼崎商工会議所、民間企業、尼崎市などが出資して設立したケーブルテレビ局・チャンネルウェーブあまがさがが開局し、本放送を開始した。
- それまで全土曜日午前中開庁していた尼崎市役所の業務が、一部の施設を除いて第二・第四土曜日は全日休みとなった。
- 一一月二二日 尼崎市は昭和六〇年に策定した総合基本計画を改訂し、新たに二〇二五年に向けてめざすべき都市像を示し、その第一段階として平成四〜三年度を計画期間とする総合基本計画「にぎわい・創生・あまがさが」を策定した。
- 一二月二日 阪神地域での旅券発給件数が増加したため、兵庫県旅券事務所尼崎出張所が塚口さんさんタウン内に開設された。

一九九二年（平成四）

〔尼崎のできごと〕

- 二月二〇日 国道四三号線道路公害訴訟について、大阪高等裁判所が生活被害に対する損害賠償を命じる控訴審判決を下した。被告の国・阪神高速道路公団が三月四日上告し、対抗して原告も同日に上告した。
- 三月二三日 尼崎市立尼崎高等学校を受験した筋ジストロフィー患者の少年が、障害を理由とする不合格を不当として尼崎市と校長を訴えた訴訟について、神戸地方裁判所が入学不許可処分取り消しと損害賠償を命じる判決を下した（被告が控訴せず判決確定）。
- 四月 南初島町に建設された尼崎コスモ工業団地の第二次分が竣工した。
- 六月一五日 尼崎商工会議所が『尼崎商工会議所八〇年史』を刊行した。
- 九月三〇日 尼崎市議会の保守系議員の不正出張が発覚し、問題化した。これ以後、全会派・全議員の不正出張が発覚し、尼崎市議会不正出張問題として紛糾した。
- 一二月二五日 国道四三号線道路公害訴訟原告をはじめとする申立人二一八人が、国と阪神高速道路公団を相手として、兵庫県公害審査会に公害紛争調停の申し立てを行なった。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一七日 湾岸戦争開始、多国籍軍イラク空爆
- 一月三三日 マイクロソフト・ウィンドウズ3.0日本語版発売リリース
- 四月二六日 海上自衛隊、湾岸戦争の機雷掃海に出発、自衛隊初の海外派遣任務
- 五月一四日 信楽高原鐵道列車衝突事故
- 六月三日 長崎県雲仙普賢岳で大火砕流発生
- 六月二五日 スロベニア・クロアチア、ユーゴスラビア連邦からの独立を宣言、以後紛争
- 一二月二五日 ソ連崩壊、ゴルバチョフ大統領辞任
- この年 バブル経済が終息に向かう



チャンネルウェーブあまがさが開局ポスター

〔日本と世界のできごと〕

- 二月 アルベルビルオリンピック（冬季）
- 三月一四日 東海道新幹線のぞみ運行開始
- 四月二九日 ロサンゼルスで大規模な黒人暴動発生
- 四月 ポスニア・ヘルツェゴビナ紛争開始
- 六月一五日 国際平和協力法（PKO協力法）成立
- 六月 リオ・デ・ジャネイロで国際連合環境開発会議（地球サミット）開催
- 七〜八月 バルセロナオリンピック（夏季）



総合基本計画「にぎわい・創生・あまがさが」

一九九三年（平成五）

〔尼崎のできごと〕

- 一月一八日 尼崎市の市の木・市の花選定委員会は、ハナミズキを市の木に、ヘゴニアを市の草花に選定した。
 - 二月二六日 尼崎市所蔵の摂津職河辺郡猪名所地図が尼崎市指定文化財に指定された。
 - 三月一日 尼崎市教育委員会が昭和四四年度以降を記録する『続尼崎市戦後教育史』を刊行した。
 - 三月二二日 尼崎市が先端産業育成の拠点づくりとして進めるリサーチコア計画の中核施設として、尼崎リサーチ・インキュベーションセンターが道意町七丁目に竣工した。
 - 四月一日 市内企業日東鍍金経営者であった故・澤水守雄氏の遺志による尼崎市への寄付金を基金として、市内家庭出身大学院生を対象とする奨学金制度・尼崎市澤水育英事業が発足した。
 - 四月 尼崎市は、男女共同参画社会の実現に向けて市が取り組む平成五〜二三年度の女性施策の指針として、尼崎市女性行動計画を策定した。
 - 五月 武庫之荘八丁目に新設された武庫公民館が二二日に開館し、一八日から供用を開始した。
 - 五月二五日 不正出張問題により尼崎市議会が自主解散した。
 - 六月一日 尼崎市の情報公開制度が改正され、平成元年以降の市議会の文書も公開対象となった。
 - 六月二七日 尼崎市議会の出直し選挙が実施され、定数五二に対して八九人が立候補し、前職二五人のうち一七人、新人三四人、元職一人が当選した。
 - 六月 尼崎市役所が完全週休二日制を開始し、全土曜日閉庁となった。
 - 七月 阪神水道企業団猪名川浄水場が、淀川水系初の高度浄水処理水供給を開始した。
 - 九月四日 連合尼崎（日本労働組合総連合会尼崎地域協議会）が結成された。この結果総評尼崎地方評議会が同月二四日解散し、替わって尼崎地区労働組合人権平和センターが発足した。
 - 一一月四日 ホテルニューアルカイクが昭和通二丁目に開業した。
 - 一一月一〇日 尼崎市総合文化センターのアルカイクホール・オクトが昭和通二丁目に開館した。
 - 一二月一日 尼崎市と尼崎市医師会が共同出資して設立した尼崎健康・医療事業財団が運営する市民健康開発センター・ハーティ21が、南塚口町四丁目に開設された。
- この年 尼崎市は、財団法人都市緑化基金等主催第一三回緑の都市賞の最優秀賞となる内閣総理大臣賞を受賞した。

一九九四年（平成六）

〔尼崎のできごと〕

- 一月六日 中小企業を技術支援する高度加工技術研究所が道意町七丁目のリサーチコアに開設された。
- 二月 尼崎市は、新たな視点と発想から行政サービスを見直し、真に必要な市民福祉向上施策に取り組む活性型行政改革の計画として、尼崎市行政改革基本計画を策定した。
- 三月一七日 尼崎市産業問題審議会は、二一世紀初頭までを展望する、新たな尼崎産業の長期振興ビジョンを尼崎市長に答申した。
- 三月二八日 東大島宝樹院所蔵の豊臣秀吉木像菊桐紋袴絵厨子と桑山重晴木像黒漆厨子が、尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月 尼崎市は高齢化社会に対応して総合的サービス提供体制を整備するため、平成六〜二二年度を計画期間とする高齢者保健福祉計画を策定した。
- 三月 尼崎市は、住宅居住水準の向上をはかるため、尼崎市住宅政策基本方針を策定した。
- 三月 住宅・都市整備公団によるJR尼崎駅北第一地区市街地再開発事業が二五日完了し、再開発ビル・アミング湖江イーストが二八日オープンした。
- 四月二日 阪神高速道路五号湾岸線が大阪府下から神戸市六甲アイランドまで開通した。
- 五月一八日 全日本労働総同盟傘下の尼崎地区同盟が、平成五年九月の連合尼崎（日本労働組合総連合会尼崎地域協議会）発足を受けて解散した。
- 六月 尼崎市は、国際化の進展に対応するため、尼崎市国際化基本方針を策定した。
- 七月二三日 尼崎市による近松の里周辺の道路修景整備が、建設省の手づくり郷土賞を受賞した。
- 八月 一日と二日の二日間、尼崎市総合文化センター周辺で庄下川水まつりが開催された。
- 八月三〇日 尼崎市は、従来の尼崎市公害対策審議会にかえて、尼崎市環境審議会を設置した。
- 一〇月二〇日 尼崎市主催の講座『「尼崎市史」を読む会』の第一回例会が市立中央図書館で開催された。
- 一一月一〇日 本庁地域写真集刊行実行委員会が『ふるさと「尼崎」のあゆみー写真が語るあまがさきー』を刊行した。
- 一一月二〇日 尼崎市長選挙が行なわれ、元市収入役の宮田良雄が初当選した。
- 一二月一四日 尼崎コスモ工業団地（南初島町）入居企業九社が、賃賃料が不当に高額であるとして尼崎市を提訴した。のちに市が反訴し、第一審・控訴審を経て市の勝訴が確定した。

〔日本と世界のできごと〕

- 四月八日 カンボジア総選挙監視活動中の国連ボランティア日本人青年射殺事件
- 五月四日 国連カンボジア暫定統治機構の日本人警察官五人が襲撃され死傷、一人殉職
- 七月二二日 北海道南西沖地震（奥尻島地震）
- 八月九日 細川連立内閣発足、昭和三〇年自由民主党結党以来初の非自民政権
- 九月一三日 イスラエルとパレスティナ解放機構がパレスティナ暫定自治協定最終調印
- 一〇月二八日 ドーハの悲劇、サッカー日本代表イラク戦を引き分け、W杯初出場を逃す
- 一一月一日 欧州連合・EU発足

尼崎市の木 ハナミズキ

尼崎市の草花 ヘゴニア



（いずれも尼崎緑化公園協会提供写真）

〔日本と世界のできごと〕

- 二月四日 初の純国産衛星打上げロケットH-II打上げ成功
- 二月 リレハンメルオリンピック（冬季）
- 四〜七月 ルワンダ虐殺事件
- 六月三〇日 自由民主党・日本社会党・新党さきがけ連立内閣発足
- 七月 青森市・三内丸山遺跡で縄文時代の大型掘立柱建物跡発見
- 九月四日 関西国際空港開港



庄下川水まつり 平成6年8月1日撮影

一九九五年（平成七）

〔尼崎のできごと〕

- 一月一七日 阪神・淡路大震災発生。推定震度六の尼崎市域では死者四九人（後日の関連死を含む）、負傷者七、一四五人（重傷一、〇〇九人、軽傷六、二六八人）、全壊五、六八八棟一万一、〇三四世帯、半壊三万六、〇〇二棟五万一、五四〇世帯の被害があった。
- 一月一八日 大阪府災害備蓄センターから尼崎市に毛布が到着。その後も全国各地から救援物資が到着した。阪神本線甲子園以東、JR神戸線尼崎以東、同宝塚線尼崎一塚口間、阪急神戸線西宮北口以東の運行が再開された。
- 一月一九日 自衛隊の給水車が到着し、市域北部断水地域への給水を開始した（二七日まで給水実施）。JR神戸線尼崎一甲子園間間の運行が再開された。
- 一月二〇日 中島川漏水について、尼崎市長が直接兵庫県庁におもむき、県知事に対策を要請した（県の緊急工事により二月四日漏水停止）。
- 一月二二日 JR宝塚線塚口一宝塚間の運行が再開された。
- 一月二三日 尼崎市は全市域を対象とする本格的な阪神・淡路大震災被害状況調査を開始した。
- 一月二五日 尼崎市は共同・長屋住宅の応急危険度判定調査を開始した（二月一五日まで実施）。
- 二月三日 尼崎市は市長を本部長とする災害復興本部を設置した。
- 二月五日 金楽寺町二丁目に住宅復旧ボランティアセンターが開設された。全国からボランティアが集まり、平成八年三月末までに約一、六〇〇件の住宅補修を実施した。
- 二月一三日 尼崎市内の応急仮設住宅への被災者入居が開始された（小田南公園B仮設住宅、一〇〇戸）。
- 二月二〇日 被災史料保全活動を行なう歴史学会の情報センター・歴史資料保全情報ネットワークが尼崎市立地域研究史料館内に開設された（六月九日神戸大学文学部内に移転）。
- 二月二〇日 尼崎市議会は災害復興促進特別委員会を開催した。
- 二月二六日 地区全体に液化化被害があった築地地区の住民らが築地地区復興委員会を結成した。
- 二月二日 尼崎市は第一次義援金、兵庫県援護金の交付を開始した。
- 二月二日 大阪高等裁判所で係争中の西淀川公害訴訟について、尼崎市内企業を含む被告企業と原告の間に解決金支払いなどを条件とする和解が成立した。
- 三月五日 尼崎市は、道意町七丁目の尼崎リサーチ・インキュベーションセンターを会場として、震災



常松2丁目 1月23日撮影



食満6丁目 新幹線崩落現場
1月17日撮影

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一七日 阪神・淡路大震災発生 震源地・淡路島北部 マグニチュード（Mj）七・三 被災地の最大震度七 被災地全域の死者・行方不明六、四三七人（後日の関連死含む）、負傷者四万三、七九二人

四月一日

犠牲者合同慰霊祭を開催した。同日、神戸・宝塚でも合同慰霊祭が開催された。

四月二七日

神戸芸術工科大学（神戸市西区）から尼崎市立地域研究史料館内に移転した。

四月

リサーチコア計画のひとつとして誘致された日本分析化学専門学校兵庫校が道意町七丁目に開校した（平成一〇年に国際環境専門学校、平成二〇年に環境学園専門学校と改称）。

五月八日

尼崎市議会は不正出張問題について、神戸地検は当時の議員全員の不起訴処分を発表した。

六月三〇日

尼崎市は震災復興基本計画を具体化する震災復興計画を策定した。

七月五日

大阪地方裁判所は、西淀川公害訴訟第二、四次訴訟について、国と阪神高速道路公団に損害賠償を命じる判決を下した（八月二日、国・公団が第二・三次提訴分を控訴）。

七月七日

最高裁判所は、国道四三号線道路公害訴訟について、国と阪神高速道路公団の責任を認める大阪高等裁判所控訴審判決を支持し、原告・被告双方の上告を棄却した。

七月

兵庫県は阪神・淡路震災復興計画を策定した。

八月七日

尼崎市は、アルカイックホール・オクト及び周辺で、震災復興市民のつどいを開催した。

八月八日

築地地区が、被災市街地復興特別措置法の定める阪神・淡路大震災の被災市街地復興推進地域に指定された。

八月

尼崎市は平成七、一三年度を計画期間とする産業振興中期計画を策定した。

九月

尼崎市は平成八、一〇年度を計画期間とする行政改革第一次推進計画を策定した。

一〇月三日

尼崎市は災害復興公営住宅（大物団地、友行西カイチ団地）建設工事を着工した。

一〇月一八日

築地地区復興委員会は、築地地区復興まちづくり案を尼崎市長に提出した。

一一月一日

尼崎市は二〇一六年を目標年次とする長期計画として、国道四三号以南の臨海部開発整備指針・尼崎臨海地域整備基本計画を策定した。

一一月

尼崎市がJR西日本と協定を結んで平成四年一月以来進めてきたJR尼崎駅橋上化工事がほぼ完成し、徒歩や自転車による駅南北の往来が大幅に改善された。

一二月四日

家庭から出るびん・缶、大型ごみ、金属製小型ごみを専門に処理する施設として、東海岸町に新設された尼崎市立資源リサイクルセンターが運転を開始した。

この年

尼崎大気汚染公害訴訟の第二次提訴が行なわれた。



上 避難所（市立武庫北小学校体育館）
2月14日撮影
左上 本庁地区会館での炊き出しボランティア
2月撮影
左下 復興計画について話し合う築地地区復興委員会のみなさん 平成8年9月撮影

〔日本と世界のできごと〕（続き）

- 三月二〇日 地下鉄サリン事件
- 三月三〇日 警察庁長官狙撃事件
- 七月 女性のためのアジア平和国民基金設置
- 一二月八日 福井県敦賀市の高速増殖炉もんじゅナトリウム漏れ事故

一九九六年（平成八）

〔尼崎のできごと〕

- 一月一七日 阪神・淡路大震災一周年のこの日、尼崎市は震災対策特別防災訓練・阪神地域広域防災訓練を実施した。
- 二月 尼崎市は、バブル経済崩壊と阪神・淡路大震災を機に深刻化した市財政の再建を図るため、平成八〜二年度を計画期間とする財政計画を策定した。
- 三月二日 中央・三和・出屋敷商業地区の整備事業推進母体として、地元商業団体関係者らが尼崎中央・三和・出屋敷まちづくり株式会社を設立した。
- 三月二五日 尼崎市所蔵の中世文書「杭瀬庄雑掌申状案が尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月三一日 尼崎市が『尼崎地域史事典』を刊行した。
- 四月六日 青少年の野外活動施設として尼崎市が兵庫県美方郡美方町（現香美町小代区）の鉢伏山山腹に建設した尼崎市立美方高原自然の家（愛称とちのき村）がオープンした。
- 八月三一日 JR尼崎駅北側のキリンビール尼崎工場が七八年にわたる操業を終了した。
- 九月七〜 二二日 尼崎市教育委員会が、市制八〇周年記念収蔵資料展「発見・わたしのまちの歴史」を尼崎市総合文化センター美術ホールで開催した（平成二三年まで展示会を定例開催）。
- 一〇月八日 市制記念日のこの日、尼崎市はアルカイクホール等で市制八〇周年記念式典を開催した。
- 一〇月二六日 尼崎市のコミュニティ放送局・エフエムあまがさき（FM a i）が開局した。
- 一〇月二八日 国道四三号線道路公害訴訟について、平成四年の大阪高等裁判所控訴審判決が認められた期間以降の損害賠償を求める第二次訴訟が神戸地方裁判所に提訴された。
- 一〇月 尼崎市は、障害者基本法にもとづき、障害者が自立して多様な分野に参加できる社会をめざす尼崎市障害者福祉新長期計画を、平成八〜一三年度を計画期間として策定した。
- 一一月二四日 阪神間初のフルマラソンとして、尼崎シティ国際マラソンが実施された（前年までは尼崎シティ国際ハーフマラソン）。
- 一二月九日 尼崎市は、平成四年の環境と開発に関する国連会議（地球サミット）において参加国が合意した行動計画・アジエンダ21が求める地方公共団体の行動計画として、市民・事業者と協力して地球環境問題に取り組みことを定めた、地球環境を守るわたしたちの行動計画（ローカルアジエンダ21あまがさき）を策定した。

一九九七年（平成九）

〔尼崎のできごと〕

- 二月六日 尼崎市教育委員会は、平成八年の武庫庄遺跡第三六次調査により出土したヒノキ材柱根が、年輪年代測定法により紀元前一八八八頃伐採された可能性が高く、近畿地方で発見された大型建物跡として最古であり、同時に弥生時代中期の実年代が紀元前一五〇年頃までさかのぼる可能性が出てきたと発表した（のちにこの柱根の伐採年代はさらにさかのぼり紀元前二四五年頃と考えられること、弥生中期の実年代もさらにさかのぼる可能性があることが判明した）。
- 三月八日 JR東西線尼崎―京橋間が開通し、JR尼崎駅にすべての新快速・快速電車が停車することになった。
- 三月二四日 長遠寺所蔵の紙本着色日蓮大聖人註画が尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月三一日 尼崎市の下水道普及率（管網整備率）が、ほぼ一〇〇%を達成した（その後、平成一一年度末に下水道人口普及率がほぼ一〇〇%となった）。
- 五月 私立園田学園小学校の廃止が認可された。
- 六月八日 尼崎市は二〇一七年を目標年次とする尼崎市都市計画マスタープランを策定した。
- 七月二日 不正出張問題による解散・出直し選挙後初の尼崎市議会議員選挙が実施された。定数四八に対して七八人が立候補し、前回初当選議員の約半数が落選した。
- 七月二二日 尼崎市内の阪神・淡路大震災被災者仮設住宅に入居する七四歳の女性が、公営住宅抽選落選を苦に尼崎市役所屋上で自殺する事件が起こった。
- 一一月八日 竹谷町の尼崎市議会議長宅に銃弾四発が撃ち込まれる事件が起こった。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一日 スペースシャトル・エンデバー打上げ、若田光一飛行士日本人として初搭乗
- 一月一七日 阪神・淡路大震災一周年、被災地各地で追悼の催し開催
- 二月一六日 薬害エイズ事件、菅直人厚生大臣が被害者に謝罪
- 七〜八月 アトランタオリンピック（夏季）
- 九月二八日 民主党結成
- 一一月一七日 在ペルー日本大使公邸占拠事件発生



10月17日と18日の2日間、尼崎市制80周年記念事業のひとつとして、大相撲尼崎場所が記念公園総合体育館で催された。

〔日本と世界のできごと〕

- 四月一日 消費税、三%から五%に増税
- 五月二七日 神戸連続児童殺傷事件、須磨区の中学校正門に放置された男児の頭部発見
- 七月四日 米火星探査機が火星に着陸
- 七月 アジア通貨危機が始まる
- 九月二三日 日米両政府、新しい「日米防衛協力のための指針」（新ガイドライン）合意
- 一一月一七日 エジプト・ルクソールでイスラム過激派が観光客無差別銃撃
- 一一月二一日 温暖化防止京都会議、京都議定書採択



武庫庄遺跡から出土した柱根

一九九八年（平成一〇）

〔尼崎のできごと〕

- 一月二日 兵庫県住宅供給公社によるJR尼崎駅前地区市街地再開発事業が完了した。
- 一月一七日 尼崎市が『阪神・淡路大震災 尼崎市の記録』を刊行した。
- 一月二二日 尼崎市内の震災被災者仮設住宅で、男性が介護疲れから父親を絞殺する事件が起こった。
- 一月 尼崎市立尼崎高等学校と市立城内小学校の改築工事が終わり、阪神・淡路大震災により被災した市内九七中学校園の補修・補強・改築工事が完了した。
- 三月四日 国道四三号線道路公害訴訟第二次訴訟についての神戸地方裁判所の和解勧告にもとづき、原告及び兵庫県公害審査会への公害紛争調停申立人全員について和解が成立した。
- 三月二六日 櫻井神社所蔵浅葱糸威二枚胴具足（附 櫻井神社所蔵資料）が、尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月三〇日 尼崎市消防局が『尼崎消防のあゆみ―自治体消防五〇周年記念―』を刊行した。
- 三月三二日 阪神・淡路大震災により被災した市内文化財のうち、国・県指定重要文化財である本興寺方丈・開山堂、長遠寺本堂・多宝塔・客殿・庫裏・鐘楼の保存修理が完了した。
- 三月 尼崎市は平成一〇～一三年度を計画期間とする地域保健医療計画を策定した。
- 四月一日 潮江二丁目の再開発ビル、ラ・ヴェール尼崎内に新設された小田公民館が開館した。
- 四月四日 尼崎市営バスがアイドリングストップ機能を持つノンステップバスの運行を開始した。
- 四月一〇日 市民の震災ボランティア活動を記録する『市民版尼崎の震災記録』が刊行された。
- 七月一日 兵庫県が整備した北堀運河沿いの北堀であい橋を含む遊歩道の供用が開始された。
- 尼崎市神崎浄水場がオゾン処理と活性炭処理を加えた高度浄水施設を建設し、通水を開始した。
- 七月二六日 第一一九回直木賞を、作家・車谷長吉の尼崎を舞台とする作品『赤目四十八瀧心中未遂』が受賞したことが発表された。
- 七月 尼崎市はキリンビール尼崎工場跡地のおまがさき緑遊新都心整備基本計画を策定した。
- 八月二二・二三日 阪神尼崎駅北側の中央公園と立体遊歩道が完成し、二日間にあわせてオープンニングフェスティバルが開催された。
- 一〇月 二二日・二三日の二日間、第一五回日本女性会議98おまがさきが開催された。
- 十一月二五日 尼崎市長選挙が行なわれ、現職の宮田良雄が再選された。



完成した阪神尼崎駅北側中央公園・立体遊歩道

〔日本と世界のできごと〕

- 二月二日 郵便番号七桁化
- 二月七日 長野オリンピック（冬季）開幕、二二日まで開催され、日本選手団は金五・銀一・銅四と史上最多のメダル数獲得
- 三月六日 奈良県明日香村キトラ古墳で東アジア最古の天体図など発見
- 四月五日 明石海峡大橋開通
- 七月二五日 和歌山毒物カレー事件
- 十一月一日 特定非営利活動促進法・NPO法施行

一九九九年（平成一一）

〔尼崎のできごと〕

- 一月二日 大阪〇六地域の電話市内局番が四桁化され、尼崎市域の市内局番も四桁となった。
- 一月一八日 尼崎信用金庫は阪神タイガースのリーグ優勝・準優勝時に利率をアップする預金・強虎元年を発売し、三月末までに三三〇億円を売り上げる大ヒット商品となった。
- 二月一七日 尼崎大気汚染公害訴訟において原告と被告企業九社の和解が成立した。
- 二月 尼崎市は平成一一・一二年度を計画年度とする尼崎市行政改革推進計画を策定した。
- 三月一九日 阪神・淡路大震災被災者のための応急仮設住宅が完全に解消された。
- 三月二〇日 尼崎市は国の財源により一定要件の国民に交付する地域振興券（商品券）の交付を開始した。
- 三月二三日 白衣観音寺の毘沙門天立像が尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月 尼崎市は、子どもの成長と子育てを支える社会の仕組みづくりの指針として、エンゼルプランおまがさき（尼崎市児童育成計画）を策定した。
- 四月一日 尼崎市交通局『市民とともに歩み続けて：五〇年 尼崎市交通局五〇周年記念誌』刊行。
- 四月二六日 尼崎市公式ホームページがスタートした。
- 四月 尼崎市は二〇一八年を目標年次とする緑の基本計画を策定した。
- 四月二〇日 市内の商業団体などがつくる阪神地域商業事業協同組合が、尼崎市の支援を受けて発行する尼崎市内限定商品券（同年二月二〇日まで使用可能）の販売を開始した。
- 六月 尼崎市は、中心市街地活性化法にもとづいて、空洞化が進む阪神尼崎駅周辺地域の活性化を支援する尼崎市中心市街地活性化基本計画を策定した。
- 八月一八日 八月一七日に発生したトルコ共和国西部地震での救出活動のため、尼崎市消防局は国際消防救助隊に二名の救助隊員を派遣した。
- 九月一九日 尼崎公害患者・家族の会が尼崎大気汚染公害訴訟の和解金の一部を活用して、患者のケアや町の再生を図る拠点、尼崎ひとまち・赤とんぼセンターを大物町二丁目に開設した。
- 十一月 都市基盤整備公団のJR尼崎駅北第二地区市街地再開発事業が一八日終了し、JR尼崎駅北地区再開発事業が完了した。二日には地区内の住宅、商業施設アミューズ潮江がグランドオープンし、キリングループ運営のホテル・ホップインアミューズが開業した。

〔日本と世界のできごと〕

- 三月三日 日本銀行、ゼロ金利政策実施
- 三月二四日 コソボ紛争、NATOユーゴ空爆開始
- 四月二〇日 米コロンバイン高校銃乱射事件
- 五月二四日 周辺事態法等の日米新ガイドライン閣連法案、参議院で可決成立
- 八月二三日 国旗及び国歌に関する法律公布・施行
- 九月二二日 台湾大地震
- 九月三〇日 東海村JCO臨界事故
- 一〇月二六日 桶川ストーカー殺人事件
- 十一月二二日 世界各地でミレニアム・カウントダウンイベント

初代尼崎市公式ホームページ（部分）



二〇〇〇年(平成一二)

(尼崎のできごと)

- 一月三十一日 尼崎大気汚染公害訴訟において、神戸地方裁判所は道路使用と健康被害の因果関係を認め、排気ガス被害を及ぼす道路供用の差し止めを初めて認定する判決を下した。
- 二月三十一日 長洲天満神社絵馬(附、奉納者名木札一枚)が尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月二十五日 尼崎市は、市立労働福祉会館を会場として、まちづくり活動に取り組む市民団体が発表・交流するあまがさき市民フォーラムあなたも「わたしのまちづくり」を開催した。
- 三月三十一日 尼崎市は、利用者数等の減少から一定の役割を終えたとして、健康回復施設・尼崎市立いぶきの家を廃止した。
- 三月 尼崎市は平成二二〜二六年度を計画期間とする高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定した(以後、数年ごとに改訂)。
- 大高洲町の尼崎市立クリーンセンター第一工場第二機械炉が増設され稼働を開始した。
- 元浜町と道意町にまたがる元浜緑地の整備が、三月末をもって完了した。
- 四月一日 尼崎・西宮・伊丹のケーブルテレビ局が合併し、阪神シティケーブルとして発足した。
- 四月二日 立花南第二地区市街地再開発(五月三〇日完了)の再開発ビル・フェスタ立花がオープンした。
- 四月 国の介護保険制度がスタートし、尼崎市も介護保険課が所管して事務を開始した。
- 尼崎市は平成二二〜二六年度を計画期間とする尼崎市男女共同参画プランを策定した。
- 尼崎市立尼崎高等学校に体育科が新設された。
- 五月二十五日 尼崎市は、市政について職員が出向き解説する市政出前講座事業を開始した。
- 七月 阪神水道企業団の全浄水場が高度浄水処理の通水を開始したことにより、市内全域に高度処理水が供給されることになった。
- 八月一〇日 尼崎市は環境方針を定め、環境マネジメントシステムの運用を開始した。九月二十八日には市役所本庁舎が県下市町として初の環境国際規格ISO14001を取得した。
- 九月七日 庄下川が、全国の甦る水百選のひとつに選定された(建設省等の近代水道制度百年記念行事の一環)。
- ニ崎大気汚染公害訴訟について、原告と国・阪神高速道路公団の和解が成立した。
- ニ崎市は平成二二〜二六年度を計画期間とする尼崎市第二次基本計画・第一次財政計画・第一次行財政改善計画を策定した(基本計画はのちに計画期間を二年延長)。



平成12年3月25日に尼崎市立労働福祉会館で開催された「あまがさき市民フォーラムあなたも「わたしのまちづくり」」

(日本と世界のできごと)

- 三月一八日 ジャパンフロア二〇〇〇(淡路花博)開幕、九月一七日まで開催
- 四月一日 地方分権一括法・介護保険法施行
- 七月一九日 沖縄サミットを記念して二千円札発行
- 九月二日 三宅島火山噴火のため全島避難開始
- 九月一日 一二日にかけて名古屋周辺で東海豪雨
- 九〜一〇月 シドニーオリンピック(夏季)
- 一〇月六日 鳥取県西部地震
- 一一月五日 旧石器捏造事件発覚
- 一二月一日 NHK及び民間キー局、BSデジタル放送開始

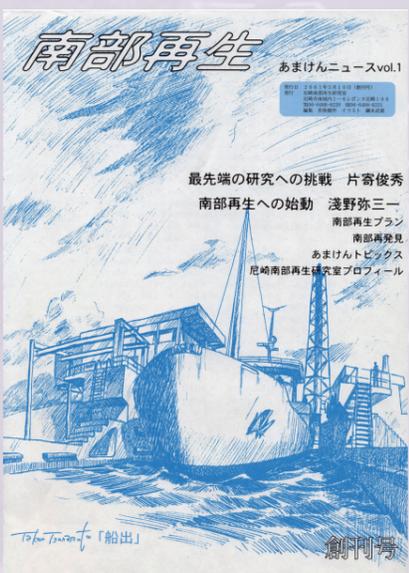
二〇〇一年(平成二三)

(尼崎のできごと)

- 二月二十四日 新人お笑い尼崎大賞第一回の本選会が、エフエムあまがさきの主催により開催された。
- 三月二日 尼崎市議会は、尼崎市第二次基本計画等にもとづき市が提出した一般会計新年度予算案を否決した。市は暫定予算を組んだうえで修正提案し、五月二日に可決された。
- 三月三日 尼崎南部再生研究室が南城内に開設された。五月一〇日地域情報紙『南部再生』創刊。
- 三月三〇日 尼崎市指定文化財であった尼崎市所蔵の摂津職河辺郡猪名所地図が兵庫県指定重要文化財に指定された。
- 三月 尼崎市は平成二三〜二六年度を計画期間とする尼崎市住宅マスタープランを策定した。
- 四月一日 尼崎市水道局は、兵庫県営水道の受水を開始した。
- 四月二日 中央支所が尼崎市役所本庁舎内から東灘波町に移転した。
- 四月 尼崎市は、東部第二浄化センターを東部第一浄化センターに統廃合した。これによる効率化改善が評価され、六月二十八日、全日本建設技術協会の全建賞を受賞した。
- 四月 道意町のリサーチコアに、ものづくり支援センターが完成した。
- 六月一日 尼崎信用金庫が創業八〇周年記念事業として尼信会館(尼信博物館)を開設した。
- 六月一七日 小一男児遺体が尼崎運河で見えられ、翌四日、虐待・死体遺棄容疑で両親が逮捕された。
- 八月三十一日 近松のまち・あまがさきボランティア・ガイドが発足した。
- 九月三日 尼崎大気汚染公害訴訟の和解条項にもとづき、利用料金調整により阪神高速道路神戸線から湾岸線に貨物車などを誘導する環境ロードプライシングの試行が始まった。
- 一一月二日 尼崎市は現代演劇の戯曲を公募・選考する近松賞の第一回優秀作品二作品を表彰した。
- 一二月二五日 関西電力尼崎第三及び尼崎東火力発電所が廃止され、市内の火力発電所が全廃された。
- 一二月 尼崎市は、行財政改革の一環として実施する事務事業評価の第一回として、人件費などフルコストと事業成果を公表する平成二二年度事業別決算評価書を作成・公表した。
- 平成一四年三月末の同和对策事業特別措置法失効を前に、尼崎市同和对策審議会が、同和問題の解決に向けた施策の今後のあり方を尼崎市長に答申した。

(日本と世界のできごと)

- 一月一日 二一世紀最初の日
- 一月六日 中央省庁再編、一府二省庁となる
- 三月二四日 芸予地震
- 三月三十一日 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、大阪市此花区にオープン
- 六月八日 大教大附属池田小無差別児童殺傷事件
- 七月二日 明石歩道橋圧死事件
- 九月四日 東京デイズニーシー、オープン
- 九月一日 アメリカ同時多発テロ事件
- 一〇月七日 アフガニスタン紛争、米英等の有志連合空爆開始



『南部再生』創刊号

二〇〇二年（平成一四）

〔尼崎のできごと〕

- 一月二六日 富松城跡を活かすまちづくり委員会が結成され、六月八日にまちづくりシンポジウム、一月二八日～二月一日には見直そう尼崎の宝・中世の富松城展を開催した。
- 一月 尼崎市教育委員会は、平成一六～二五年度を実施期間とし、学校の統廃合及び通学区域の変更を行なう尼崎市立小・中学校適正規模・適正配置推進計画を策定した。
- 三月一九日 尼崎市を含む一九市一町が構成する兵庫県市町競輪事務組合が運営する西宮・甲子園競輪が廃止されることになり、最終レースが甲子園競輪場で開催された。
- 三月二九日 大覚寺弁財天堂（附、弁財天社・棟・棟札一枚）が尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月三一日 尼崎市教育委員会が『尼崎市立公民館五〇年史』地域と共に育って』を刊行した。
- 三月 兵庫県は、尼崎市の臨海地域（国道四三号以南の約千ヘクタール）において、緑豊かな環境共生型まちづくりを尼崎市と共同して進める尼崎二二世紀の森構想を策定した。
- 尼崎市は、園田地区の猪名川・藻川地域の自然や歴史・文化を守り活かす自然と文化の森構想を策定した。五月二六日には推進市民団体として自然と文化の森協会が設立された。
- 四月九日 尼崎市指定文化財であった長洲天満神社本殿が、棟札一枚とともに兵庫県指定重要文化財に指定された。
- 四月 尼崎市は家庭ごみ収集用指定袋制度及び大型ごみ収集有料化を開始した。
- 五月二八・二九日 第四回中小企業都市サミットが、アルカイックホール・オクトとホテルニューアルカイックを会場として開催された。
- 六月一〇日 阪神尼崎駅周辺の尼崎市中心市街地活性化基本計画の実施団体として、中央・三和・出屋敷まちづくり株式会社を母体とする株式会社ティー・エム・オーニ崎が認定された。
- 七月 社団法人尼崎同和問題啓発促進協会が社団法人尼崎人権啓発協会と改称した。
- 八月二五日 尼崎ひと・まち・赤とんぼセンターが『尼いもの本』第一巻絶滅編を刊行した。
- 一〇月一五日 和解が成立した尼崎大気汚染公害訴訟の原告団が、和解条項の大型車交通規制履行を求めて公害等調整委員会（総務省所管）に対する申し立てを行なった。
- 十一月一七日 尼崎市長選挙が行なわれ、元市議の白井文が、この時点の国内史上最年少の女性市長として初当選した。
- 十二月一〇日 阪神尼崎駅東地区市街地再開発事業が完了した。

二〇〇三年（平成一五）

〔尼崎のできごと〕

- 一月二七日 尼崎市経営再建プログラム案について、市長と市民が意見交換するあまがさきタウンミーティング第一回が市立労働福祉会館で開催され、二月七日まで市内六か所で開催された。
- 一月 尼崎市教育委員会が『尼崎市戦前教育史』をCD-ROM版として刊行した。
- 二月 尼崎市は平成一五～一九年度を計画期間とする尼崎市経営再建プログラムを策定した。
- 三月二四日 尼崎市は二〇二五年を目標年次とする尼崎市環境基本計画を策定した。
- 三月二五日 尼崎市指定文化財であった本興寺鐘楼が兵庫県指定重要文化財に指定された。
- 三月二七日 尼崎市議会は市長公約のガラス張り市長室設置費を削除した新年度予算案を可決した。
- 三月二八日 東難波の難波八幡神社本殿（附、高欄擬宝珠二点）と如来院本堂・表門（附、棟札一枚、箱入）が尼崎市指定文化財に指定された。
- 四月一日 兵庫県立武庫工業高等学校と県立武庫荘高等学校を統合して、新たに県立武庫荘総合高等学校が武庫工業高等学校校地（武庫之荘八丁目）に設置された。
- 四月 尼崎市経営再建プログラムの集中取り組み期間一年目である平成一五年度、尼崎市は事務職・技術職などの定期採用職種について新規職員採用を見送った。
- 五月 尼崎市産業振興協会とあまがさき未来協会を統合し、尼崎地域・産業活性化機構が発足した。市長が地域に向き市民と語り合う車座集會第一回が一七日に小田地区会館で、また、月一回市長室で直接意見交換する市長室オープントーク第一回が一〇日に実施された。
- 六月二六日 国の公害等調整委員会で、尼崎大気汚染公害訴訟和解条項履行の斡旋が初成立した。
- 九月二五日 阪神タイガースが一八年ぶりにリーグ優勝したこの日、阪神尼崎駅前に巨大スクリーンが設置され、多くの市民が応援した。
- 一〇月一七日 中央・三和・出屋敷商業地区まちづくり協議会が呼びかけ尼崎の逸品を選ぶ第一回メイドインアマガサキコンペで、マルカ湯たんぼと柘千天ぶらがグランプリに選ばれた。
- 武庫川東岸の西国街道髭の渡し跡付近の河川敷を兵庫県が整備し、ボランティア団体・髭の渡し花咲き会が花を植えて武庫川コスモス園が開園した。
- 十二月一日 大庄公民館（旧大庄村役場）と、東洋精機株式会社本館事務所（長洲本通）が、登録有形文化財として登録された。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一日 欧州単一通貨ユーロ流通開始
- 二月 ソルトレークシティオリンピック（冬季）
- 四月 公立校完全週五日制・ゆとり教育開始
- 五月三一日 サッカー日韓ワールドカップ開幕、六月三〇日まで開催
- 八月五日 住基ネット、システム運用開始
- 九月一七日 小泉首相が北朝鮮訪問、日朝平壤宣言
- 一〇月一五日 北朝鮮による拉致被害者五人帰国
- 十一月 中国で重症急性呼吸器症候群・SARS発生、翌年にかけて世界各地に拡散



平成14年6月8日の「まちづくりシンポジウム」にあわせて行なわれた、富松城跡を活かすまちづくり委員会による富松城跡見学会（同委員会提供写真）

〔日本と世界のできごと〕

- 二月一日 スペースシャトル・コロンビア号空中分解事故
- 三月二〇日 イラク戦争、米英など有志連合が侵攻開始
- 四月二五日 六本木ヒルズ開業
- 七月 九州地方豪雨
- 十一月二九日 イラク日本人外交官射殺事件
- 十二月一日 東京・名古屋・大阪で地上デジタルテレビ放送開始
- 十二月二四日 米国でのBSE感染症例報告により、日本政府は米からの牛肉輸入一時停止



大庄公民館で開催されたあまがさきタウンミーティングを報じる『市報あまがさき』平成15年2月5日号

二〇〇四年（平成一六）

〔尼崎のできごと〕

- 一月 兵庫県は、尼崎市の臨海地域において市と共同して進める尼崎二一世紀の森構想の先導整備地区計画として、尼崎の森中央緑地基本計画を策定した。
- 二月二四日 尼崎市は、そろばんを使って基礎学力や人間性などの向上を図る尼崎計算教育特区（そろばん特区）として国の認定を受けた。
- 三月二九日 金楽寺の吉備彦神社本殿（附、金幣一本）と、寺町の善通寺本堂（附、紙本墨画龍図（旧内陣天井画）一面）が、尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月三一日 兵庫県立尼崎南高等学校が閉校した。
- 四月一日 尼崎市立城内小学校と市立開明小学校が児童数の減少を理由に統合され、旧城内小学校校舎に市立明城小学校が設置された。
- 四月 尼崎市経営再建プログラムの集中取り組み期間二年目である平成一六年度、前年度に続いて尼崎市は事務職・技術職などの定期採用職種について新規職員採用を見送った。
- 五月九日 尼崎計算教育特区（そろばん特区）認定を受けて、尼崎市教育委員会はモデル校として市立杭瀬小学校でそろばんを教える計算科授業を開始した。
- 七月 西武百貨店がつかしん店を閉店し経営から撤退、つかしん運営主体がグンゼグループに移行。尼崎市初の指定管理者として、NPO法人男女共同参画ネット尼崎が市立女性センター・トレピエの、財団法人尼崎市スポーツ振興事業団が青少年いこいの家の指定管理者となり、管理・運営を開始した。
- 八月二五日 阪神タイガースの名投手として知られる故・村山実の銅像が、母校の尼崎市立尼崎産業高等学校に建てられた。
- 一〇月一日 兵庫県は国道四三号などで、窒素酸化物（NO_x）と粒子状物質（PM）の排出基準を満たさない大型ディーゼル車の規制を開始した。
- 阪神シテイケールがシテイウエーブおおさかと合併し、大阪市内に本社を置く総合ブロードバンドサービス会社ベイ・コミュニケーションズとして発足した。
- 一〇月八日 尼崎市内で新規立地や増設等を行なう事業者に対して、市税を優遇する尼崎市企業立地促進条例が公布され、即日施行された。

二〇〇五年（平成一七）

〔尼崎のできごと〕

- 二月 尼崎市は尼崎市経営再建プログラムの重要課題である公共施設再配置の計画として、支所出張所、保健センターの統廃合案を策定した。
- 三月四日 尼崎市は環境影響評価（環境アセスメント）の実施手続きなどを条例により定めることとし、尼崎市環境影響評価等に関する条例を公布した。
- 三月二八日 尼崎市が産業活性化・工場流出防止を目的として国に申請した、ものづくりのまち「あまがさき」再生特区が認定された。
- 三月二九日 水堂光輪寺所蔵の絹本着色顕如上人画像と、尼崎市所蔵の東大寺領荘園文書が、尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月 尼崎市は、平成一七〜二二年度を計画期間とする尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画（前期計画）・わいわいキッズプランあまがさきを策定した。
- 四月一日 尼崎市は、平成一七〜二二年度を計画期間とするあまがさき地域福祉計画を策定した。
- 四月二五日 尼崎市立城内中学校と育英中学校が統合され市立成良中学校として設置された。
- 尼崎市立明倫中学校と昭和中学校が統合され市立中央中学校として設置された。
- 東海岸町の尼崎市立クリンセンター第二工場が稼働を開始した。
- JR福知山線塚口〜尼崎駅間で脱線事故が発生し、死者一〇七人・負傷者五〇〇人以上の大惨事となった。市消防局に加えて多くの市民が救助にあたり、付近の日本スピンドル製造栄運輸など企業三〇社以上や市中央卸売市場・同市場内店舗が救助に協力し、器材・施設等を提供した。また市は市立大成中学校のグラウンドを重傷者搬送用臨時ヘリポートとして、記念公園総合体育館を犠牲者の遺体安置所として提供した。
- 尼崎公害患者・家族の会と尼崎大気汚染訴訟原告団が『尼崎大気汚染公害事件史』を刊行。
- 尼崎市議会議員選挙が実施された。
- 六月一日 JR福知山線宝塚〜尼崎間の運行が、脱線事故以来五五日ぶりに再開された。
- 六月五日 JR福知山線脱線事故犠牲者の遺族らが4・25ネットワークを結成した。
- 六月二九日 クボタ旧神崎工場元従業員・周辺住民のアスベスト（石綿）による健康被害が報じられ、同社も急ぎ従業員被害を発表。この後健康被害が全国的な社会問題となった。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一九日 自衛隊イラク派遣、先遣隊イラク到着
- 二月四日 SNSサービス・フェイスブック創設
- 三月一日 労働者派遣法改正により、製造業への人材派遣解禁
- 四月七日 イラク日本人質事件発生
- 八月 アテネオリンピック（夏季）
- 九月 プロ野球再編問題、史上初の選手スト
- 一〇月三三日 新潟県中越地震
- 一二月二六日 スマトラ島沖地震
- この年 六〜一〇月に観測史上最多の台風一〇個上陸、各地に水害被害



村山実銅像 現在は兵庫県立尼崎総合医療センター敷地に設置

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一七日 阪神・淡路大震災一〇周年、被災地各地で追悼式開催
- 二月一七日 中部国際空港・セントレア開港
- 三月二五日 愛・地球博（愛知万博）開幕
- 四月 島根県、竹島の日を決める条例公布
- 日本の国連安保理常任理事国入り問題、歴史問題などをめぐって中国各地で反日デモ、一部暴徒化



JR福知山線脱線事故現場



負傷者搬送用の臨時ヘリポートとして提供された市立大成中学校校庭

二〇〇五年（平成一七）（続き）

〔尼崎のできごと〕

- 九月一六日 末広町二丁目の関西電力尼崎第三火力発電所跡地に松下電器産業が設置した尼崎工場が、世界最大規模のプラズマディスプレイパネル工場として稼働を開始した。
- 尼崎市は、寺町などの歴史ウォーク・ガイドを養成する尼崎ボランティア・ガイド養成セミナーの第一期を開講した。
- JR福知山線脱線事故の合同慰霊祭が尼崎市内で行われた。
- 尼崎市は、アスベスト問題について協議し総合的な対策を推進することを目的として、庁内に尼崎市アスベスト対策会議を設置した。
- 阪神タイガースが二年ぶり五度目のリーグ優勝を果たし、前回優勝時の平成一五年と同様、阪神尼崎駅前や商店街での優勝を祝う催しが大きな盛り上がりを見せた。
- 尼崎市教育委員会が、教育委員会収蔵資料展「義経と尼崎」を尼信博物館で開催した（以後、毎年定例開催）。
- 一月二二日 阪神出屋敷駅前再開発ビル・リベルのキーテナント・ダイエー出屋敷店が開店した。
- 一月二二日 尼崎市は、北部浄化センターから兵庫東流域下水広域処理場への下水汚泥圧送を開始した。
- 一月二二日 この結果、市内下水汚泥がすべて同処理場で処理されることになった。
- 二月二三日 尼崎医療生協・保険医協会尼崎支部・尼崎労働組合総連合など市内七団体が、アスベスト被害者救済と国・加害企業の責任追及などを目的として、アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会を結成した。
- 二月二〇日 平成九年度に尼崎市が徴収すべき特別土地保有税約一億二千万円が徴収されず時効消滅したことについて、尼崎市長からの要求監査を行なった市監査委員が、監査結果を報告した。
- 二月二六日 尼崎市は、アスベスト被害救済を目的とする新法の内容改善を求める要望書を、総理大臣・環境省・厚生労働省・国土交通省宛に提出した。
- 二月二七日 尼崎市男女共同参画社会づくり条例が公布され、即日施行された。
- 二月二八日 阪神・淡路大震災により建物損壊し、平成一〇年に閉館した阪神出屋敷駅前的大衆演劇場・天満座が、神田北通五丁目に劇場を移して興行を再開した。

二〇〇六年（平成一八）

〔尼崎のできごと〕

- 二月二八日 尼崎市は公害防止協定を環境保全協定と改称し、兵庫県及び民間企業四一社（四二工場）との間に第四次公害防止協定を一部改定する第五次環境保全協定を締結した。
- 三月二二日 市内初の地域通貨として尾浜商店街など名和小校区の地域通貨「おう」が発行された。
- 三月二七日 労災以外の石綿（アスベスト）健康被害救済を目的とする、石綿による健康被害の救済に関する法律が施行された。施行前の同月二〇日から医療費・療養手当・特別遺族弔慰金等給付申請受付が開始され、尼崎市保健所に環境省等の臨時受付窓口が設置された。
- 三月二八日 水堂石造宝篋印塔、市所蔵の刀、銘撰州尼崎住藤原国幸、尼崎市指定文化財に指定。
- 四月一日 尼崎市は、尼崎市経営再建プログラムの公共施設再配置計画にもつき六地区の保健センターを統合し、各支所に地域振興センター及び地域活動拠点としてコミュニティルームを開設した。復元工事が行なわれた旧市立開明小学校校舎が市役所開明庁舎となり中央支所が東難波町から移転、また大庄支所が旧大庄保健センターの施設に移転した。
- 四月一七日 尼崎市立大庄東中学校と大庄西中学校が統合され市立大庄中学校として設置された。
- 四月二九日 尼崎市立常光寺小学校と杭瀬小学校が統合され市立杭瀬小学校として設置された。
- 五月三二日 尼崎中央警察署と尼崎西警察署を統合して尼崎南警察署が設置された。
- 六月三・四日 クボタが石綿被害患者・遺族への救済金制度創設を発表した。
- 九月八日 大型商業施設・グンゼタウンセンターつかしんが塚口本町四丁目に新装オープンした。
- 九月二九日 兵庫県が扇町に開設した屋内プール等の施設・尼崎スポーツの森が営業を開始した。
- 一〇月二二日 あまがさき市民環境会議が阪神尼崎駅北側中央公園で第一回環境フェスタを開催した。
- 一〇月二二日 尼崎ボランティア・ガイドの会が発足した。
- 九月一〇日 尼崎市総合文化センター美術ホールを会場として、市制九〇周年記念・尼崎の歴史展を開催した。
- 九月一〇日から一〇月一〇日までのじぎく兵庫国体（第六一回国民体育大会）が開催され、尼崎市内会場では軟式野球・水泳・体操などの競技が実施された。続いて一〇月一四日〜一六日、のじぎく兵庫大会（第六回全国障害者スポーツ大会）が開催された。
- 十一月一九日 尼崎市長選挙が行なわれ、現職の白井文が再選された。

〔日本と世界のできごと〕（続き）

- 八月 米南東部ハリケーン・カトリナ被害
- 一〇月八日 パキスタン北部地震
- 一〇月一二月 パリで北アフリカ出身の若者感電死をきっかけに大規模暴動
- 一月一七日 国土交通省、耐震強度偽装疑惑公表
- 二月 政府、統計上初の日本人人口減少を発表
- この年 ロンドン同時爆破事件、エジプト連続爆弾テロ事件など、イスラム過激派による犯行が疑われるテロが相次ぐ
- 鳥インフルエンザ（H5N1）感染がアジアから世界に拡大

『アスベスト被害を告発する尼崎の歩み』平成二七年刊行



〔日本と世界のできごと〕

- 二月一六日 神戸空港開港
- 二月 トリノオリンピック（冬季）
- 三月三日 野球世界一を競うWBC第一回開幕
- 五月二七日 ジャワ島中部地震
- 七月八月 レバノンのシリア派組織ヒズボラとイスラエルの間で大規模軍事衝突
- 八月二四日 国際天文学連合、冥王星の惑星からの除外を決定
- 十二月二二日 改正教育基本法公布・施行、道徳心・愛国心涵養を教育目標に設定



昭和12年竣工当時の姿に復元された開明庁舎・旧開明小学校校舎
平成26年撮影

二〇〇七年（平成一九）

（尼崎のできごと）

- 一月三十一日 尼崎市は市制九〇周年記念『図説 尼崎の歴史』上下巻を刊行した。
- 二月 尼崎市は平成一八〜二〇年度を計画期間とする尼崎市障害福祉計画を策定した。
- 三月二日 東光寺の板碑・阿弥陀坐像板碑・地藏立像板碑と、尼崎市所蔵の銀拾匁札版木（尼崎藩札の版木）が、尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月二十六日 山手幹線（山幹通り）の尼崎市内部分約七・五キロが完成し、供用が開始された。
- 三月 尼崎市は尼崎市地球温暖化対策地域推進計画を策定した。
- 四月一日 尼崎市中央卸売市場が地方卸売市場に転換し、尼崎市公設地方卸売市場と改称した。
- 四月十五日 尼崎市は、築地公園に設置した築地震災復興まちづくり記念碑除幕式を行なった。隣接する初嶋大神宮では阪神淡路震災御社殿復興竣工奉告祭・奉祝祭が執り行なわれた。
- 四月 尼崎運河が、国土交通省による運河の魅力再発見プロジェクトの対象に認定された。
- 五月八日 尼崎市は、平成一九〜二二年度を計画期間とする尼崎市男女共同参画計画を策定した。
- 五月二十七日 中皮腫により死亡したクボタ神崎工場周辺住民二人の遺族が同社と国に損害賠償を求める兵庫尼崎アスベスト訴訟が、神戸地方裁判所に提訴された。
- 五月二十七日 英知大学が聖トマス大学と改称した。
- 六月二三日 尼崎市内の飲酒運転事故により歩行者ら三人が亡くなった。この事件について、一月二十九日、神戸地方裁判所尼崎支部は交通事故では過去最も重い懲役三年の判決を下した。
- 六月二十八日 航空・鉄道事故調査委員会は、JR福知山線脱線事故の背景要因として、JR西日本による日勤教育など運転士管理上の問題を指摘する報告書を国土交通大臣に提出した。
- 七月一日 中皮腫・アスベスト疾患患者と家族の会尼崎支部事務所が、尼崎労働者安全衛生センターとの共同利用施設としてクボタからの救済金の一部により長洲（ながす）通一丁目に開設された。
- 七月二日 尼崎市役所開明庁舎（旧開明尋常小学校校舎）が登録有形文化財として登録された。
- 七月 尼崎市は、協働のまちづくりの基本方向「きょうDOガイドライン」を策定した。
- 九月二十九日 第一回うんぱく〜尼崎運河博覧会〜を、尼崎二一世紀の森づくり協議会等が開催した。
- 十一月三〇日 ユニチ力記念館・東洋精機本館事務所等が近代化産業遺産（経済産業省認定）に選ばれた。
- 十二月一日 神戸港、大阪港、尼崎西宮芦屋港が統合され、阪神港となった。

二〇〇八年（平成二〇）

（尼崎のできごと）

- 二月 大覚寺身振り狂言が兵庫県の第二六回ふるさと文化賞を受賞した。
- 三月三日 尼崎市の住民票入力業務に従事する派遣労働者の女性五人が、平成二〇年度以降の同業務について競争入札実施にともない失職する見通しとなったことからストライキに入った。交渉の結果、四月から市臨時職員として同業務に従事する形で決着した。
- 三月二十四日 昭利通三丁目の尼崎商工会議所新会館ビルが竣工し、業務が開始された。
- 三月二十四日 自治体職員による全国都市改善改革実践事例発表会「ALL JAPAN」あまがさき★14「」が尼崎市立労働福祉会館で開催され、全国一四都市が事例を発表した。
- 三月二十五日 長遠寺所蔵の日蓮書状（乙御前母御書）と日蓮筆曼荼羅本尊が、尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月二十八日 東本町一丁目のユニチカ記念館が、兵庫県の景観形成重要建造物等に指定された。
- 三月二十九日 一般県道西宮豊中線の上武庫橋架け替え工事が完成し、開通式典が行なわれた。
- 三月 尼崎市は、平成二〇〜二四年度を計画期間とする「あまがさき」行財政構造改革推進プランを策定した。
- 四月 老人保健医療制度が廃止され、替わって後期高齢者医療制度が開始された。尼崎市は準備段階から後期高齢者医療制度担当を設け、事務を実施した。
- 九月二日 尼崎酒販協同組合が尼いも焼酎・尼の雫を初めて発売した。
- 九月二日 地域による主体的かつ計画的な企業立地等の取り組みを支援する、企業立地促進法にもとづく尼崎市の基本計画が、主務大臣の同意を得た。
- 一〇月二日 JTBパブリッシングが、まち情報誌『るるぶ尼崎市』を刊行した。商工会議所青年部を中心にるるぶ創刊実行委員会が組織され、尼崎市も編集に参加・協力した。
- 十一月三日 尼崎市公設地方卸売市場の平成一九年度じん芥搬送等業務委託契約における偽計業務妨害容疑により、契約締結時の担当市職員二人が逮捕された。
- 十二月一〇日 尼崎市は、市の業務の申請手続きや施設利用・催しなど市役所への問い合わせ全般を受け付けるコールセンターの試行運営を、民間事業者に委託する形で開始した（平成二二年三月二日、本格稼働開始）。

（日本と世界のできごと）

- 一月九日 防衛省設置（防衛庁昇格）
- 四月一六日 米バージニア工科大学銃乱射事件
- 七月一六日 新潟県中越沖地震
- 一〇月一日 郵政民営化、日本郵政公社の郵政三事業を日本郵政グループ五社に分割
- 十一月十七日 気候変動に関する政府間パネル・IPCC、化石燃料使用による温暖化の深刻な影響を予測する報告書採択
- 「消えた年金」問題発覚
- 米サブプライム・住宅ローン（低所得者向けローン）焦げ付き発生



築地公園に設けられた築地震災復興まちづくり記念碑

（日本と世界のできごと）

- 三月一〇日 中国チベット自治区騒乱開始
- 四月一日 後期高齢者医療制度開始
- 五月二日 中国・四川大地震
- 八月 北京オリンピック（夏季）
- 九月一五日 米投資銀行リーマン・ブラザーズ経営破綻（リーマン・ショック）、この後世界同時株安となり金融危機発生
- 十二月二日 東京都千代田区・日比谷公園に年越し派遣村開設

尼崎市コールセンター
平成二二年三月本格稼働時のお知らせチラシ

市役所のこと電話一本でお答え！

尼崎市コールセンター

06-6375-5639
FAX 06-6375-5625

平日 午前9時～午後5時
土日・祝日 午前9時～午後5時

市役所での手続き、イベント、施設のご案内など、聞きたいときにお電話いただきますと、オペレーターが親切・丁寧にお答えする『新しいサービス』です。

こんなときは
お気軽に
お電話ください

- どこに聞きたいのかわからない...
- 一回の電話で色々聞きたいなあ...
- 土日、祝日に聞きたいことがあるけど...

※お電話は、携帯電話・携帯に接続できるQRコードを接続しております。ご利用ください。

詳しくは、お電話がきき3月号をご覧ください

尼崎市への問い合わせは
コールセンター
06-6375-5639

尼崎市公式ホームページ
http://www.city.nishiki.hyogo.ac/

尼崎市公式ウェブサイト 携帯版
http://www.city.nishiki.hyogo.ac/mobile/

尼崎市コールセンターホームページ
http://www.city.nishiki.hyogo.ac/nishiki/

二〇〇九年（平成二二）

〔尼崎のできごと〕

- 一月一日 尼崎市立文化財収蔵庫が栗山町から南城内の旧城内中学校校舎に移転した。
- 一月三〇日 クボタ神崎工場へのアスベスト原料輸送従事者など日本通運元労働者五人の遺族が、日通とクボタに損害賠償等を求める日通アスベスト訴訟が神戸地方裁判所に提訴された。
- 二月六日 ヤンマー尼崎工場・陳列館が収蔵するディーゼルエンジンと、ダイソー尼崎工場の事務所等建物が、経済産業省が認定する近代化産業遺産のひとつに選ばれた。
- 二月二二日 市民が誇れるまち・尼崎―市民まちづくり交流大会が聖トマス大学で開催された。
- 三月二〇日 阪神電鉄の西九条―大阪難波間が開通し、西大阪線がなんば線と改称、阪神三宮・近鉄奈良間の直通運転が開始された。
- 三月二四日 尼崎市所蔵の新曲図扇面が尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月三〇日 尼崎市は下水道使用料減免制度を廃止した。
- 四月一日 尼崎市が中核市に移行した。また、移行を機に兵庫県を含む三者で締結する環境保全協定を廃止し、民間企業三六社（三七工場）との間に第六次環境保全協定を締結した。
- 四月二八日 西昆陽・田近家住宅が登録有形文化財として登録された。八月七日には西富松・森松家住宅、一月二日には上食満・芦田家住宅が同じく登録された。
- 四月 三木市に本拠を置く関西国際大学の尼崎キャンパスが、JR尼崎駅北側のあまがさき緑遊新都心地区（潮江一丁目）に開設され、教育学部が三木キャンパスから移転した。
- 六月七日 尼崎市議会議員選挙が実施され、当選四四人中女性議員が過去最多の一人となった。
- 六月二五日 尼崎市はJTB西日本に委託して観光情報を発信する三か年のあまかん事業を開始し、一月一六日には同社尼崎支店内にあまがさき・街のみどころご案内所を開設した。
- 一〇月二〇日 あまがさき緑遊新都心に複合商業施設・COCOE（ココエ）が開業した。これに合わせてあまがさき緑遊新都心まちびらき記念式典を開催し、新都心がグランドオープンした。
- 二月二八日 尼崎市子どもの育ち支援条例が公布され、即日施行された。
- 二月二五日 兵庫県警は、尼崎市への登録等を行わず無許可で三〇〇匹以上の犬を飼育していた市内の犬繁殖業者を家宅捜索し、違法状態を知りながら同業者から売れ残った犬を引き取り殺処分を行っていたとして、市保健所と市動物愛護センターも捜索した。

二〇一〇年（平成二二）

〔尼崎のできごと〕

- 一月二五日 西本町・本田家住宅が登録有形文化財として登録された。
- 一月二九日 独立行政法人都市再生機構が、あまがさき緑遊新都心土地区画整理事業の換地処分を公告し、事業が完了した。
- 三月一九日 東海岸町地先の大阪湾フェニックス計画埋立地の新町名として、尼崎市の公募により選ばれた「船出」を兵庫県が告示した。
- 三月三〇日 大庄西町の大庄公民館（旧大庄村役場）が、兵庫県の景観形成重要建造物等に指定された。
- 三月 尼崎市は、平成二二～二六年度を計画期間とする尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画（後期計画）・わいわいキッズプランあまがさきを策定した（平成二六年四月に計画期間を一年延長）。
- 四月 尼崎市は、平成二二～二六年度を計画期間とする障害者計画と、平成二二～二三年度を計画期間とする障害福祉計画を一体的に定める尼崎市障害者計画・障害福祉計画（第二期）を策定した。
- 四月一日 尼崎市は、市が市民・学校・事業者とともに構成する実行委員会により運営し、環境学習講座やイベントを実施し学ぶ、あまがさき環境オープンカレッジを開校した。
- 四月 尼崎市水道局は、平成二二～三一年度を計画期間とする、水道・工業用水道ビジョンあまがさきを策定した。
- 九月一〇日 戸ノ内・田中家住宅が登録有形文化財として登録された。
- 一〇月 尼崎市は七〇歳以上の市民に対する高齢者市バス特別乗車券交付事業（敬老バス）を見直し、乗車料一部負担方式を導入した。
- 十一月二二日 尼崎市は、市内事業所が製造するデザイン性にすぐれた製品を選ぶ尼崎ものづくりグッドデザイン賞の第一回大賞・優秀賞製品を表彰した。
- 十一月二二日 尼崎市長選挙が行なわれ、任期途中の兵庫県議会議員職を辞して立候補した稲村和美が初当選した（前任の白井文初当選時と同じく、女性市長としては、この時点の国内史上最年少）。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月二〇日 オバマ米大統領就任、初の黒人大統領
- 四月五日 北朝鮮ミサイル発射実験、日本上空を通過
- 五月二二日 裁判員制度開始
- 六月一日 世界保健機関、新型インフルエンザの世界的流行（パンデミック）を宣言
- 七月五日 中国新疆ウイグル自治区騒乱事件
- 七月 中国・九州北部豪雨
- 一月 政府の行政刷新会議ワーキンググループ、事業仕分け第一弾実施



JTB西日本尼崎支店内に開設されたあまがさき・街のみどころご案内所

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一日 社会保険庁廃止、日本年金機構設立
- 二月 パンクパーオリピック（冬季）
- 四月二七日 殺人罪等の公訴時効廃止
- 六月一三日 小惑星探査機はやぶさ帰還成功
- 六月二八日 高速道路無料化社会実験開始（平成二三年六月二〇日終了）
- 九月七日 尖閣諸島中国漁船衝突事件
- 十一月二三日 北朝鮮、韓国大延坪島を砲撃
- 十二月一日 関西の七府県が関西広域連合設立



グリフィン 兵庫県景観形成重要建造物等に指定された大庄公民館（旧大庄村役場）のレリーフ

二〇一二年（平成二四）

〔尼崎のできごと〕

- 一月三日 阪神尼崎駅南地区市街地再開発事業が完了した。
- 一月二六日 中長洲・上原家住宅が登録有形文化財として登録された。
- 二月二三日 三和市場の空き店舗を改装し自由活用する実験店舗・尼崎横丁虎の穴がオープンした。
- 三月二一日 東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生。尼崎市は震災当日に兵庫県からの指示を受けて緊急消防援助隊を派遣したほか、水道局が日本水道協会から応援要請を受けて応急給水応援派遣を行なうなど、各方面・分野で官民ともに被災地支援活動に取り組んだ。特に市としては、宮城県気仙沼市への長期継続支援を重点的に実施した。
- 三月二四日 守部素盞鳴神社境内にある守部観音堂に伝来する聖観音菩薩立像など、守部観音堂再興関係資料五件が尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月二九日 東桜木町の尼信記念館が、兵庫県の景観形成重要建造物等に指定された。
- 三月 尼崎市は、平成二三～二八年度を計画期間とする第二期あまがさき地域福祉計画、平成二三～三二年度を計画期間とする尼崎市一般廃棄物処理基本計画・第二次尼崎市地球温暖化対策地域推進計画・尼崎市住宅マスタープラン2011を策定した。
- 四月二日 尼崎市立尼崎東高等学校と尼崎産業高等学校を統合して市立尼崎双星高等学校を新設した。
- 四月 尼崎市は、防災センター五階に尼崎市・伊丹市消防指令センターを設置し、新消防指令管制システムによる消防指令業務の共同運用を開始した。
- 六月二九日 尼崎市は大阪大学との間に、環境・産業、まちづくり、教育・文化、健康の分野における相互連携協力に関する包括協定書を締結した。
- 七月二五日 七松・小西家住宅が登録有形文化財として登録された。
- 八月三日 尼崎市は、『図説尼崎の歴史』ウェブ版を園田学園女子大学と共同設計・構築し、公開した。
- 九月三〇日 尼崎市は市議会文教委員会協議会において、北城内における歴史博物館建設を断念し建設事業を廃止する旨を報告した。
- 一一月四日 尼崎連続変死事件の主犯とされる女性が逮捕された。その後の捜査により、兵庫県・香川県などでの複数の監禁・虐待・殺人事件等があきらかとなった。
- 一一月三〇日 尼崎市は尼崎市都市美形成計画を策定した。

二〇一二年（平成二四）

〔尼崎のできごと〕

- 三月二七日 尼崎市所蔵の天龍寺関係文書が尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月三〇日 尼崎市は平成二四～三三年度を計画期間とする尼崎市下水道中期ビジョンを策定した。
- 三月 日通とクボタを被告として損害賠償を求める日通アスベスト訴訟について、クボタでの作業従事者四人の遺族とクボタの間に解決金支払いによる和解が成立した。
- 四月 プラズマディスプレイを生産するパナソニック尼崎第三工場が、三月末に稼働を休止した。
- 四月 尼崎市は都市魅力の創造・発信を行なうシティプロモーション事業を開始した。
- 四月 尼崎市は市内の環境の向上と地域経済の活性化、新規事業・雇用等の創出の同時達成を目指す尼崎版グリーンニューデール（AGND）の取り組みを開始した。
- 六月二六日 尼崎市は、いずれも平成二四～二八年度を計画期間とする、第二次尼崎市男女共同参画計画及び、尼崎市配偶者からの暴力（DV）対策基本計画を策定した。
- 六月二六日 尼崎市は平成二五～三三年度のまちづくり構想と基本計画を定める尼崎市総合計画・ひと咲きまち咲きあまがさきを策定・公表した。
- 七月一日 尼崎市は、雨水貯留タンク設置助成金交付事業を開始した。
- 七月六日 尼崎市国旗の掲揚に関する条例が公布され、即日施行された。
- 七月七・八日 尼崎市公営企業審議会は尼崎市長に対して、市営バスの民営化が望ましいと答申した。
- 七月七・八日 尼崎市の主要事業を、三か年計画で市民参画・市民目線により点検・評価する尼崎市公開事業たな卸しの第一回が行なわれた。
- 七月一九日 松竹大歌舞伎・近松座三〇周年記念公演があましんアルカイックホールで催された。
- 七月二四日 大阪湾フェニックス計画埋立地編入により、市域面積が五〇平方キロメートルを越えた。
- 八月一日 尼崎市は、初代のチャレンジャーあまがさき夢大使として、市内在住の漫画家・尼子驎兵衛と市出身のフリージャー・小林可夢偉に同大使を委嘱した。
- 八月七日 兵庫尼崎アスベスト訴訟について、神戸地方裁判所が国の賠償責任は認めず住民のうち一人についてクボタの賠償責任を認める判決を下した。クボタ・原告とも控訴。
- 九月七日 園田競馬場が関西初となるナイト競馬を開催し、一一月九日まで毎週金曜夜に開催した。この結果をふまえて平成二五年四月五日、毎週金曜ナイト競馬定例開催を開始した。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一四日 チュニジア・ジャスミン革命により政権崩壊、これ以降、アラブの春と呼ばれる一連の民主化・反政府運動
- 三月二一日 東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）、東北・関東の広範囲に津波被害
- 五月二日 東京電力福島第一原発事故発生
- 五月二日 米軍、アルカイダ指導者ウサマ・ビン・ラディンを殺害
- 七月一七日 サッカー女子W杯ドイツ大会日本優勝
- 九月一七日 ニューヨークで反格差デモ「ウォール街を占拠せよ」開始
- 一〇月二日 大津市中学生いじめ自殺事件



東日本大震災の被災地に派遣された尼崎市の緊急消防援助隊（上）、被災者宅を訪問する尼崎市保健師チーム（下）

〔日本と世界のできごと〕

- 三月三一日 東日本大震災被災三県のテレビアナログ放送終了、国内完全地上デジタル化
- 五月二日 東京スカイツリー開業
- 七月八日 ロンドンオリンピック（夏季）
- 八月二五日 米宇宙探査機ボイジャー一号、人工物として初めて太陽圏を離脱
- 九月二日 日本政府、尖閣諸島三島国有化



初代のチャレンジャーあまがさき夢大使委嘱
尼子驎兵衛氏（上右）と小林可夢偉氏（下左）

二〇一三年（平成二五）

〔尼崎のできごと〕

- 二月二二・二三日 尼崎市内の工業生産の現場を訪問・見学する、尼崎ものづくり博の第一回目の催しが、尼崎商工会議所の主催により開催された。
- 二月 尼崎市は、尼崎版シティプロモーション推進指針・あまらぶ大作戦を策定した。
- 三月一五日 尼崎市は、平成二七年度末をもって市営バス事業を民間移譲する方針を決定した。
- 三月二〇日 兵庫県は、尼崎運河の環境学習等の拠点施設として北堀キャンナルベースを選ばれた。
- 三月二七日 浜田興禅寺の木造達磨大師坐像が尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月二九日 メイドインアマガサキ(MiA)一〇周年記念の最優秀アマデミー賞が発表された。
- 三月 尼崎市は平成二五〜三十四年度を計画期間とする行財政改革計画を策定した。
- 四月一日 定時制高校二校を統合再編して尼崎市立琴ノ浦高等学校が旧城内高校舎に設置された。
- 四月二〇日 中世・近世の本興寺文書を翻刻する『本興寺文書』第一巻・第二巻が清文堂から刊行された。
- 五月九日 尼崎市内のスーパー銭湯の入湯税を過少に申告することを容認する合意がなされ、平成二二年度から二四年度まで入湯税が過少に申告されたことについて、尼崎市入湯税問題第三者会議が意見書を公表した。
- 五月二〇日 尼崎市は、市外から訪れ尼崎市のPRを行なう「影の尼崎観光大使」への登録者に対する「忍たま乱太郎 あまがさきワエルカムカード」配付を開始した。
- 六月一六日 尼崎市議会議員選挙が実施された。定数二減、四二人当選。
- 九月二一日 尼崎市主催の第一期尼崎キャンナルガイド養成講座が終了し、修了生がガイドを実践する尼崎キャンナルガイドの会が発足した。
- 一〇月 上坂部一丁目の森永製菓塚口工場が閉鎖された。
- 一〇月 尼崎市総合文化センターが美術ホールフロアー内に白髪一雄記念室を開設した。
- 一一月二一・二八日 全国初のシティプロモーションサミットが、各地の自治体を集めて、あましんアルカイックホール・オクトで開催された。
- 一一月二四日 兵庫県が独自の南海トラフ巨大地震津波浸水想定図を公表した。
- 一二月二七日 パナソニック(旧松下電器産業) 尼崎工場の生産が、この日をもって終了した。

二〇一四年（平成二六）

〔尼崎のできごと〕

- 一月三〇日 日通アスベスト訴訟の大阪高裁控訴審判決が下され、一番神戸地裁判決と同様日通に対して元労働者五人の遺族への損害賠償が命じられた(日通が上告せず判決確定)。
- 三月六日 兵庫尼崎アスベスト訴訟について、大阪高等裁判所が神戸地裁一番判決と同様に国の賠償責任は認めず住民のうち一人についてクボタの賠償責任を認める判決を下した。クボタ・原告とも上告したが、平成二七年二月に最高裁が却下し高裁判決が確定した。
- 三月二七日 寺岡家文書(尼崎市立地域研究史料館寄託)のうち四点と、尼崎市所蔵の豊臣秀吉朱印状(建部寿得軒他二名宛)が、尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月三二日 パナソニック(旧松下電器産業) 尼崎工場が廃止された。
- 三月 尼崎市は平成三五年を目標年次とする尼崎市都市計画マスタープラン2014を策定した。
- 四月一日 尼崎市は平成二六〜三五年度を計画期間とする尼崎市環境基本計画を策定した。
- 四月一七日 尼崎市立北難波小学校と梅香小学校が統合され、市立難波の梅小学校が設置された。開館三〇周年を迎えた尼崎信用金庫世界の貯金箱博物館が記念式典を催したこの日、累積入場者数が三〇万人を突破した。
- 四月 尼崎市は、平成二五年度にスタートした提案型事業委託制度により初めて採択された三事業の委託を開始した。そのひとつとして、NPO法人が受託するあまがさき環境オープンカレッジが塚口さんさんタウン内に開設された。
- 六月 尼崎市は高度成長期からバブル経済期にかけて建設した多くの公共施設の老朽化をふまえて、今後のあり方を方向付ける尼崎市公共施設マネジメント基本方針を策定した。
- 七月 尼崎市は平成二六〜三五年度を計画期間とする緑の基本計画を策定した。
- 九月 尼崎市は尼崎市総合計画の施策展開状況評価を行ない公表することとし、その第一回目として平成二六年度施策評価結果(平成二五年度決算)を公表した。
- 一〇月七日 尼崎市産業振興基本条例が公布され、即日施行された。
- 一一月一六日 尼崎市市長選挙が行なわれ、現職の稲村和美が再選された。
- 一二月一七日 尼崎市は、持続可能な都市への体質転換をはかり、尼崎版総合戦略を策定するため、ひと咲きまち咲きあまがさき創生本部を設置した。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月二九日 女子柔道国際試合強化選手が指導者の暴力を全柔連に告発したことが発覚
- 四月二日 イスラム過激派を名乗る武装集団によるケニア・ガリッサ大学襲撃事件
- 八月一日 ロシア、米政府情報監視を告発した元CIA職員E・スノーデン亡命受け入れ
- 八月 シリア内戦における政府軍の化学兵器使用疑惑報道
- 九月二日 イスラム過激派によるケニア・シヨツピングモール襲撃事件



アマデミー賞を報じるMiAニュースと、市民最多投票「尼崎ええよ賞」を獲得したひろたのぼんす

〔日本と世界のできごと〕

- 二月 ソチオリンピック(冬季)
- 三月一八日 ロシア、クリミアを併合
- 四月一日 消費税、五%から八%に増税
- 六月二九日 イスラム過激派組織ISIL、イスラム国家樹立を宣言
- 八月八日 世界保健機関、西アフリカのエボラ出血熱発生状況を緊急事態と発表
- 九月一八日 スコットランド住民投票、独立否決
- 九月二日 維新の党結成



塚口さんさんタウン内に開設されたあまがさき環境オープンカレッジ

二〇一五年（平成二七）

〔尼崎のいきなり〕

- 二月二六日 尼崎市は、園田学園女子大学及び同短期大学部との間に、健康づくり・学校教育・生涯学習・子ども子育て支援その他の分野における相互連携協力に関する包括協定書を締結した。
- 二月二八日 尼崎市原爆被害者の会会員の被爆体験証言を収録したDVDが制作・公表された。
- 三月一九日 尼崎市武庫之荘在住の落語家で人間国宝の桂米朝（本名・中川清）が亡くなった。
- 三月二五日 イワタニ水素ステーション尼崎（次屋三丁目、国内初の商用水素ステーション）において、トヨタ自動車製MIRAI（世界初の量産型燃料電池自動車）の尼崎市長車納車式が催された。
- 三月 尼崎市所蔵の足利義詮書状が尼崎市指定文化財に指定された。
- 三月 尼崎市、平成二七〜三一年度を計画期間とする尼崎市子ども・子育て支援事業計画を策定。
- 四月一日 尼崎市は、しごと・くらしサポートセンター尼崎を市役所内に開設した。
- 四月一七日 聖トマス大学が廃止された。同大学の敷地と施設等の一部が、九月に尼崎市に寄付された。
- 五月三日 尼崎商工会議所が二五%割引プレミアム付き商品券・あまプレ25の予約受付を開始した。
- 五月二七日 尼崎市は、JR尼崎駅構内にあまがさぎ・魅力案内所「あまらぶ+Plus」を開設した。
- 六月四日 尼崎市は、尼崎版スマートコミュニティの第一号としてNUTTOCKの取り組みを認定した。
- 七月一日 東灘波町二丁目の市立尼崎産業高等学校跡地に兵庫県立尼崎総合医療センターが開院した。
- 八月八・九日 尼崎市は、ソーシャル・インパクト・ボンドの実証実験全国三例目として、日本財団の事業費提供によりNPO法人育て上げネットが実施する若年層求職・就労支援（二年間）を開始。市民など百人以上が講師となる第一回みんなのサマーセミナーが百合学院を会場として開催。
- 八月八・九日 尼崎地域産業活性化機構が、尼崎市中小企業センター内に尼崎創業支援オフィスABON開設。危険空家等に対する指導などを定める、尼崎市危険空家等対策に関する条例が施行された。
- 一〇月二六日 尼崎市は、阪神バスに市営バス事業を移譲する協定を同社との間に締結した。これにより、平成二八年三月二〇日から同社が市営バスの路線を運行することになった。
- 一〇月三二日 尼崎市は、旧小田公民館城北分館にあまらぶアートラボ（愛称YLAB）をオープンした。
- 一〇月 尼崎市は、人口減少社会を見据えた尼崎人口ビジョン及び、平成二七年から五年間の基本目標や施策の基本的方向をまとめた尼崎版総合戦略を策定した。
- 一一月二五日 尼崎市は、ミドリ電化創業者安保証との間に尼崎城の建築及び寄付に関する協定を締結した。

〔日本と世界のできごと〕

- 一月一七日 阪神・淡路大震災二〇周年、この日の前後に被災地各地で追悼式など開催
- 一月 イスラム過激派組織「SIL」による日本人人質二名拘束・殺害事件
- 五月一七日 大阪都構想住民投票、反対多数
- 九月一九日 安全保障関連法案可決成立
- 一〇月 国民全員へのマイナンバー通知開始
- 環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）、閣僚合合において大筋合意
- 一一月一三日 パリ同時多発テロ事件
- この年 欧州難民危機深刻化



兵庫県立尼崎総合医療センター 兵庫県立尼崎病院・塚口病院を移転・統合して開設